

AnyClutch Remote ユーザーガイド

Version 4.13.8

Update 2024.10

お知らせ

本マニュアルは、製品の検証を行った内容に基づいて作成していますが、製品のアップデートなどを行った場合、実際の動作と異なる場合があります。

なお、マニュアルの内容は性能向上および機能改善などのために予告なしに変更される場合があります。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権はRSUPPORT CO., Ltd.(以下RSUPPORT)及び株式会社エアー(以下AIR)が所有し、国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。

RSUPPORT及びAIRの事前書面同意なしに本マニュアルの一部、あるいは全体の内容を無断にコピー、複製、転載なさらぬようお願い申し上げます。

本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権保護を受けている用語は引用のために使用しています。

目次

1. AnyClutch Remoteの概要	5
1.1 AnyClutch Remote とは？	5
1.2 用語説明	5
1.3 使用環境	6
1.4 運用作業の流れ	6
1.5 アカountの種類	7
1.6 表示モード	7
2. AnyClutch Remoteの初期設定	8
2.1 クイックスタートガイド	8
2.2 初期設定の流れ	9
2.2.1 初期設定に必要なもの	9
2.2.2 遠隔先PC：サービスページにWebログインする	9
2.2.3 遠隔先PC：Agentインストールプログラムをダウンロード	9
2.2.4 遠隔先PC：Agentプログラムのインストール	13
2.2.5 遠隔元PC：SimpleLauncherをインストールする	16
3. 遠隔地PCに接続する	19
4. 遠隔地PCを遠隔操作する	22
4.1 ビューア方式について	22
4.2 各ビューア画面の機能	22
4.2.1 改善型ビューアの機能	22
4.2.2 Webビューアの機能	33
4.2.3 RXビューアの機能	36
5. AnyClutch Remoteサービスページ	49
5.1 サービスページにログイン	49
5.1.1 ユーザーアカウントの種類	49
5.1.2 Webログインに必要なアカウント情報	50
5.2 表示モード：シンプル/標準	50
5.2.1 シンプルモード	51
5.2.2 標準モード	53
6. その他	94
6.1 ユーザー権限一覧	94

6.1.1 権限別比較表	94
6.2 遠隔画面ロック機能	96
6.3 WOL 機能.....	98
6.3.1 AnyClutch RemoteのWOL機能とは	98
6.3.2 AnyClutch RemoteのWOLを利用するには.....	98
6.3.3 WOL電源起動方法.....	99
6.4 システムトレイとAgent アイコン	102
6.5 OS 毎に利用可能なビューア機能比較	104
6.5.1 PC端末で制御：遠隔先がWindowsの場合	104
6.5.2 PC端末で制御：遠隔先がmacOSの場合.....	105
6.5.3 PC端末で制御：遠隔先がAndroid/Linuxの場合.....	107
6.5.4 モバイル機器で制御：遠隔先がWindowsの場合.....	108
6.5.5 モバイル機器で制御：遠隔先がmacOSの場合.....	110
6.5.6 モバイル機器で制御：遠隔先がAndroidの場合.....	112
6.6 リモートビデオ・オーディオ機能の設定方法.....	113
6.6.1 事前設定	113
6.6.2 Web会議ツールでの利用方法	118
6.7 使用状況 > 「記録」の項目について	120
7. セキュリティオプション	123
7.1 WEB ログイン時に2段階認証を使用する.....	123
7.1.1 GoogleOTP.....	123
7.1.2 メール認証.....	123
7.1.3 遠隔地接続同意	123
7.2 遠隔接続時のAgent 認証方式を変更する	124
7.3 遠隔地PC 実行制限 (Windows)	125
7.3.1 遠隔地PCプロセス実行制限設定.....	125
7.3.2 遠隔地PCのサービス停止/再開設定.....	126
7.3.3 URL制限フィルターの設定.....	127
7.4 セキュリティ関連機能一覧	127
8. ヘルプデスク	129

1. AnyClutch Remoteの概要

1.1 AnyClutch Remoteとは？

手元の端末で、離れた場所の端末をリアルタイムで遠隔操作できるサービスです。

インターネットを経由して、いつでもどこでもPCやモバイル端末で遠隔操作を簡単かつ安全にご利用いただけます。

1.2 用語説明

用語	説明
管理者、管理者ID	全ての権限を持つアカウント
マネージャー	グループを管理するために管理者から一部権限を与えられたユーザー
一般ユーザー	管理者/マネージャーによって作成される管理権限を持ってないユーザー
サービスページ	AnyClutch Remoteを利用するためのウェブページ。 (https://remote.anyclutch.net)
AgentPC/遠隔地PC	遠隔接続の際に、ユーザーから遠隔操作をされる側のPC ※在宅の場合、会社側のPCです。
遠隔元PC/ローカルPC	遠隔接続の際に、ユーザーが操作を行う側のPC。(手元側、ViewerPC) ※在宅の場合、ご自宅のPCです。
セッション	ローカルPCと遠隔地PC間の接続状態
会社ID	Enterpriseライセンスユーザーに提供されるグループID サービスページログイン時に必要です。
ユーザID	AnyClutch Remoteサービスページにログインするための個人用ID サービスログイン時に必要です。
Agent ID	遠隔地PCに接続する際に入力する、遠隔接続用の認証情報。 Agentをインストール時に任意で作成できます。
表示名	遠隔地PCの名前
Agent	遠隔制御を行うために遠隔地PCにインストールする常駐プログラム
ビューア	遠隔元PCで、遠隔地PCを表示する画面。
ライブビュー	遠隔地PCの画面をモニタリングする機能
コンソール	ブラウザを利用せず、ビューアを起動するプログラム

1.3 使用環境

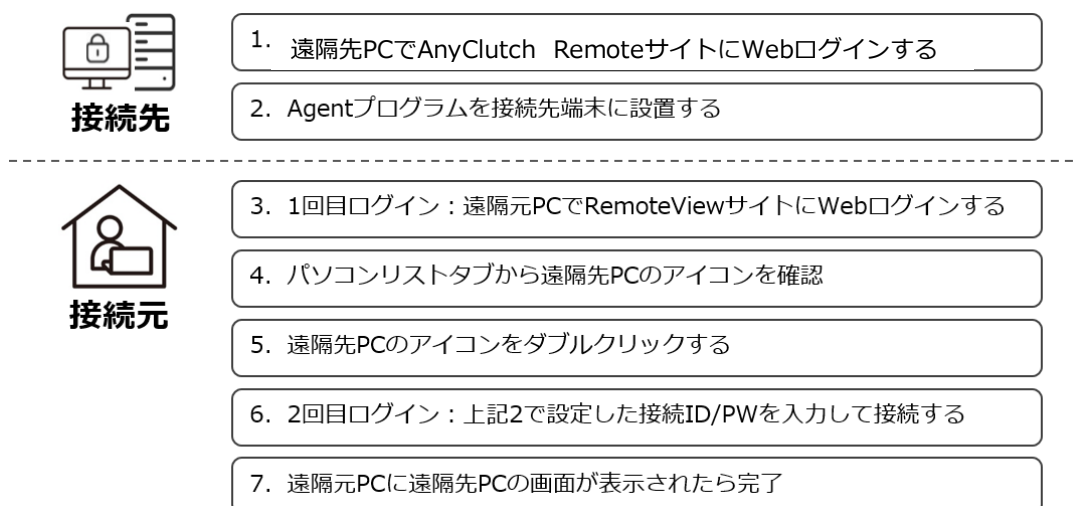
最新の動作環境は弊社ホームページよりご確認ください。（外部URL）

<https://anyclutch.jp/anyclutch/spec.html>

【 注意事項 】

- ・ 接続先（会社側など）の通信がファイアウォール、プロキシサーバー、VPN、UTMなどによって制限されている場合、事前にAnyClutch Remoteのサーバーのアクセス許可設定を行ってください。
 - ・ 遠隔地PCのノートPCがWindows10の1903バージョン未満の場合、カバーを閉じた状態での利用は動作保証外です。
 - ・ 仮想環境でのご利用は、動作保証ができない場合があります。
 - ・ Active Directory環境の設定によって、動作保証ができない場合があります。
 - ・ 複数の遠隔操作ツールやパソコンを経由して利用する場合、動作保証の対象外です。
 - ・ 遠隔地PCとキーボード、マウスが直接繋がっていない場合、動作保証外です。
 - ・ 遠隔地PCがスリープ状態の場合、通信が遮断されますので遠隔接続を行うことはできません。
 - ・ モバイル端末：外付けキーボードの利用は動作対象外です。
 - ・ Webビューアをご利用の際、Functionキーは手元側のPCで実行します。
 - ・ 異なるOS間に一部のキーは互換されません。
（例：かなキー無変換、カタカナひらがなローマ字、右クリックメニューキーなど）
 - ・ Safariブラウザでは、サウンド共有・画面キャプチャ機能を提供しておりません。
- ※macOSでWebビューアを利用する際は、Chromeブラウザでの接続を推奨いたします。

1.4 運用作業の流れ



1.5 アカун​​トの種類

AnyClutch Remoteのアカウントは、以下の3種類で構成されています。（Webログイン時に利用）

権限	説明
管理者	全てのメニューと機能をご利用いただけます。 グループ、PC、ユーザーに権限割り当てなどの各種設定が可能です。 ※ご契約時に発行される管理者用IDを使用します。
マネージャー	管理者によって追加されたアカウントです。 管理者の管理権限を一部利用できます。 ※権限範囲に関しては、「 6.1.1 権限別比較表 」をご参照ください。
(一般) ユーザー	管理者、またはマネージャーによって追加されたアカウントです。 管理権限を持たない、遠隔接続のみに特化したユーザーです。

【 注意事項 】

- ・1会社IDにつき、1管理者IDのみ作成できます。
- ・管理者を除くマネージャー、(一般)ユーザーは無制限で追加できます。
- ・マネージャー、(一般)ユーザーは自分に割り当てられたAgent（またはPCグループ）のみ管理及び操作することができます。

1.6 表示モード

Webログイン後の画面は2種類があります。ご希望のモードでサービスをご利用ください。

- ・標準モード：遠隔接続以外にも様々な管理機能が使える画面です。（管理者・マネージャー向け）
- ・シンプルモード：遠隔接続に特化した画面です。（一般ユーザー向け）

※サイト右上に表示モード切り替えボタンがあります。

※表示モードの詳細は「[5.2 表示モード：シンプル/標準](#)」をご参照ください。



2. AnyClutch Remoteの初期設定

2.1 クイックスタートガイド

AnyClutch Remoteサービスを始める2つのステップをご案内します。

※詳細は「[2.2 初期設定の流れ](#)」をご参照ください。

※以下の手順は、遠隔地PCを改善型ビューアで操作する前提での流れです。

※ビューア方式に関しては、「[4.1 ビューア方式について](#)」をご参照ください。

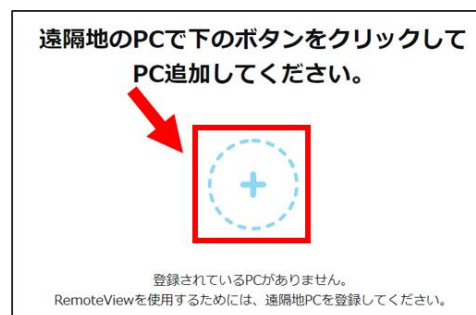
STEP 1. 遠隔地PCにプログラムをインストールする

- ① AnyClutch Remoteサービスページ (<https://remote.anyclutch.net>) にWebログインします。
- ② パソコンリスト画面の「PC追加」ボタンを押下してAgent（常駐プログラム）をダウンロードし、ファイルを実行します。

※標準/シンプルモードに関しては、「[5.2 表示モード：シンプル/標準](#)」をご参照ください。



標準モードの場合



シンプルモードの場合

- ③ インストール画面で「接続用ID/パスワード」(Agent ID/パスワード)を任意で作成します。
※「接続用ID/パスワード」(Agent ID/パスワード)は遠隔接続時に毎回必要な認証情報です。
忘れないように必ずお控えください。
- ④ パソコンリストに追加したPCのアイコンが表示されたら、遠隔地PCでの作業は完了です。

STEP 2. 接続元PCにプラグインをインストールする

- ⑤ AnyClutch Remoteサービスページ (<https://remote.anyclutch.net>) にWebログインします。
- ⑥ サイト右上の「SimpleLauncherをインストール」ボタンでプラグインをインストールします。

- ⑦ 上記④で作成したアイコンをダブルクリックし、上記③で作成した「接続用ID/パスワード」(Agent ID/パスワード)を入力します。
- ⑧ 専用のウィンドウ（ビューア）が開かれ、遠隔地PCの画面が表示されたら完了です。

2.2 初期設定の流れ

2.2.1 初期設定に必要なもの

AnyClutch Remoteサービス始めるには、以下のものが必要です。

- ① Agent（常駐プログラム）をインストールする接続先PC
- ② 遠隔元として使うPC
- ③ Webログイン（1回目ログイン）のアカウント情報
- ④ AgentID/パスワード（2回目ログイン）の情報
- ⑤ AnyClutch Remoteサーバーとの通信が制限されていない、安定したネットワーク状態

※在宅の場合、遠隔元PCは自宅側、遠隔先PCは会社側です。

※上記④は遠隔接続時に毎回必要な情報です。Agentプログラムをインストール時に設定します。

2.2.2 遠隔先PC：サービスページにWebログインする

AnyClutch Remoteサービスを利用するには、Webブラウザからサービスページに接続し、Webログインを行う必要があります。

- ・サービスページ：<https://remote.anyclutch.net>
- ・Webログイン時のアカウント情報 3つ
 - ① 会社ID：ご契約時のグループID
 - ② ユーザID：Webログイン用のID
 - ③ パスワード：ユーザIDに紐づいたパスワード

※Web ログインのアカウント情報を確認する方法

- ・管理者：ご契約時に管理者メールに発行された「アカウント通知書」を確認
- ・マネージャー/ユーザー：管理者に発行された ID/パスワードを確認

ログイン

[Log in with SSO](#)

① 会社ID(Enterpriseをご利用の方のみ入力)

•トライアルはEnterpriseでの加入となります。
•Enterpriseの場合、会社IDとユーザIDを入力してください。
•Standardの場合、会社IDを入力する必要はありません。

② ユーザID

③ パスワード

☐ ID保存 [ID/パスワードをお忘れの場合 会員登録](#)

ログイン

2.2.3 遠隔先PC：Agentインストールプログラムをダウンロード

Agentとは、遠隔接続するために遠隔先PCにインストールするプログラムです。

※登録できるAgent台数は、ご契約ライセンス数と同じです。

※在宅される場合、会社のパソコンが接続先になります。

Agentダウンロード方法は以下のA、Bの2種類があります。いずれかの方法で行ってください。

A. サービスページで直接ダウンロード

：サービスページでAgentインストールファイルをダウンロードする方法です。

全ユーザーが利用可能な一般的な方法です。

B. インストールファイル生成

：予めアカウント情報を組み込んだインストールファイルを生成しユーザーに配布する方法です。

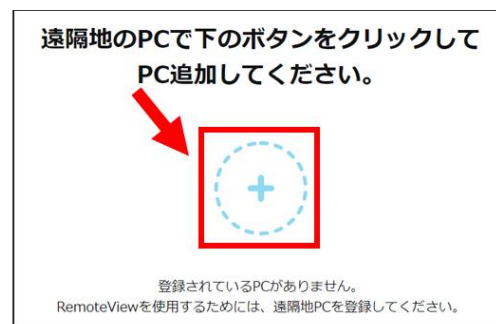
管理者（または、担当マネージャー）のみファイルを生成できます。

A. サービスページで直接ダウンロード

① Webログイン後、「PC追加」ボタンでAgentプログラムをダウンロードします。

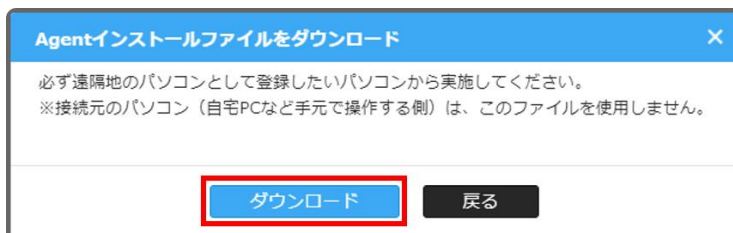


標準モードの場合



シンプルモードの場合

② ダウンロード可否を求めるポップアップが表示されたら、「ダウンロード」を選択します。



標準モードの場合



シンプルモードの場合

※インストールファイルが正常に実行されない場合、ブラウザの以下の設定を変更しローカルPCにインストールファイルを保存してからもう一度ファイルをダウンロードしてください。

- ・Chromeブラウザの場合：設定 > 詳細設定 > ダウンロード > ダウンロード前に各ファイルの保存場所を確認する > 有効
- ・Microsoft Edge：設定 > ダウンロード > ダウンロード時の動作を毎回確認する > 無効

③ ランダムな英数字のファイル名がダウンロードされたら完了です。

※ファイル名は変更しないでください。



B. インストールファイルでダウンロード

予めアカウント設定などを含めたAgentファイルを生成、または各ユーザーに配布する方法です。

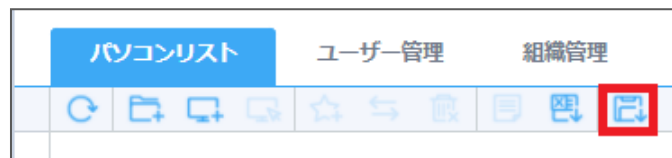
【 注意事項 】

- ・管理者または、担当マネージャーのみ作成できます。
- ・標準モードで実施してください。
- ・インストーラーの有効期限は最大1年間です。
- ・プロキシサーバ情報は、ネットワーク担当者様にお問い合わせください。

【 インストールファイルの生成方法 】

① 管理者または担当マネージャーで「AnyClutch Remoteサービスページ : <https://remote.anyclutch.net>」にWebログインします。

② パソコンリストタブ上部のツールバーから「インストールファイル生成」をクリックします。



③ 以下2種類からどちらかのインストール方式を選択してください。

- ・オンライン方式：ファイル生成する前にAgentID/パスワードを設定します。
- ・オフライン方式：ファイル生成後、インストールの際にAgentID/パスワードを設定します。

※オフライン方式でAgentをインストールすると、インストール後に「有効化」作業が必要です。

オンライン方式

オフライン方式

④ 各方式ごとに入力する情報が異なりますので、以下をご参照ください。

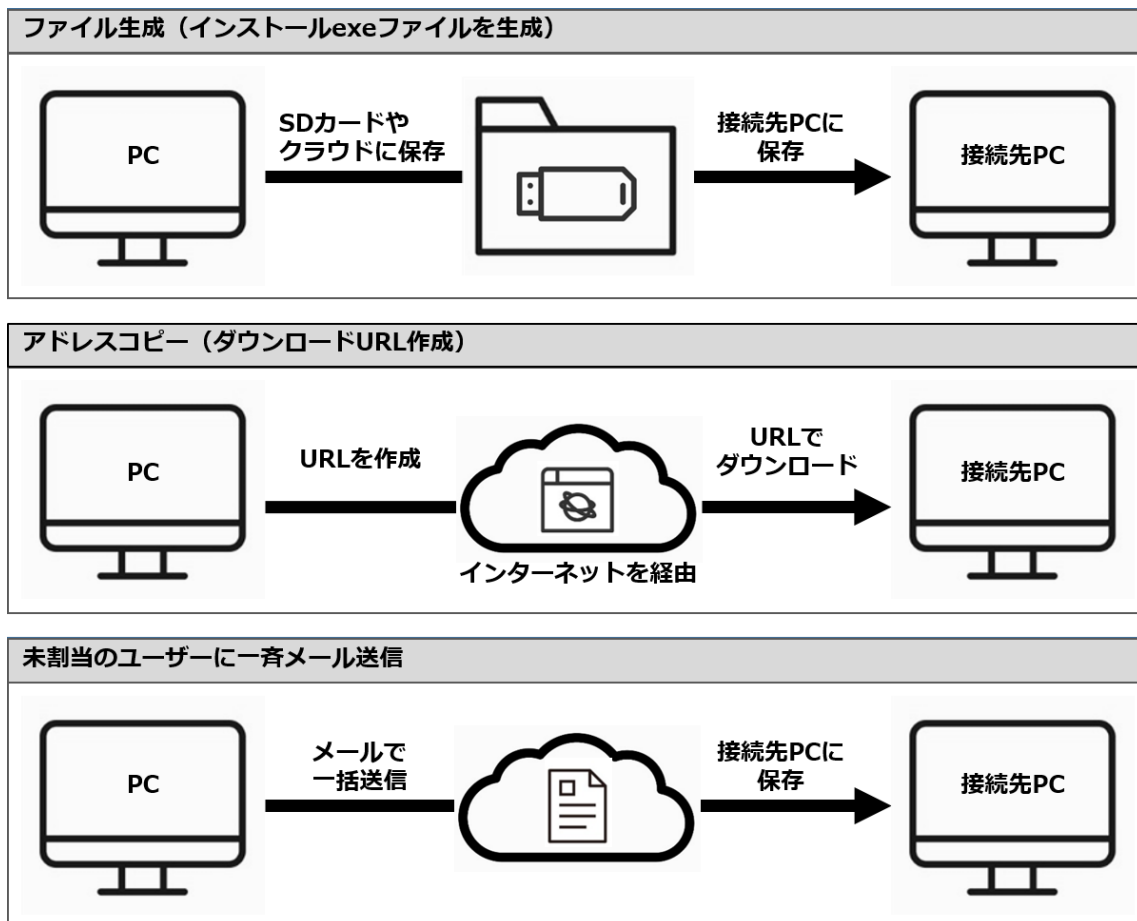
- ・オンライン方式：接続アカウント設定（AgentID/パスワード）、有効期限、プロキシ情報
- ・オフライン方式：Agentをインストールするグループ、有効期限、プロキシ情報

※プロキシ情報に関しては、ネットワーク担当者にお問い合わせください。

※オフライン方式の「Agent有効時のグループ設定」にチェックした場合、Agentプログラムをダウンロードしたユーザーは、自分に権限が割り当てられたグループリストからAgentをインストールするグループを選ぶことができます。

⑤ 「Agent EXE生成」ボタンをクリックし、3つのインストールファイル配布方法からどちらかを選択してください。

- ・ファイルの生成：インストールファイルを生成します。ファイルは記録媒体に保存できます。
- ・アドレスコピー：インストールファイルをダウンロードできるURLを生成します。
- ・未割当てのユーザーに一斉メール送信
：どのAgentにも権限が割り当てられていない全ユーザーのメールアドレスに、インストールファイルをダウンロードできるメールを一斉に送信します。インストールファイルは、受信したメールからダウンロードできます。



⑥ ランダムな英数字のファイル名がダウンロードされたら完了です。

※ファイル名やURLは変更しないでください。

※生成したインストールファイルは、同じ会社IDのユーザーで実行してください。



2.2.4 遠隔先PC：Agentプログラムのインストール

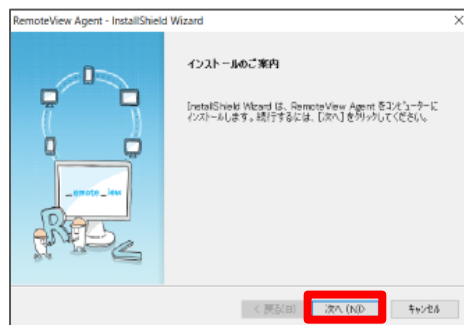
ダウンロードしたAgentプログラムのインストール方法は以下の通りです。

① Agentインストールファイルを実行します。

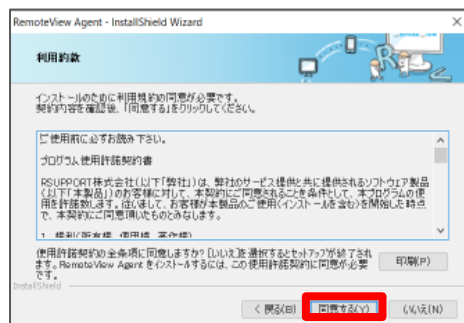
※ファイルを保存し、右クリックで「管理者として実行」クリックでの実行を推奨します。

※「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」とのUAC（ユーザーアカウント制御）画面が表示されましたら、「はい」を選択してください。

- ② Agentインストール開始画面が表示されましたら、「次へ」を選択します。



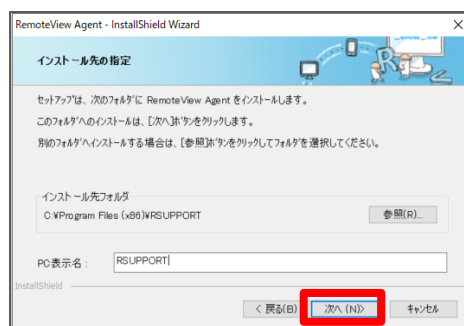
- ③ 利用規約の内容を確認後、「同意する」を選択します。



- ④ PC表示名を確認し、「次へ」を選択します。

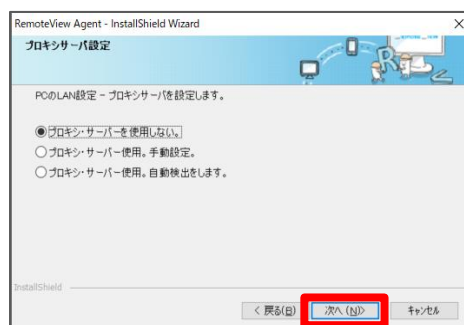
※PC表示名は任意で変更できます。

※PC表示名とは、AnyClutch Remoteサービスページに登録されるPCアイコンのニックネームです。



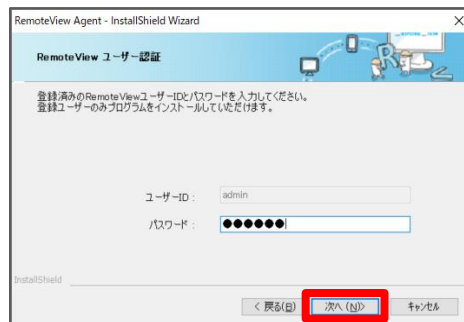
- ⑤ プロキシサーバの使用有無を確認し、当てはまる項目を選択して「次へ」を選択します。

※プロキシサーバ情報はネットワーク担当者にご確認ください。



- ⑥ Webログイン時のパスワードを入力して「次へ」を選択します。

※オンライン方式とオフライン方式で生成したファイルでインストール時は省略されます。



- ⑦ 遠隔先PCに接続する際に使用する認証情報を任意で設定し、「次へ」を選択します。

※IDとパスワードは異なる文字列で設定してください。

※ID/パスワード設定ルール

- ・接続ID：4～24文字以内の大小英数字。数字のみ入力可。

特殊文字入力不可。

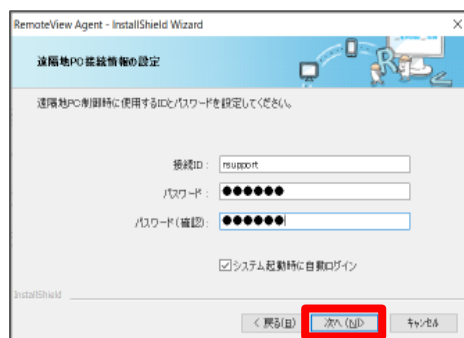
- ・パスワード：6～24文字以内の大小英数字。数字のみ入力可。特殊文字入力可。

※使用できない記号 ￥ / : ? * < > " " | & % + ;

※オンライン方式でインストールの場合、⑦の作業は省略され、有効化作業時に設定できます。

詳細は「【追加：オフライン方式でAgentをインストールした場合】」をご参照ください。

※認証情報は遠隔接続時に必要ですので、忘れないように必ずお控えください。



- ⑧ 「完了」を選択してポップ画面を閉じてください。

※リモートプリンターの詳細は「< 遠隔プリンター機能で印刷する方法 >」をご参照ください。

※遠隔画面ロックの詳細は「4.2.1 改善型ビューアの機能 > A. ツールバー > 【画面】 > ⑥ 遠隔画面ロック」をご参照ください。

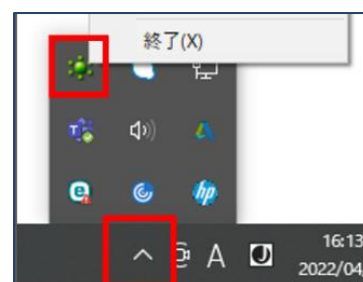


- ⑨ 遠隔先PCのシステムトレイにAgentアイコン（緑の歯車マーク）が表示されたら、完了です。

※オフライン方式の有効化作業に関しては、下記の【追加：オンライン方式でAgentをインストールした場合】をご参照ください。

※トラブルシューティング

- ・Agentアイコンに赤いX印がついた時はログアウト状態ですので、遠隔接続を行えません。Agentアイコンを右クリックして「ログイン」ボタンでログイン状態に戻してください。
- ・上記の方法でログイン状態に戻らない場合、「終了」ボタンでAgentを停止し再起動が必要です。
- ・Agent再起動方法：「Agentアイコンを右クリック > 終了」を押して停止した場合、「スタート > RSUPPORT > AnyClutch RemoteのAgentを起動」をクリックすると、Agentが再起動されます。クリックしてもポップアップなどは表示されませんので、システムトレイを開いてAgentアイコンが表示されているのかをご確認ください。



【 追加 : オフライン方式でAgentをインストールした場合 】

オフライン方式で生成したAgentファイルは、インストール後に「有効化」作業が必要です。

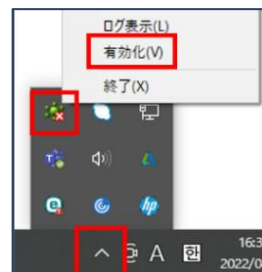
以下のどちらかの方法で「有効化」作業を完了してください。

※「サービスページで直接ダウンロード」や「オンライン方式」でAgentを生成してインストールした場合は「有効化」作業が不要です。

・ 管理者アカウント宛に生成されたファイルの有効化方法

1. システムトレイのAgentアイコンを右クリックします。
2. 「有効化」ボタンをクリックします。
3. 認証情報の接続ID/パスワードを任意で設定し「OK」を押下します。
※認証情報は遠隔接続時に毎回必要ですので、必ずお控えください。
4. OKを押してもお知らせはありません。

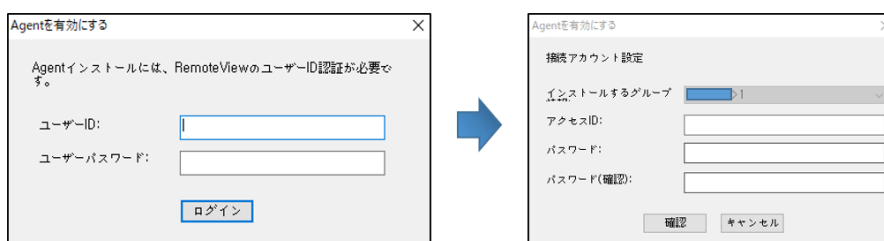
タスクトレイのAgentアイコンに赤い「X」印が消えたら、有効化完了です。



・ マネージャー/一般ユーザー宛に生成されたファイルの有効化方法

有効化の際、任意のPCグループに以下の手順でAgentをインストールすることができます。

1. システムトレイのAgentアイコンを右クリックして「有効化」を選択します。
2. マネージャー/一般ユーザーのWebログイン情報を入力します。
3. PCグループを確認し、接続ID/パスワードを入力します。



4. 「確認」を押下し、タスクトレイのAgentアイコンに赤い「X」印が消えたら、完了です。

2.2.5 遠隔元PC : SimpleLauncherをインストールする

AnyClutch Remoteサービスを利用するには、遠隔元PCにSimpleLauncher（シンプルランチャー）というプラグインをインストールする必要があります。

【 注意事項 】

- ・プラグインは「改善型ビューア」、または「RXビューア」を利用するために必要です。

- ・「Webビューア」でのみ遠隔接続の際は、プラグインインストールは不要です。
- ・「許可MACアドレス制限」機能と「Webビューア」を併用時は、シンプルランチャーのインストールが必要です。（※許可MACアドレス制限の詳細は「<許可IP、MACアドレス設定>」をご参照ください。）
- ・プラグインインストールは初回遠隔接続の際のみ必要で、次回からインストール作業は不要です。

【 SimpleLauncherのインストール方法 】

- ① AnyClutch Remoteサービスページ (<https://remote.anyclutch.net>) にログインします。
- ② 画面右上の「Simple Launcherをインストール」ボタンでファイルをダウンロードします。

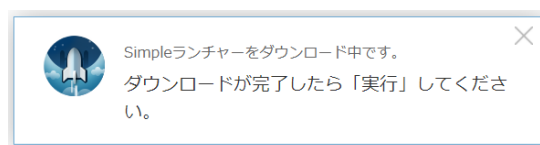
標準モードの場合



シンプルモードの場合

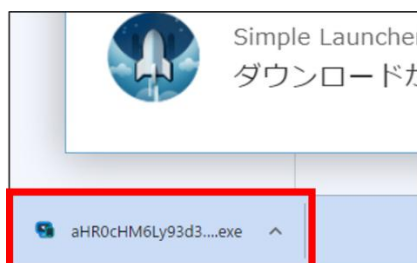


※ブラウザ左下に表示される「ダウンロード中」画面はダウンロード完了後に「X」ボタンで閉じてください。

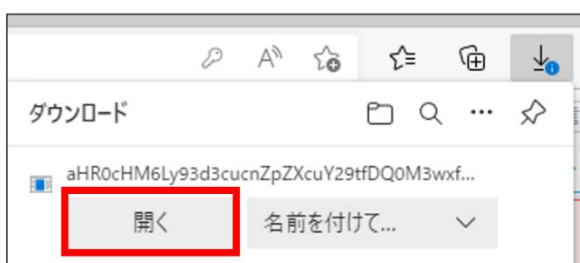


- ③ ダウンロードされたファイルをクリック、または保存してから実行してください。

※ファイル名は変更しないでください。

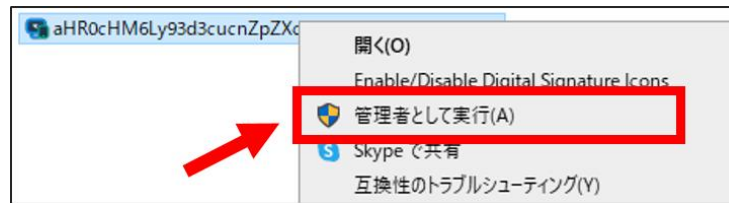


Chromeブラウザ



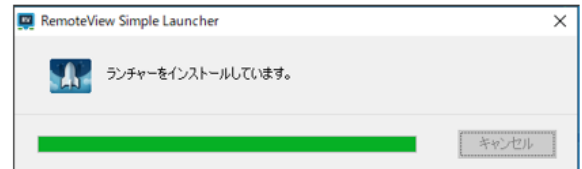
Microsoft Edgeブラウザ

※ WindowsOSの管理者アカウントでシンプルランチャーが正常に実行されない場合、ファイルを保存してから右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。



※「管理者として実行」を行った際、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」ポップが表示されましたら、「はい」をクリックしてお進みください。

④ インストールが完了するまでお待ちください。



⑤ 右側のようにポップアップが表示されたら、完了です。

※完了画面は「閉じる」や「X」ボタンで閉じてください。



3. 遠隔地PCに接続する

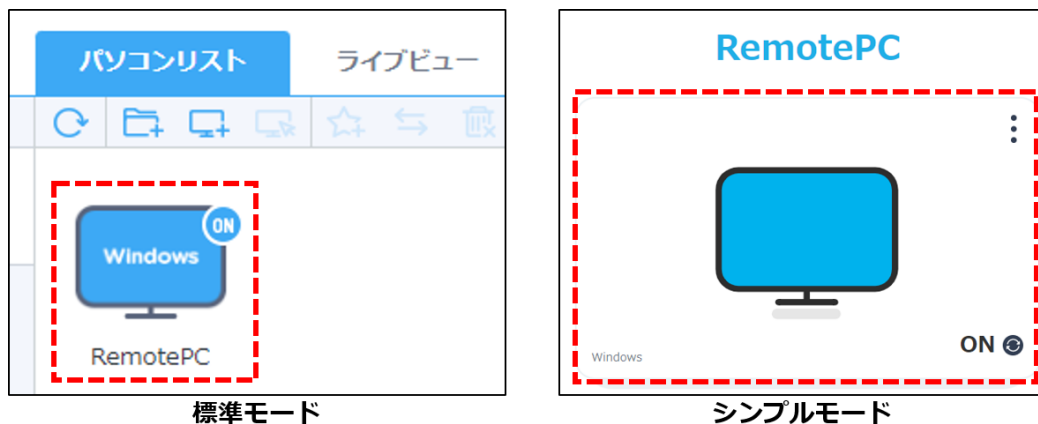
初期設定を完了し、遠隔元PCで**2回のログイン**を行うと、遠隔先PCに接続できます。
遠隔接続を行う手順は以下をご参照ください。

- ① 遠隔元PCからAnyClutch Remoteサービスページ (<https://remote.anyclutch.net>) にWebログイン（1回目のログイン）します。

※Webログインアカウント情報に関しては、「[5.1 サービスページにログイン](#)」をご参照ください。

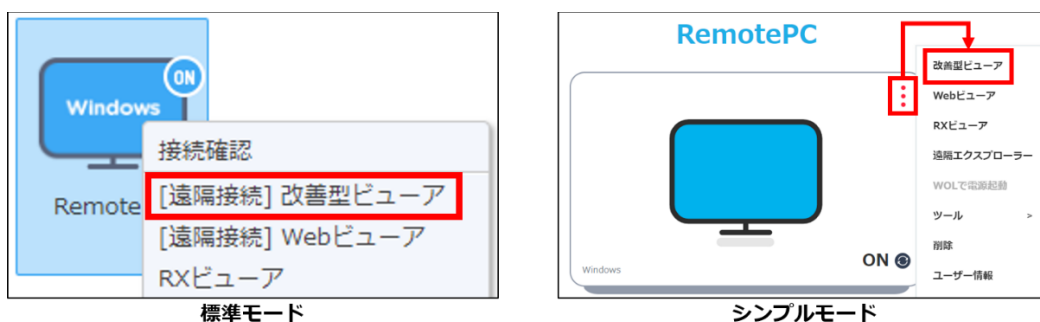
- ② 遠隔接続を行うPCのアイコン（以下、AgentPCアイコン）を確認します。

※表示モードの詳細は「[5.2 表示モード：シンプル/標準](#)」をご参照ください。



- ③ 以下の方法で遠隔接続を行う方式（以下、ビューア方式）を任意で選択してください。

- ・標準モードの場合：AgentPCアイコンを右クリックしてビューア方式を選択します。
- ・シンプルモードの場合：AgentPCアイコンの右上「…」を選択しビューア方式を選択します。



※ビューア方式に関しては、「[4.1 ビューア方式について](#)」をご参照ください。

※クイックスタートのヒント：

AgentPCアイコンのダブルクリックで、デフォルト設定中のビューア方式で遠隔接続できます。

・標準モードの場合：改善型ビューア（または、RXビューア）

・シンプルモードの場合：Webビューア

※ビューア方式のデフォルト設定方法に関しては「[遠隔制御ビューア設定](#)」をご参照ください。

※トラブルシューティング：AgentPCアイコンがグレーの場合は、

AgentプログラムとAnyClutch Remoteサーバー間の通信が行われていない状態です。

遠隔PCが以下のような状態でないかご確認ください。

- ・遠隔先PCの電源がOFF状態：遠隔先PCの電源がON状態でのみ遠隔接続できます。
- ・遠隔先PCがネットワークに未接続：遠隔先PCがネットワークに接続中のみ遠隔接続できます。
- ・Agentがログアウト状態：遠隔先PCのタスクトレイ > 緑の歯車を右クリック > ログイン必要
- ・遠隔先側のネットワークセキュリティにより通信がブロックされている。

：ファイアウォール等でセキュリティ制限をかけている環境の場合、AgentプログラムとAnyClutch Remoteサーバー間の通信をすべて通信許可してください。

④ 「SimpleLauncherを開きますか？」等のポップアップが表示されたら、「開く」を押下します。

※ポップアップのボックスにチェックした場合、次回からポップアップを非表示にできます。

※SimpleLauncherは改善型ビューア、RXビューアを利用するために必要なプラグインです。

※Webビューアでのみ遠隔接続を行う場合、④の作業は不要です。

※Webビューアと「MACアドレス制限」機能を併用時はSimpleLauncherの実行が必要です。

※許可MACアドレス制限の詳細は「[<許可IP、MACアドレス設定>](#)」をご参照ください。



Chromeブラウザ



Microsoft Edgeブラウザ

⑤ AgentID/パスワードの入力を求められたら、

「2.2.4 遠隔先PC：Agentプログラムのインストール」の⑦で

設定した情報を入力してください。



改善型ビューア・RXビューア



Webビューア

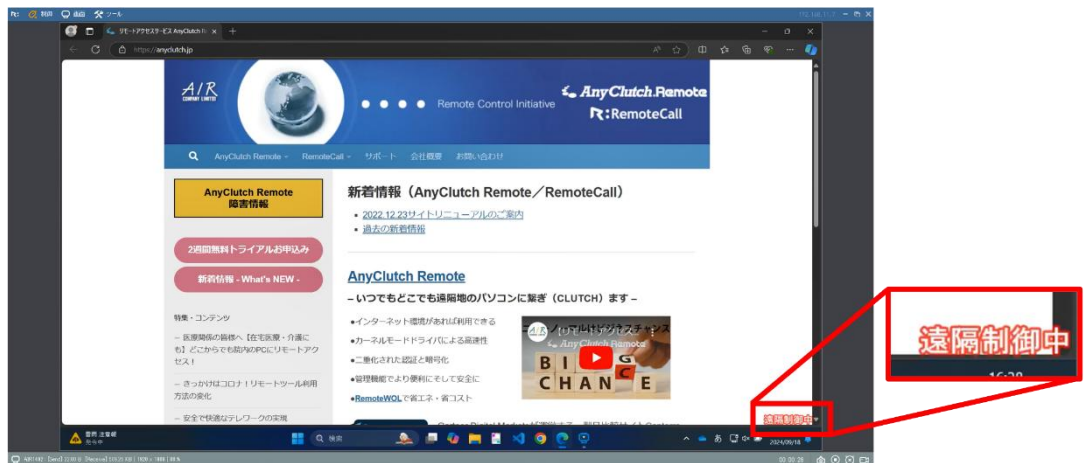
⑥ 遠隔先PCの画面が表示されたら、完了です。

※遠隔接続中は遠隔先PCの画面右下に「遠隔制御中」が表示されます。（非表示不可）

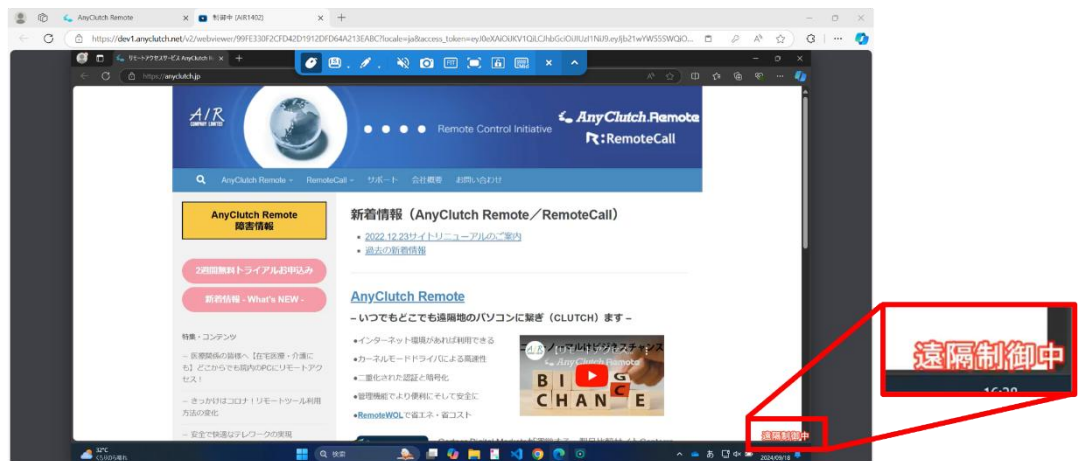
RXビューアの場合



改善型ビューアの場合



Webビューアの場合



4. 遠隔地PCを遠隔操作する

4.1 ビューア方式について

ビューア方式とは、遠隔接続を行う種類です。ビューア方式は以下 3 つとなります。

- ・改善型ビューア：動画再生、グラフィック作業等、GPU作業に特化したビューアです。
- ・RXビューア：直感的なUI/UXと改善型ビューアより性能を向上させたビューアです。
- ・Webビューア：プラグインインストール無しでブラウザから遠隔接続が行えるビューアです。

各ビューア方式ごとに利用可能な機能などが異なります。

利用状況に応じたビューア方式で遠隔接続を行ってください。

※改善型ビューア、RXビューアはWindowsのみ利用できます。

※改善型ビューア、RXビューアの利用にはSimpleLauncherプラグインを遠隔元PCにインストールする必要があります。

※Webビューアは基本SimpleLauncherプラグインのインストールが不要ですが、「MACアドレス制限」機能を利用するにはインストールが必要です。

※許可MACアドレス制限の詳細は「[<許可IP、MACアドレス設定>](#)」をご参照ください。

4.2 各ビューア画面の機能

ビューア画面とは、遠隔接続を行った際のセッション画面です。

3つのビューア（改善型ビューア、Webビューア、RXビューア）で利用できる機能については、以下の内容をご参照ください。

4.2.1 改善型ビューアの機能

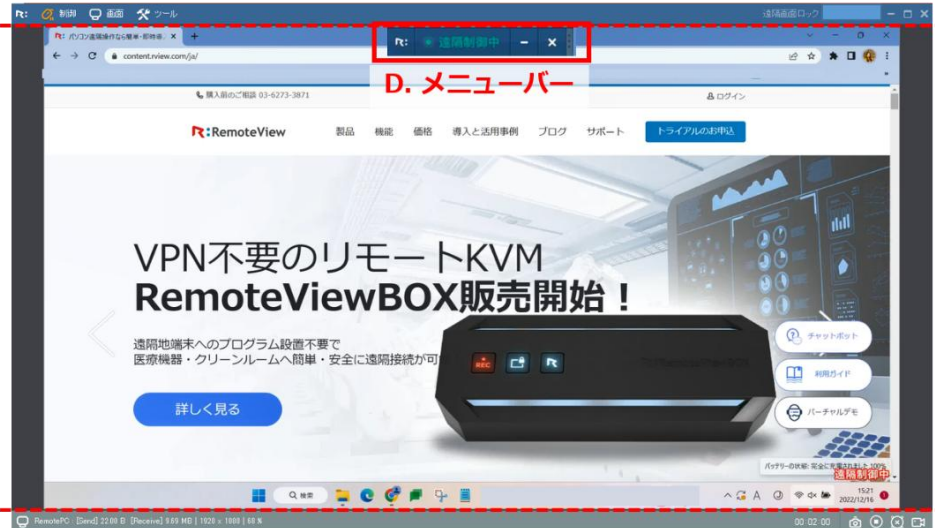
改善型ビューアのビューア画面は 4 つ（以下画像のA~D）で構成されています。

A. ツールバー

B. 遠隔地PCの画面

C. ステータスバー

D. メニューバー



A. ツールバー

ビューア画面の最上部にある機能操作バーです。

様々な機能やIPアドレス、画面の拡大縮小や閉じることできるボタンなどを確認できます。



【 R: (ホーム) 】



① 制御設定

1) 制御設定

・制御品質

画面のフレームレートを自動調整して画質を変更します。

※画質段階：低7 / 中25 / 高40 (fps)

※デフォルト設定は「中」です。



2) 画面スクロール：以下の機能をオン/オフできます。

- ・自動スクロール：遠隔地PCの画面比率を拡大した場合、画面の枠にマウスカーソルを当てると遠隔地PCの画面が自動でスクロールします。（デフォルト設定：オン）
- ・マウストラック：遠隔地PCの画面比率を拡大した場合、マウス左クリックでドラックして画面を動かします。（デフォルト設定：オフ）

② Web会議デバイスの設定

遠隔元PCのカメラ/マイクを遠隔地PCに、遠隔先PCのスピーカーを遠隔元PCに共有することで、遠隔先PC内のWeb会議システムで会議が行えるように、予めビデオ・マイク機器を設定します。

※詳細な設定方法は「[6.6 リモートビデオ・オーディオ機能の設定方法](#)」をご参照ください。



③ 常に前へ

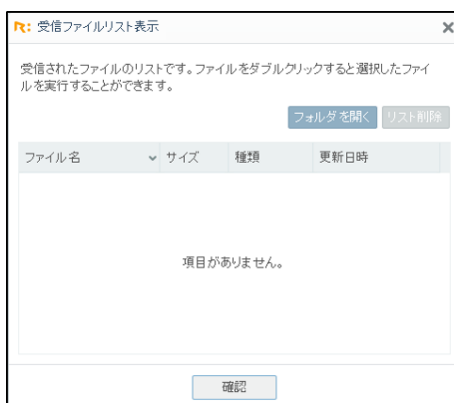
ビューア画面を常に遠隔元PC画面の最前へ固定します。

④ 受信フォルダを開く

ファイル転送機能で遠隔先PCから受信したファイル保存先フォルダを開きます。

⑤ 受信ファイルリスト表示

ファイル転送機能で遠隔先PCから受信したファイルリストを確認します。



⑥ ビューアロック

ビューア画面にパスワードロックをかける機能です。

ロック解除には遠隔接続時のパスワードを入力します。

※離席中などにご利用できます。

※「AgentID/パスワード」「Windowsアカウント認証」の認証方法で遠隔接続を行う場合のみご利用いただけます。

※上記の認証方法についての詳細は「[7.2 遠隔接続時のAgent認証方式を変更する](#)」をご参照ください。



⑦ 終了

遠隔接続を終了します。

【 制御 】



① マウス/キーボード制御

遠隔先PCのマウス/キーボードを、遠隔元PCのマウス/キーボードで制御できます。

※本機能を有効時は、ツールバーの「制御」ボタンに色がつきます。

※ツールバーの「制御」ボタンをクリックすることで本機能をオン/オフできます。

※デフォルト設定：オン

② マウス追跡

遠隔先PCのマウスカーソルの実際の位置をビューア画面に表示します。

③ Ctrl+Alt+Delキー転送

Ctrl+Alt+Delキーを押す必要があるときにご利用ください。

※遠隔元PCのキーボードで直接入力すると、遠隔元PCで実行されます。

【 画面 】



① 遠隔モニター

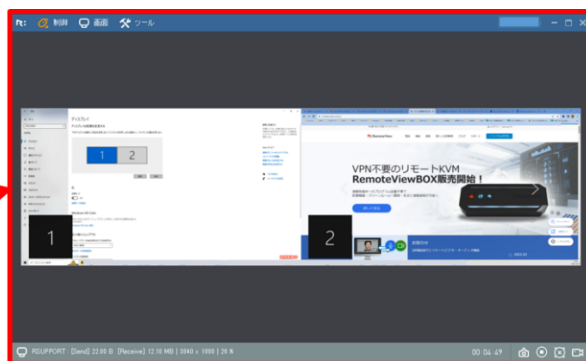
遠隔先PCに接続しているモニター台数や状況が確認できます。

遠隔先PCが複数のモニターを使用している場合、任意のモニターをビューア画面に表示します。

「全画面表示」にチェックすると、遠隔先PCのすべてのモニターを遠隔元PCの画面に同時表示できます。

※利用方法の詳細は以下FAQをご参照ください。（外部リンク）

<https://support.air.co.jp/hc/ja/articles/13991972901913>



② ズーム

遠隔先PCの画面倍率を25～200%で調整します。

※ツールバーの「画面」をクリックすると、画面比率が100、90、80、70、60、50%で変わります。



③ 自動調整

ビューア画面のサイズに合わせて遠隔先PCの画面比率を自動調整します。

④ リアルサイズ

遠隔先PCの実際の解像度で表示します。

⑤ 全体画面

遠隔元PCのモニターサイズに合わせて最大化します。

※「全体画面」使用時はツールバーが非表示になります。ツールバーは、画面上部をマウスオーバーすると表示されます。

⑥ 遠隔画面ロック

遠隔接続中に遠隔地PCのモニターを黒く表示する機能です。

他の人に遠隔中の画面が見られたり、情報漏洩の心配を防ぐためにご利用ください。

※オプション設定で、遠隔接続開始と同時に自動で遠隔画面ロックがかかるように設定できます。

※オプション設定方法などの詳細は「[6.2 遠隔画面ロック機能](#)」をご参照ください。

【 ツール 】



① 画面保存

遠隔先PCの画面をキャプチャして、遠隔元PCに保存します。

※ビューア画面のステータスバーのカメラアイコンをクリックしても画面保存できます。

※ファイル拡張子 : jpg

② URL転送

URLを転送すると、遠隔先PC側のウェブブラウザでページを表示します。

③ ファイル転送

遠隔元PCのファイルを遠隔先PCに転送する機能です。

※ドラッグ&ドロップやコピー&ペーストの動作にも対応しております。

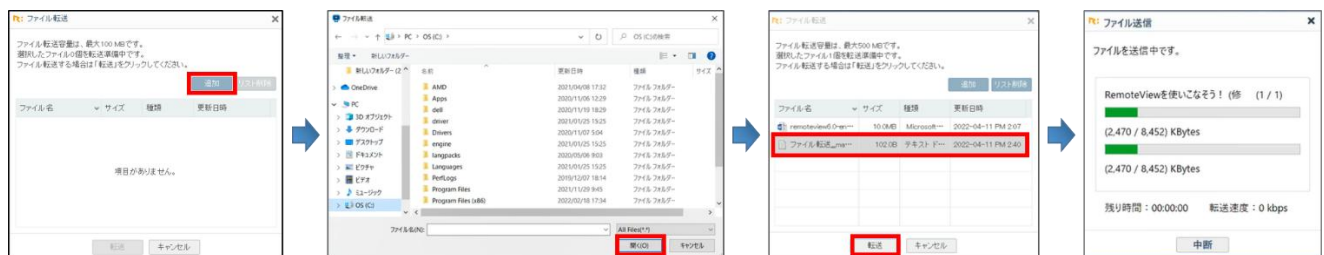
※ご利用には「制御中ファイル転送設定」を有効にしてください。

設定方法の詳細は「[制御中ファイル転送設定](#)」をご参照ください。

※保存先 : C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Received Files

< ファイル転送機能の利用方法 >

1. ツールバーの「ツール > ファイル転送」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
2. 遠隔先PCに転送したいファイルを選択して「開く」をクリックします。
3. リストから転送するファイルを選択し、「転送」をクリックします。
4. 遠隔先PCのファイル転送先のフォルダが開かれたら、転送完了です。



④ ファイル取り込む

遠隔先PCのファイルを遠隔元PCに取り込む機能です。

※ドラッグ&ドロップやコピー&ペーストの動作にも対応しております。

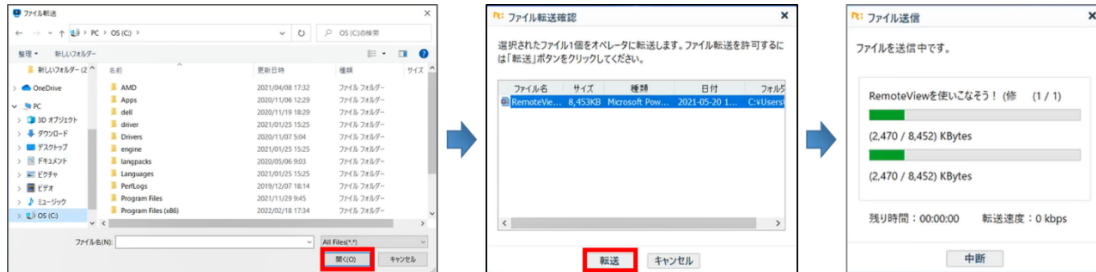
※ご利用には「制御中ファイル転送設定」を有効にしてください。

設定方法の詳細は「[制御中ファイル転送設定](#)」をご参照ください。

※保存先 : C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Received Files

< ファイル取り込む機能の利用方法 >

1. ツールバーの「ツール > ファイル取り込む」をクリックし、取り込むファイルを選択して「開く」をクリックします。
2. ファイルリストから取り込みたい項目を選択し、「転送」をクリックします。
3. 遠隔元PCのファイル取り込み先のフォルダが開かれたら、取り込み完了です。



⑤ クリップボード

遠隔元PCと遠隔地PCのクリップボードを確認/同期します。

画像もクリップボード機能でコピー & ペーストできます。

※macOSではクリップボードで画像の取り込みができません。



⑥ サウンド共有

遠隔地PC側で流れるサウンドを遠隔元PCのスピーカーを利用して聞くことができます。

※サウンド装置が搭載されている機器に限ります。

※ビューア画面のステータスバーの「X」印がついた丸アイコンをクリックしても有効にできます。

⑦ 録画

遠隔先PCの画面を録画します。

※ビューア画面のステータスバーのビデオアイコンをクリックしても有効にできます。

※保存先 : C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Recorded Files

⑧ Web会議を準備する

遠隔先PC内のWeb会議システムで会議を行う機能を開始します。

※ビューア画面の上部メニュー「R: > Web会議デバイスの設定」でデバイスの設定を完了後にご利用いただけます。

※Web会議機能は、改善型ビューア、RXビューアでのみご利用いただけます。

※遠隔先PCがWindows10以上、遠隔元PCがWindowsの場合のみご利用いただけます。

C. ステータスバー



① 使用状況

遠隔先PCの別称、ネットワーク使用量、遠隔地PCの解像度、ビューアの画面比率を確認します。

② 使用時間

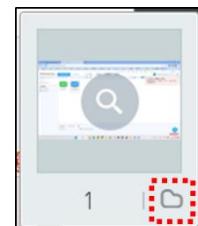
遠隔操作の経過時間

③ 画面保存

遠隔地PCの画面をキャプチャーして遠隔元PCに保存します。

※ツールバーの「ツール > 画面保存」と同じ動作です。

※雲のアイコンをクリックすると、保存先が開かれます。



④ 録画

遠隔先PCの画面を録画します。

※ツールバーの「ツール > 録画」と同じ動作です。

※雲のアイコンをクリックすると、保存先が開かれます。



⑤ サウンド共有

遠隔地PC側で流れるサウンドを遠隔元PCのスピーカーを利用して聞くことができます。

※有効にするとアイコンの「X」印が「O」に変わります。

※ツールバーの「ツール > サウンド共有」と同じ動作です。

※アイコンにマウスオーバーすると、サウンドのボリューム調整バーが表示されます。



⑥ Web会議デバイスの設定

遠隔元PCのカメラ/マイクを遠隔地PCに、遠隔先PCのスピーカーを遠隔元PCに共有することで、遠隔先PC内のWeb会議システムで会議が行えるように、予めビデオ・マイク機器を設定します。

※ツールバーの「R: > Web会議デバイスの設定」と同じ動作です。

※詳細な設定方法は「[6.6 リモートビデオ・オーディオ機能の設定方法](#)」をご参照ください。



D. メニューバー

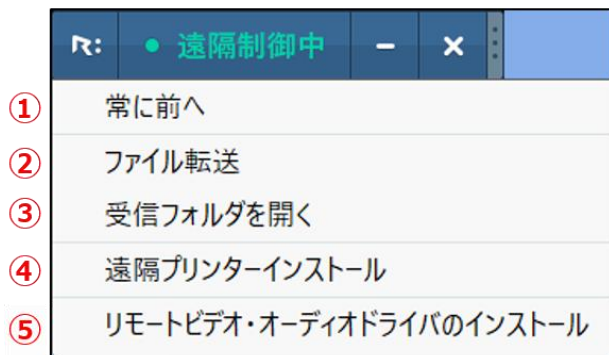
遠隔先PCのタスクバーのAnyClutch Remoteアイコンをクリックすると、遠隔先PC画面に表示されます。

遠隔先PCで使用する機能やインストールが必要なプログラムなどを設定できます。

「-」ボタンでメニューバーを非表示したり、「X」ボタンで遠隔先から接続を終了できます。



【 R: (ホーム) 】



① 常に前へ

メニューバーを常に遠隔先PC画面の最前へ固定します。

② ファイル転送

遠隔先PCから遠隔元PCにファイルを転送します。

※「4.2.1 改善型ビューアの機能 > A. ツールバー > 【 ツール 】 > ④ ファイル取り込む」と同様。

③ 受信フォルダを開く

遠隔元PCから受信したファイルの保存先フォルダを開きます。

④ 遠隔プリンターインストール

遠隔先PCにあるファイルを遠隔元側のプリンター機で印刷できるようにするプログラムをインストールします。

※本機能は元データを画像データ（jpeg）として印刷するため、成果物に多少のズレが発生する場合があります。正確に印刷する場合は、ファイル転送機能を利用して元のデータを取り込み印刷してください。

※MacOSではご利用頂けません。

※改善型ビューア、RXビューアのみご利用いただけます。

< インストール方法 >

1. メニューバーの「遠隔プリンターインストール」をクリックします。

2. 「このデバイス ソフトウェアをインストールしますか？」のセキュリティポップアップが表示されたら、「インストール」をクリックします。

3. 「遠隔プリンターのドライバーインストール完了」ポップアップが表示されたら、完了です。



< 遠隔プリンター機能で印刷する方法 >

1. 遠隔地PCに遠隔接続し、印刷するファイルの印刷プレビュー画面を開きます。

2. プリンター機器リストから「Rsupport Remote Printer 6」を選択し、印刷ボタンを押下します。



3. 遠隔元PCの印刷プレビュー画面が表示されたら、プリンター機器リストから手元の印刷機を選択して印刷を行います。

4. 手元の印刷機に正常にプリンターされたかをご確認ください。

< アンインストール方法 >

1. メニューバーの「遠隔プリンター削除」をクリックします。
2. 「遠隔プリンターのドライバーアンインストール完了」のポップアップが表示されたら、削除完了です。

⑤ リモートビデオ・オーディオドライバのインストール

遠隔先PC内のWeb会議システムを利用して遠隔元PCからWeb会議を行えるように、遠隔先PCと遠隔元PCのカメラ/マイクの共有を補助するプログラムをインストールします。

< インストール方法 >

1. メニューバーの「リモートビデオ・オーディオドライバのインストール」をクリックします。
2. 「リモートビデオ・オーディオドライバをインストールしますか？」ポップアップが表示されたら、「はい」をクリックします。
3. 「リモートビデオ・オーディオドライバのインストールが完了しました。」が表示されたら、完了です。

< アンインストール方法 >

1. メニューバーの「リモートビデオ・オーディオドライバの削除」をクリックします。
2. 「リモートビデオ・オーディオドライバを削除しますか？」が表示されたら、「はい」をクリックします。
3. 「リモートビデオ・オーディオドライバの削除が完了しました。」が表示されたら、完了です。

4.2.2 Webビューアの機能

Webビューアのビューア画面は3つ（以下画像のA～C）で構成されています。



A. ツールバー

ビューア画面の最上部にある機能操作バーです。様々な機能を設定できます。



① マウス/キーボード制御

遠隔先PCのマウス/キーボードを、遠隔元PCのマウス/キーボードで制御できます。

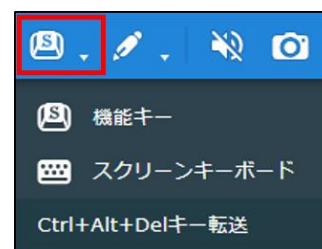
※本機能を有効時は、ツールバーの「制御」ボタンに色がつきます。

※デフォルト設定：オン

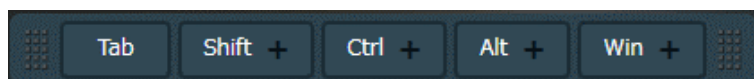
② 機能キー

Webビューアの仕様上、ファンクションキーの動作は遠隔元が優先適用されます。

遠隔先PCにファンクションキーの動作を適用するには、以下の「1）機能キー」をご利用ください。



1）機能キー



遠隔先PCにファンクションキーを利用するときにご利用ください。

※遠隔元PCのキーボードで直接入力すると、遠隔元PCでファンクションキーが実行されます。

2）スクリーンキーボード

遠隔先PCに搭載されているスクリーンキーボードを実行します。

3）Ctrl+Alt+Delキー転送

Ctrl+Alt+Delキーを押す必要があるときにご利用ください。

※遠隔元PCのキーボードで直接入力すると、遠隔元PCで実行されます。

③ 描画

遠隔先PCの画面上に描画を行うことができます。

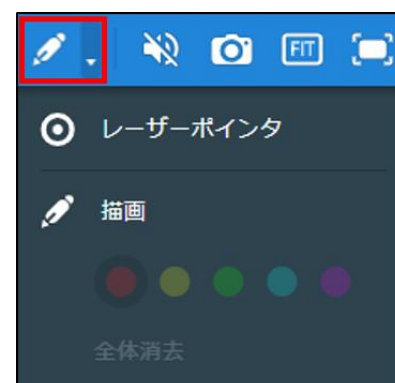
1）レーザーポインタ

マウスカーソルをレーザーポインタ代わりに利用します。

2）描画

描画する線の色を選択します。

「全体消去」ボタンで描画した内容を一括削除できます。



④ サウンド共有

遠隔地PC側で流れるサウンドを遠隔元PCのスピーカーを利用して聞くことができます。

※サウンド装置が搭載されている機器に限ります。

⑤ 画面キャプチャ

遠隔先PCの画面をキャプチャーして、遠隔元PCのダウンロードフォルダに保存します。

画面キャプチャを行うと、キャプチャした数だけ数字アイコンが付きます。



※ファイル拡張子 : jpg

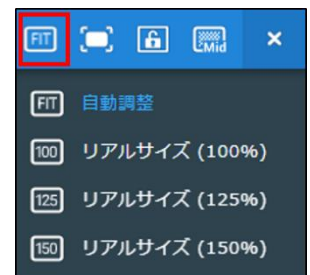
⑥ 画面自動調整

1) 自動調整

遠隔元PCの画面サイズに合わせて遠隔先PCの画面を表示します。

2) リアルサイズ

遠隔先PCの実際のサイズに合わせて遠隔元PCに表示します。



⑦ 全画面

遠隔元PCのモニター全画面に遠隔先PCの画面を表示します。

⑧ 遠隔画面ロック

遠隔接続中に遠隔地PCのモニターを黒く表示する機能です。

他の人に遠隔中の画面が見られたり、情報漏洩の心配を防ぐためにご利用ください。

※遠隔画面ロックを実行すると、アイコンが変わります。



※オプション設定で、遠隔接続開始と同時に自動で遠隔画面ロックがかかるように設定できます。

※オプション設定方法などの詳細は「[制御中ファイル転送設定](#)」をご参照ください。

⑨ 制御品質

画面のフレームレートを調整して画質を変更します。

(高 : 最大30fps、中 : 最大20fps、低 : 最大7fps)

※ネットワーク状況により自動的に変動されます。

※デフォルト設定は「中」です。

⑩ 終了する

遠隔接続を終了します。

⑪ 隠す

ツールバーを最小化する機能です。

最小化したツールバーは下矢印に変わり、下矢印をドラッグして画面上部の任意の場所に移動できます。



B. メニューバー

遠隔先PCのタスクバーのAnyClutch Remoteアイコンをクリックすると、遠隔先PC画面に表示されます。

「-」ボタンでメニューバーを非表示したり、「X」ボタンで遠隔先から接続を終了できます。



4.2.3 RXビューアの機能

RXビューアのビューア画面は3つ（以下画像のA～C）で構成されています。



A. ツールバー

ビューア画面の最上部にある機能操作バーです。様々な機能を設定できます。



【 R: (ホーム) 】



① 環境設定

1) 制御：画面や操作品質を設定します。

① 制御品質

画面のフレームレートを調整して画質を変更します。

(高：最大30fps、中：最大20fps、低：最大7fps)

※ネットワーク状況により自動的に変動されます。

※デフォルト設定は「中（推奨）」です。



② 制御モード

- ・高速モード：操作関連の処理を優先します。
- ・グラフィックモード：映像関連処理を優先します。

※デフォルト値：高速モード

③ 映像品質

- ・動画優先：通常の画面品質です。
- ・テキスト優先：文字が鮮明に見えるように画面のぼやけさを軽減します。

※テキスト優先を利用する場合、CPU使用率が高くなり、操作が重くなる可能性があります。

④ 自動スクロール

遠隔地PCの画面比率を拡大した場合、画面の枠にマウスカーソルを当てると、遠隔地PCの画面が自動でスクロールします。

※デフォルト値：オフ

⑤ マウス追跡

遠隔先PCのマウスカーソルの実際の位置をビューア画面に表示します。

⑥ 遠隔地カーソル使用

遠隔画面内では遠隔地PCの実際のマウスカーソルで遠隔制御を行えます。

※デフォルト値：オフ

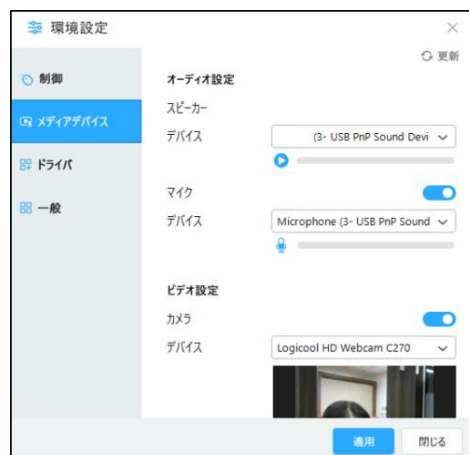
※RXビューアは基本遠隔元のマウスカーソルを参照します。

※遠隔画面内に反映するマウスカーソル情報：形、色

2) メディアデバイス

遠隔元PCのカメラ/マイクを遠隔地PCに、遠隔先PCのスピーカーを遠隔元PCに共有することで、遠隔先PC内のWeb会議システムで会議が行えるように、予めビデオ・マイク機器を設定します。

※詳細な設定方法は「[6.6 リモートビデオ・オーディオ機能の設定方法](#)」をご参照ください。



3) ドライバ (※環境設定画面を閉じてインストール/アンインストール作業を継続します)

・仮想ドライバ

- 仮想スピーカードライバ

サウンド共有機能のために遠隔先PCにインストールします。

- 仮想マイクドライバ

Web会議機能のために遠隔先PCにインストールします。

- 仮想カメラドライバ

Web会議機能のために遠隔先PCにインストールします。

・遠隔プリンタードライバ

- 遠隔ドライバ



遠隔先のファイルを遠隔元の印刷機で出力するために、遠隔先PCにインストールします。

- ローカルドライバ

遠隔元のファイルを遠隔先の印刷機で出力するために、遠隔元PCにインストールします。

4) 一般

・ビューア情報保存

直近の遠隔制御時のビューア画面情報を保存します。

※保存する画面情報：ビューア位置、ビューアサイズ、リアルサイズ、自動調整、全画面表示、

遠隔接続開始時に自動で立ち上げるマルチビューアのモニター番号と台数

※デフォルト値：オン

・UIエフェクト使用

スムーズな画面変化のためにご利用ください。

※デフォルト値：オン

・常に前へ

ビューア画面を常に遠隔元PC画面の最前へ固定します。

※デフォルト値：オフ

・言語

遠隔画面内の機能名の言語設定を選択できます。

※デフォルト値：日本語

※言語種類(5種類)：日本語、韓国語、英語、中国語(簡体)、中国語(繁体)



② 常に前へ

ビューア画面を常に遠隔元PC画面の最前へ固定します。

③ ビューア画面ロック

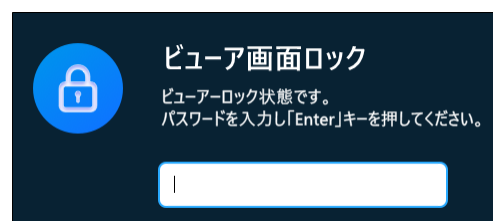
ビューア画面にパスワードロックをかける機能です。

ロック解除には遠隔接続時のパスワードを入力します。

※離席中などにご利用できます。

※「AgentID/パスワード」「Windowsアカウント認証」の認証方法で遠隔接続を行う場合のみ利用できます。

※上記認証方法の詳細は「[7.2 遠隔接続時のAgent認証方式を変更する](#)」をご参照ください。



④ 遠隔制御ステータス情報

遠隔先PCのステータス情報（Agent名、モニター解像度、制御時間、OS情報）を確認します。



⑤ 接続終了

遠隔接続を終了します。

【 制御 】



① マウス/キーボード制御

遠隔先PCのマウス/キーボードを、遠隔元PCのマウス/キーボードで制御できます。

※ツールバーの「制御」ボタンをクリックすることで本機能をオン/オフできます。

※デフォルト値：オン

② マウス追跡

遠隔先PCのマウスカーソルの実際の位置をビューア画面に表示します。

※デフォルト値：オフ

③ 遠隔画面ロック

遠隔接続中に遠隔地PCのモニターを黒く表示する機能です。

他の人に遠隔中の画面が見られたり、情報漏洩の心配を防ぐためにご利用ください。

※オプション設定で、遠隔接続開始と同時に自動で遠隔画面ロックがかかるように設定できます。

※オプション設定方法などの詳細は「[6.2 遠隔画面ロック機能](#)」をご参照ください。

※デフォルト値：オフ

④ Ctrl+Alt+Delキー転送

Ctrl+Alt+Delキーを押す必要があるときにご利用ください。

※遠隔元PCのキーボードで直接入力すると、遠隔元PCで実行されます。

⑤ Win+L転送

Win+Lキーを押す必要があるときにご利用ください。

※遠隔元PCのキーボードで直接入力すると、遠隔元PCで実行されます。

⑥ スクリーンキーボード

遠隔先PCに搭載されているスクリーンキーボードを実行します。

【 画面 】

① モニター選択

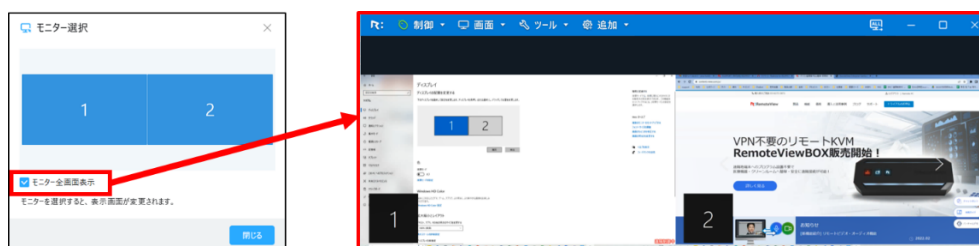
遠隔先PCに接続しているモニター台数や状況が確認できます。

遠隔先PCが複数のモニターを使用している場合、任意のモニターをビューア画面に表示します。

「モニター全画面表示」にチェックすると、遠隔先PCのすべてのモニターを遠隔元PCの画面に同時表示できます。

※利用方法の詳細は以下FAQをご参照ください。（外部リンク）

<https://support.air.co.jp/hc/ja/articles/13991972901913>



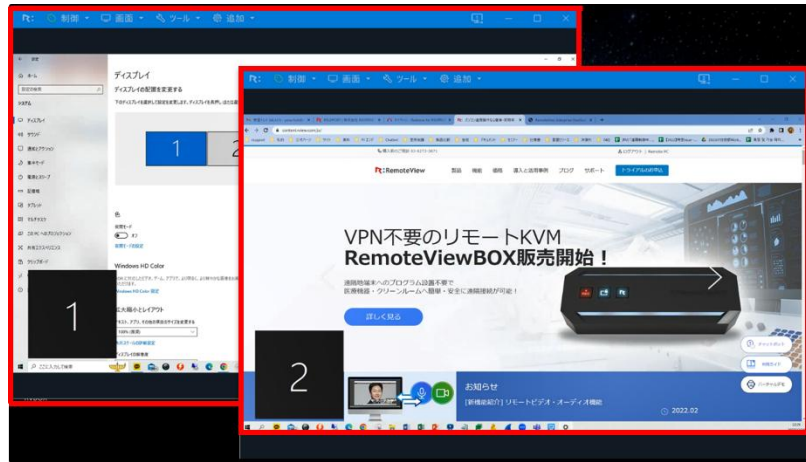
② マルチビューア実行

遠隔先PCに接続しているモニター台数ごとにビューア画面を分離して利用できます。

分離したビューア画面は個別に解像度を変更したり、ビューア画面間でドラッグ&ドロップやコピー&ペーストの動作を利用してファイルを転送することもできます。

※利用方法の詳細は以下のFAQをご参照ください。（外部リンク）

<https://support.air.co.jp/hc/ja/articles/38211285092761>



③ ナビゲーター

ビューア画面の右上にナビゲーターを表示します。

遠隔先PCの解像度が高く、ズームして利用する際にお勧めします。

- 1) 透明度：ナビゲーターと透明度を調整します。
- 2) 閉じる：ナビゲーターを終了します。
- 3) 全体画面：ナビゲーターの画面サイズに合わせて遠隔先PCの画面の大きさを調整します。
- 4) リアルサイズ：ナビゲーター上の遠隔先PCの画面をリアルサイズで拡大します。
- 5) ズーム：ナビゲーター上の遠隔先PCの画面を任意で拡大できます。



④ 画面サイズ

遠隔先PCの画面を任意で拡大（ズーム）する機能です。

- 1) 固定：画面サイズポップアップを常に前へ固定します。
- 2) 閉じる：画面サイズポップアップを終了します。
- 3) 自動調整：ビューア画面サイズに合わせて遠隔先PCの画面の大きさを自動的に調整します。
- 4) リアルサイズ：遠隔先PCの実際の画面の大きさをビューア画面に表示します。
- 5) 比率入力欄：1～200の数字を入力したり、上下ボタンで比率を調整します。
※200以上の数字を入力しても、200の比率が適用されます。
- 6) 比率調整バー：調整バーのポインターを移動して比率を調整します。



⑤ 自動調整

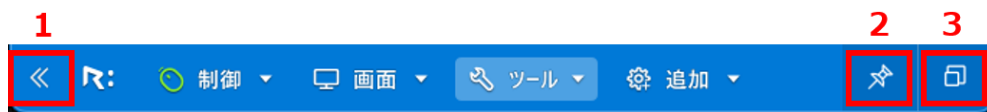
ビューア画面サイズに合わせて遠隔先PCの画面の大きさを自動的に調整します。
遠隔接続を行うと、自動調整機能が実行されます。

⑥ リアルサイズ

遠隔先PCの実際の画面の大きさをビューア画面に表示します。

⑦ 全画面表示

遠隔元PCのモニター全画面に遠隔先PCの画面を表示します。
全画面表示中はツールバーは基本非表示になり、画面上部をマウスオーバーすると表示されます。
全画面表示中のみ利用できるツールバー機能は以下の1～3です。



1) 折りたたむ/展開

全画面表示中のツールバーを折りたたむと、一部機能のみ利用できます。

※折りたたむ際に利用可能な機能：ツールバー展開、ホーム、ツールバー固定、全画面表示終了

※折りたたむと下記のようにツールバーが変わります。 ↓



2) ツールバー固定

全画面表示中、画面上部のツールバーはマウスカーソルを離すと3秒後に非表示となります。

3) 全画面表示終了

全画面表示の機能を終了します。

【 ツール 】



① ファイル送信

遠隔元PCのファイルを遠隔先PCに転送する機能です。

※ドラッグ&ドロップやコピー&ペーストの動作にも対応しております。

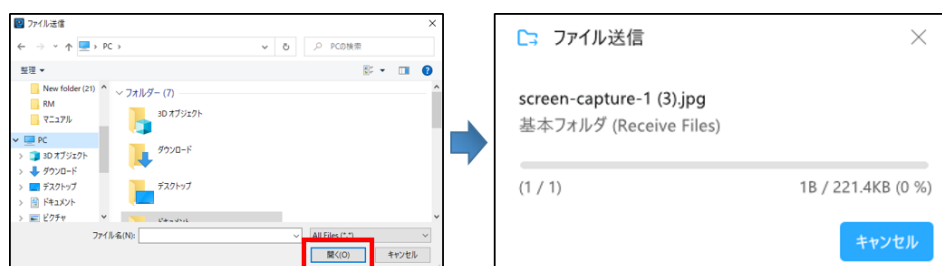
※ご利用には「制御中ファイル転送設定」を有効にしてください。

設定方法の詳細は「[制御中ファイル転送設定](#)」をご参照ください。

※保存先 : C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Received Files

< ファイル転送機能の利用方法 >

1. ツールバーの「ツール > ファイル転送」を選択すると、エクスプローラーが表示されます。
2. 遠隔先PCに転送したいファイルを選択して「開く」をクリックします。
3. 遠隔先PCのファイル保存先のフォルダが開かれたら、転送完了です。



② ファイル取り込み

遠隔先PCのファイルを遠隔元PCに取り込む機能です。

※ドラッグ&ドロップやコピー&ペーストの動作にも対応しております。

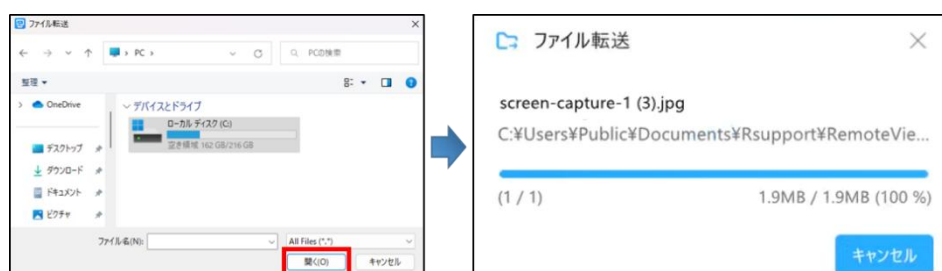
※ご利用には「制御中ファイル転送設定」を有効にしてください。

設定方法の詳細は「[制御中ファイル転送設定](#)」をご参照ください。

※保存先 : C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Received Files

< ファイル取り込む機能の利用方法 >

1. ツールバーの「ツール > ファイル取り込む」を押すと、エクスプローラーが表示されます。
2. ファイルリストから取り込みたい項目を選択し、「開く」をクリックします。
3. 遠隔元PCのファイル保存先のフォルダが開かれたら、取り込み完了です。



③ 受信フォルダを開く

ファイル転送機能で遠隔先PCから受信したファイル保存先フォルダを開きます。

④ 画面保存

遠隔地PCの画面をキャプチャーして遠隔元PCに保存します。

スクリーンショットファイルが保存されます。

確認

画面キャプチャーを完了した場合、右側のポップアップ通知が表示されます。

※ファイル拡張子：.png

※ポップアップ通知の「確認」を押すと、以下の保存先が表示されます。

※保存先：C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Captured Files

⑤ 録画

遠隔先PCの画面を録画します。録画を開始する際は、

「録画を開始しました。」のポップアップ通知が表示されます。

録画ファイルが保存されます。

確認

※ファイル拡張子：.avi

※ポップアップ通知の「確認」を押すと、以下の保存先が表示されます。

※保存先：C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Recorded Files

⑥ サウンド共有

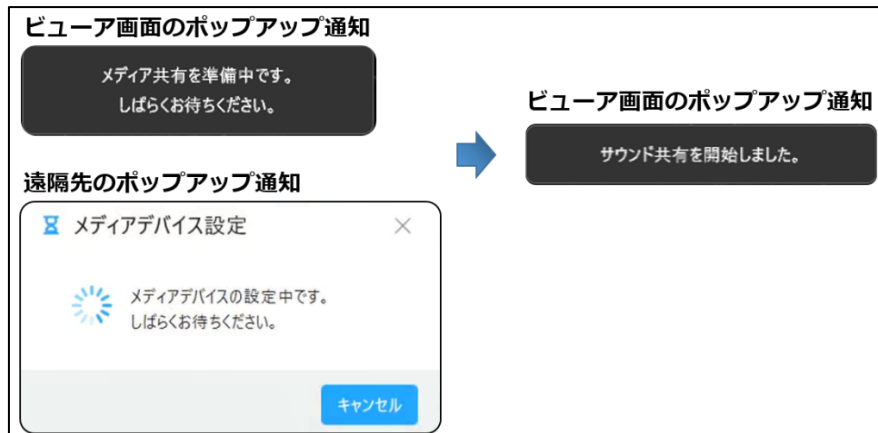
遠隔地PC側で流れるサウンドを遠隔元PCのスピーカーを利用して聞くことができます。

※サウンド装置が搭載されている機器に限ります。

※ツールバーの「R: (ホーム) > 環境設定 > ドライバ > 仮想スピーカードライバ」をインストール後に利用できます。

< 利用方法 >

1. ツールバーの「ツール > サウンド共有」をクリックします。
2. 「メディア共有を準備中…」ポップ通知後、自動的に仮想スピーカードライバが設置されます。
3. 「サウンド共有を開始しました。」ポップアップ通知が表示されたら、インストール完了です。



⑦ Web会議の準備

遠隔先PC内のWeb会議システムで会議を行う機能を開始します。

※ビューア画面の上部メニュー「R: > Web会議デバイスの設定」でデバイスの設定を完了後に
利用できます。

※Web会議機能は、改善型ビューア、RXビューアでのみ利用できます。

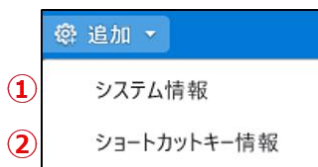
※遠隔先PCがWindows10以上、遠隔元PCがWindowsの場合のみ利用できます。

< 利用方法 >

1. ツールバーの「ツール > Web会議の準備」をクリックします。
2. 「メディア共有を準備中…」ポップアップ通知が表示され、自動的に仮想スピーカー/マイク/
カメラドライバがインストールされます。
3. 「Web会議の準備が完了しました」ポップ通知が表示されたら、インストール完了です。

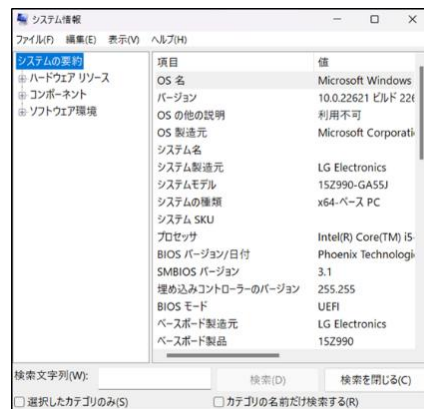


【 追加 】



① システム情報

Windowsのシステム情報を実行します。



② ショートカットキー情報

遠隔接続時に利用できる15種類のショートカットキー一覧です。
ダブルクリック、または機能選択後にEnterキーで一覧の動作を実行できます。

※ポップアップ右上のピンアイコンで常に前へ固定できます。



C. メニューバー

遠隔先PCのタスクバーのAnyClutch Remoteアイコンをクリックすると、遠隔先PC画面に表示されます。

遠隔先PCで直接操作できる機能を利用できます。



① ファイル転送

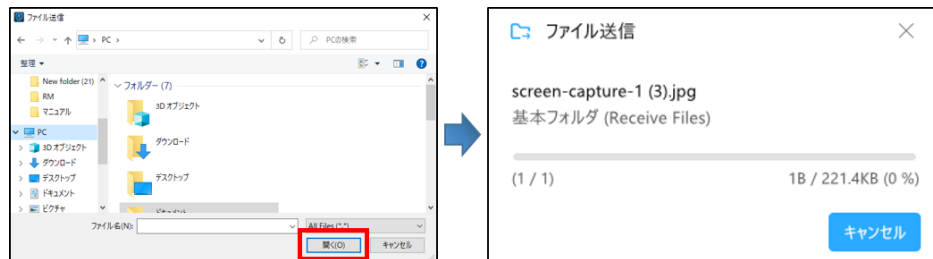
遠隔先PCのファイルを遠隔元PCに転送します。

※ご利用には「[制御中ファイル転送設定](#)」を有効にしてください。

※保存先：C:\Users\Public\Documents\Rsupport\AnyClutch Remote\Received Files

< ファイル転送機能の利用方法 >

1. メニューバーの「ファイル転送」を選択すると、エクスプローラーが表示されます。
2. 遠隔元PCに転送したいファイルを選択して「開く」をクリックします。
3. 遠隔元PCのファイル保存先のフォルダが開かれたら、転送完了です。



② 終了

遠隔接続を終了します。

③ 最小化

メニューバーを最小化します。

5. AnyClutch Remoteサービスページ

AnyClutch Remoteの様々なオプション機能は、AnyClutch RemoteサービスページにWebログイン後に変更・確認できます。

- AnyClutch Remoteサービスページ : <https://remote.anyclutch.net>



5.1 サービスページにログイン

AnyClutch RemoteサービスページにWebログインするには、ユーザーアカウントが必要です。自分のアカウント種類と情報を確認し、サービスページにWebログインします。

5.1.1 ユーザーアカウントの種類

AnyClutch Remoteのアカウントは、以下の3種類で構成されています。

権限	説明
管理者	全てのメニューと機能をご利用いただけます。 グループ、PC、ユーザーに権限割り当てなどの各種設定が可能です。 ※ご契約時に発行される管理者用IDを使用します。
マネージャー	管理者によって追加されたアカウントです。 管理者の管理権限を一部利用できます。 ※権限範囲に関しては、「 6.1.1 権限別比較表 」をご参照ください。
(一般) ユーザー	管理者、またはマネージャーによって追加されたアカウントです。 管理権限を持たない、遠隔接続のみに特化したユーザーです。

【 注意事項 】

- ・1会社IDにつき、1管理者IDのみ作成できます。
- ・管理者を除くマネージャー、(一般)ユーザーは無制限で追加できます。
- ・マネージャー、(一般)ユーザーは自分に割り当てられたAgent（またはPCグループ）のみ管理及び操作することができます。

5.1.2 Webログインに必要なアカウント情報

Webログイン時のアカウント情報は以下の3つです。

アカウント情報をサービスページに入力してください。

- ① 会社ID：ご契約時のグループID
- ② ユーザID：Webログイン用のID
- ③ パスワード：ユーザIDに紐づいたパスワード

The image shows a web login form titled 'ログイン' (Login). It includes a link 'Log in with SSO' and a text input field for '会社ID(Enterpriseをご利用の方のみ入力)' (Company ID, for Enterprise users only), which is annotated with a red circle and the number 1. Below this is a light blue information box containing three bullet points: '・トライアルはEnterpriseでの加入となります。' (Trial is for Enterprise only), '・Enterpriseの場合、会社IDとユーザIDを入力してください。' (In Enterprise case, input company ID and user ID), and '・Standardの場合、会社IDを入力する必要はありません。' (In Standard case, company ID input is not required). This is followed by a text input field for 'ユーザID' (User ID), annotated with a red circle and the number 2, and another text input field for 'パスワード' (Password), annotated with a red circle and the number 3. At the bottom, there is a checkbox for 'ID保存' (Save ID) and a link 'ID/パスワードをお忘れの場合 会員登録' (If you forget your ID/password, register as a member). A large blue 'ログイン' (Login) button is at the bottom.

※Web ログインのアカウント情報を確認する方法

- ・管理者：ご契約時に管理者メールに発行された「アカウント通知書」を確認
- ・マネージャー/ユーザー：管理者に発行された ID/パスワードを確認

※アカウント情報をお忘れの場合、以下のFAQをご参照ください。

<https://support.air.co.jp/hc/ja/sections/13006966218777>

5.2 表示モード：シンプル/標準

サービスページにWebログインすると、管理ページが表示されます。

管理ページは以下の2種類の表示モードがあります。

- ・シンプルモード
 - ：遠隔接続に特化したページです。直感的なUI/UXで遠隔接続を利用できます。
 - （一般）ユーザーアカウントにおすすめです。
- ・標準モード
 - ：ユーザー管理やセキュリティ設定等のすべての機能を確認・変更できます。
 - 管理者、またはマネージャーアカウントにおすすめです。



シンプルモード



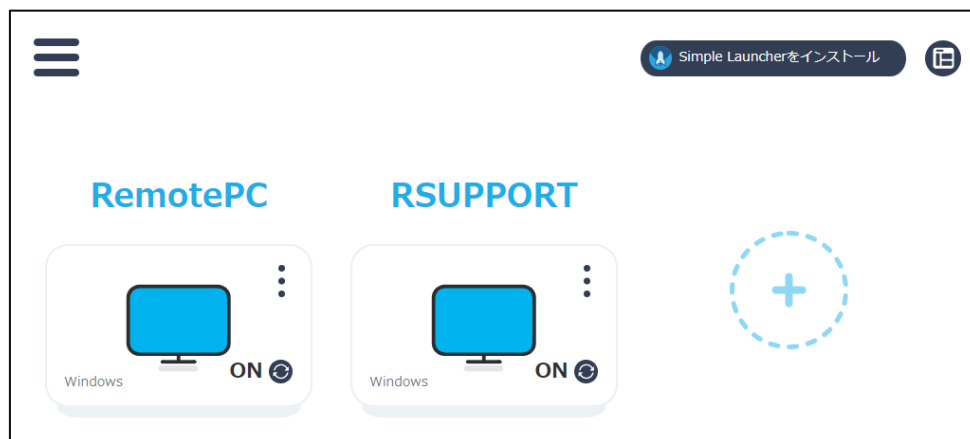
標準モード

5.2.1 シンプルモード

シンプルモードで利用できる機能について説明します。

【 注意事項 】

- ・グループ（フォルダ）構成で表示する事はできません。
- ・「遠隔で電源起動（WOL機能）」「メール招待機能」「ライブビュー機能」など一部の機能は非表示となっています。ご利用の際は標準モードからご実施ください。
- ・割り当てられたAgentPCが10台を超えるとシンプルモードで表示できません。
- ・表示モードは、前回ログアウトした時点のモードを引き継いで表示します。
- ・AnyClutch Remoteサービスページに初回ログイン時はシンプルモードになります。



A. ユーザーメニュー

MY情報管理 使用状況 環境設定 ログアウト	MY情報管理	登録メールなどの登録情報が確認できます。
	使用状況	アカウントの利用状況が確認できます。 ※詳細は、標準モードの「使用状況」をご参照下さい。
	環境設定	標準モードの「環境設定」に移動します。 ※詳細は、標準モードの「環境設定」をご参照下さい。
	ログアウト	サービスページからログアウトします。

B. Agentメニュー

改善型ビューア	改善型ビューア	改善型ビューアで遠隔接続を行います。
Webビューア	Webビューア	Webビューアで遠隔接続を行います。
RXビューア	RXビューア	RXビューアで遠隔接続を行います。
遠隔エクスプローラー	遠隔エクスプローラー	遠隔操作は行わず、ファイルの送受信を行います。
WOLで電源起動		
ツール	ツール	ツールメニューを展開します。
削除	削除	Agentをアンインストールし、登録を解除します。
ユーザー情報	ユーザー情報	このAgentPCに割り当てられたユーザーを表示します。
登録情報	登録情報	登録情報を確認します。

C. ツールメニュー

システムの終了	システムの終了※	システム管理メニューを展開します。
システム情報	システム情報	システム情報を表示します。
リモート画面キャプチャ	リモート画面キャプチャ	遠隔地PCの画面をキャプチャします。
プロセス実行	プロセス実行	プロセスを実行します。
プロセスリスト	プロセスリスト	プロセスリストを表示します。
Agent再開始	Agent再開始	PCは再起動せずRemoteView Agentを再起動します。
Agentアップデート	Agentアップデート	Agentのアップデートを行います。 最新のバージョンがある際に有効になります。 ※基本的にAgentは自動アップデートされます。

D. システム管理メニュー

サインアウト	サインアウト	遠隔地PCをサインアウトします。
システムの終了	システム終了	遠隔地PCをシャットダウンします。
再起動	再起動	遠隔地PCを再起動します。

E. 状態確認/更新

ON 	ON/OFF	Agentの通信状態を確認します。 ON⇒Agent通信中 OFF⇒Agent通信不可
		アイコンを最新状態に更新します。

F. Agent追加



PC追加

Agentをインストールします。

5.2.2 標準モード

標準モードで利用できる機能について説明します。

※表示モードは、前回ログアウトした時点のモードを引き継いで表示します。

A. パソコンリスト

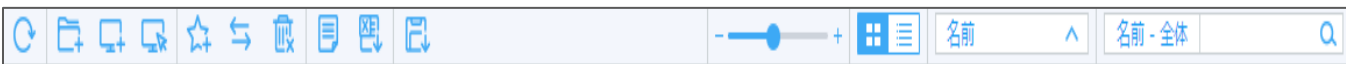
遠隔地PCへの接続やAgentの登録、パソコングループの作成など、Agentを管理するページです。



① ツールバー

アイコンから各種設定を行う事ができます。

※設定を行う項目は「①ツールバーアイコンの設定項目」をご参照ください。



	「更新」	画面を最新状態に更新します。
	「グループ追加」	PCグループを追加します。
	「PC追加」	Agentをインストールします。
	「遠隔制御」	指定したパソコンに遠隔接続を行います。
	「お気に入り」	お気に入りを登録/管理します。
	「移動」	他のお気に入りやPCグループに移動します。
	「削除」	Agentをアンインストールし、登録を解除します。

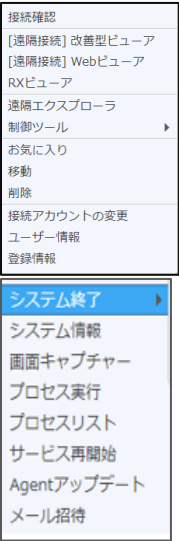
	「登録情報」	登録されている情報を確認します。
	「Excelファイルで エクスポート」	Agentやグループ情報をExcelファイルでダウンロードします。
	「インストール ファイル生成」	インストールファイルを生成します。 詳しくは「2.初期設定_Agentインストール」をご確認ください。
	「WOL PC追加」	WOLで起動用のパソコンを登録します。
		アイコンのサイズを拡大/縮小します。
	「表示形式」	アイコン表示/リスト表示に切り替えます。
	名前  「ソート」	表示順をソートします。  アイコンで昇順/降順を選択 優先順位：PCグループ>Agent> 数字> Alphabet>ひらがな> カタカナ
	名前・全体  「検索」	選択した表示基準情報で検索します。

② 右クリックメニュー

接続確認	Agentの最新状態に更新します。
【遠隔接続】改善型ビューア	改善型ビューアで遠隔接続を行います。
【遠隔接続】Webビューア	Webビューアで遠隔接続を行います。
【遠隔接続】RXビューア	RXビューアで遠隔接続を行います。
遠隔操作強制終了	接続中の遠隔接続を強制的に終了します。
遠隔エクスプローラ	遠隔地PCに接続せず、ファイルの送受信を行います。
WOLで電源起動	WOL機能を利用して電源起動する為の信号を送信します
制御ツール	制御ツールを展開します。下記【制御ツール】をご参照ください。
お気に入り	お気に入りを登録/管理します。
移動	他のお気に入りやPCグループに移動します。
削除	Agentをアンインストールし、登録を解除します。
接続アカウントの変更	接続時のAgent ID・パスワードを再設定します。 (管理者のみ) 詳細はP49 「Agent IDとパスワードがご不明な場合」をご確認ください。
ユーザー情報	このパソコンに割り当てられているユーザーを表示します。※自身は表示されません。
登録情報	登録情報を表示します。

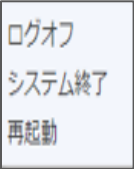
アイコンを右クリックして表示するメニュー。
※設定を行う項目は「②右クリックメニューの設定項目」をご参照ください。

【 制御ツール 】



システム終了	システム管理メニューを展開します。 下記【システム管理メニュー】をご参照ください。
システム情報	システム情報を表示します。 ※仮想環境では正しく表示されない場合があります。
画面キャプチャー	遠隔地PCで表示されている画面を保存します。
プロセス実行	遠隔地PCでExeを実行します。ファイル名は間違えないようにしてください。 ※プロセスとは、exe形式のファイル実行単位です。
プロセスリスト	実行中のプロセスリストを表示します。 ※プロセスとは、exe形式のファイル実行単位です。
サービス再開始	PCは再起動せRemoteView Agentを再起動します。
Agentアップデート	最新のバージョンがある際にクリック出来ます。 ※基本的にAgentは自動アップデートされます。
メール招待	一時的に複数で接続する際にメールで招待します。 ※招待されたPCがmacOSの場合、利用不可です。

【システム管理メニュー】



① ツールバーアイコンの設定項目



グループ追加

遠隔地PCが複数登録されている場合、グループ化することでより便利に管理することができます。

- ・最上位グループを含め、最大3階層で作成することができます。
- ・グループには管理者もしくはマネージャーを担当者として設定可能です。

※マネージャーがグループ担当者になると、グループ内のPCに対し、自動的にアクセス権が付与されます。



PC追加

操作をされる側のパソコンとして登録します。（Agentインストール）
詳細は、「2.初期設定～Agentインストール」を参照してください。

遠隔制御



指定したパソコンに遠

ログオフ	遠隔地PCをサインアウトします。
システム終了	遠隔地PCをシャットダウンします。
再起動	遠隔地PCを再起動します。

隔接続を行います。接続方法は「3.遠隔地PCに接続する」を参照してください。

移動

お気に入り間やグループ間で移動をすることができます。

- ・お気に入り間の移動：お気に入りから移動する遠隔地PCを選択 > 他のお気に入りに移動

・グループ間の移動：グループ > 移動先の遠隔地PCまたはグループを選択 > 他のグループに移動

削除

選択した遠隔地PCまたはグループをリスト上から削除します。

※グループ内に遠隔地PCやサブグループが含まれている場合は、②の「一括削除」のみ使用できません。

Agent PCアイコンを削除するには、以下の2つの方法からアンインストールしてください。

・パソコンリスト上で削除する

パソコンリスト上から削除します。

遠隔地（Agent）PCを直接操作する事なく、ウェブログイン可能なパソコンであれば、どのパソコンからでも削除する事ができます。

※一般ユーザーIDからでも削除可能にする場合は、環境設定> 共通セキュリティ設定> セキュリティ設定「一般ユーザーのAgent削除」を「全体使用」に変更してください。

- ① AnyClutch Remoteページ（rview.com）に管理者アカウントでログインします。
- ② 対象Agentアイコンを右クリックし、「削除」ボタンをクリックします。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 遠隔接続時のAgent ID/パスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックします。



※管理者IDであれば、ID/パスワード未入力でAgentを削除する事が出来ます。

以下の設定項目を変更してください。

環境設定> 共通・セキュリティ設定> セキュリティ設定>

Agentアカウント情報未入力でAgent削除（管理者）> 「全体使用」

・ Windowsから直接アンインストールする。

遠隔地PCを直接操作してアンインストールします。

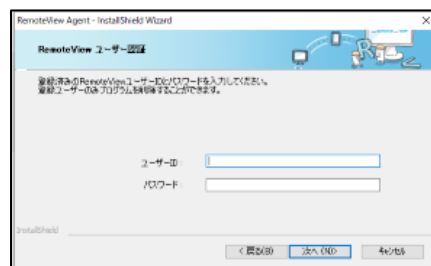
① Windows設定の「アプリと機能」、もしくはメニュー> RSUPPORT> 「Run RemoteView Agent Uninstall」 からアンインストールします。

※Windows7では「コントロールパネル > プログラムのアンインストール」からお進みください。

② アンインストールクリック後、表示されたポップアップ画面は、「はい」をクリックします。

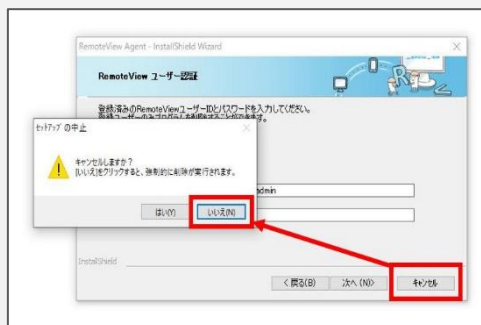
③ 次に ID・パスワードを入力する画面が表示されます。

ユーザーID・パスワードを入力し、「次へ」をクリックするとアンインストールが完了します。



ID・パスワードを入力しなくてもインストールすることができます！

ID・パスワード情報が不明な場合は
入力画面下の「キャンセル」をクリックし、その後「いいえ」をクリックして
ください。※「いいえ」を選択する事で強制削除します。



「登録情報」



Agentアイコン

【Agent情報】

Agent登録情報

Agent情報

Agentオプション

Agent(遠隔地PC)情報

別称 *

DESKTOPS

アイコン

PC

備考

PC名

DESKTOP-JL8CK41

OS

Microsoft Windows 10 Home (build 19041), 64-bit

バージョン

6.0.15.23

ネットワーク情報

IPアドレス

10.5.***.184

MACアドレス

94C6*****3A

サブネットマスク

255.255.255.0

セッションサーバ

ssjp05.rview.com

接続情報

登録日

2021/02/12 16:37:19

最終遠隔操作ユーザー

admin[kadowaki]

最終遠隔操作開始日時

2021/03/02 14:46:27

適用

キャンセル

大項目	項目	変更	備考
Agent情報	別称	○	対象Agentの表示名
	アイコン	○	デフォルト：PCタイプ  PC サーバ ノートパソコン ラックタ
	備考	○	-
	PC名	×	-
	OS	×	-
	バージョン	×	-
ネットワーク情報	IPアドレス	×	・デフォルトでマスキング（*）されています。 すべての情報を表示するにはメール認証  が必要です。 ネットワーク情報 IPアドレス 192.168.***.251 MACアドレス DC-71-**-**-**-5B
	MACアドレス	×	
	サブネットマスク	×	
	セッションサーバ	×	
接続情報	登録日	×	-
	最終遠隔操作ユーザー	×	-
	最終遠隔操作開始日時	×	-

Agentアイコン

【Agentオプション】



大項目	項目	オプション（デフォルト）
遠隔制御の品質設定	遠隔制御ビューア設定 （デフォルトで使うビューア設定）	・改善型ビューア（Beta）（デフォルト） ・RXビューア
	制御モード	・高速制御モード ・グラフィック制御モード（デフォルト）
	画面カラー	・4 Color ・256 Color（デフォルト） ・High Color ・True Color
遠隔制御の機能設定	クリップボード自動同期化	・使用する（デフォルト） ・使用しない
	遠隔操作時プロセス名変更	・使用する ・使用しない（デフォルト） ※ 接続時、rvagent.exe以外に自動で変更されたプロセス名でagentを実行します。セキュリティソフトでブロックされる環境等で利用します。
	キーボードドライバモード	・使用する ・使用しない（デフォルト）
遠隔地セキュリティ	遠隔制御開始時、遠隔画面自動ロック	・使用する ・使用しない（デフォルト）
	遠隔画面ロックタイプ	・Monitor Off ・Driver（デフォルト） ・Black Layer
	遠隔終了時にシステム ロック・ログオフ設定	・使用する ・使用しない（デフォルト）
	Agent接続認証を使用	・Agent ID/パスワードを使用（デフォルト） ・OTP（Google認証システム） ・Windowsアカウント認証 ・OTP（Email）
セキュリティ設定	遠隔制御中のマウス・ キーボード入力のロック	・使用する ・使用しない（デフォルト）

Agentグループ

Agentグループ登録情報

[パソコングループA] 登録情報

グループ名 *

パソコングループA

担当マネージャー *

admin(kadowaki)

備考

登録されたPC数

0

登録されたユーザ数

0

☐ 登録可能PC数

1 台

* 現在のグループに登録可能なPC数を制限することができます。

適用

キャンセル

グループ名	指定したグループ名が表示されます
担当マネージャー	指定したマネージャーが表示されます
備考	備考欄として記入できます。
登録されたPC数	グループに属しているAgentPC数
登録されたユーザ数	このグループに割り当てられたユーザー数
登録可能PC数	1~999
グループ名	指定したグループ名が表示されます

「インストールファイル生成」



Agent実行ファイルまたは、ファイルダウンロードURLを作成します。

詳細は「2.初期設定～Agentインストール」を参照してください。

「WOL PC追加」



RemoteWOL製品を用いて電源を起動するPCを追加します。

このアイコンを表示するには予めRemoteWOLが設置＞登録されている必要があります。

※RemoteWOLに関する詳細はご購入先にお問い合わせください。

※WOLとは「Wake On Lan」の略称で遠隔地からパソコンの電源を起動する事ができる機能です。

※WOL機能の詳細は「7.その他 WOL機能」をご参照ください。

「表示形式」



パソコンリストに表示されている遠隔地PCやグループの状況をアイコン/リスト表示に変更できます。。



アイコン表示



リスト表示

「ソート」

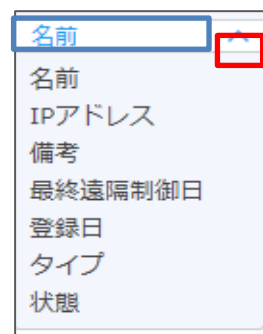


表示基準を変更します。

優先順位： PCグループ>Agent数字> Alphabet>ひらがな> カタカナ

※「名前」の部分をクリックするとほかの表示基準を選ぶことができます。

※アイコンをクリックすると昇順/降順を選択することができます。



「検索」



選択した表示基準情報で検索することができます。



②右クリックメニューの設定項目

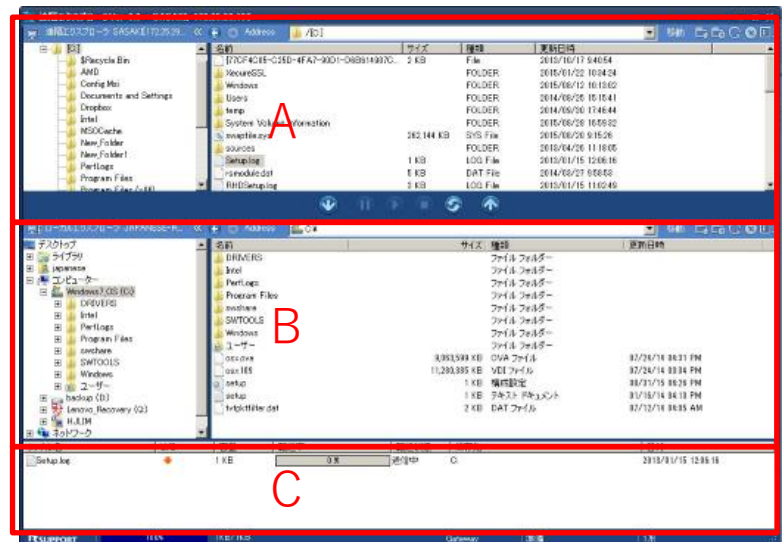
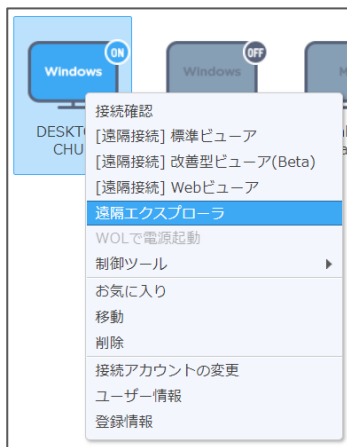
【遠隔接続】改善型ビューア/Webビューア/RXビューア

対象のAgentPCに遠隔接続を行います。詳しくは「3.遠隔地PCに接続する」を参照してください。

遠隔エクスプローラ

遠隔エクスプローラは、遠隔接続を行わないでファイルの送受信を行います。

※TCP通信でファイル転送を行います。



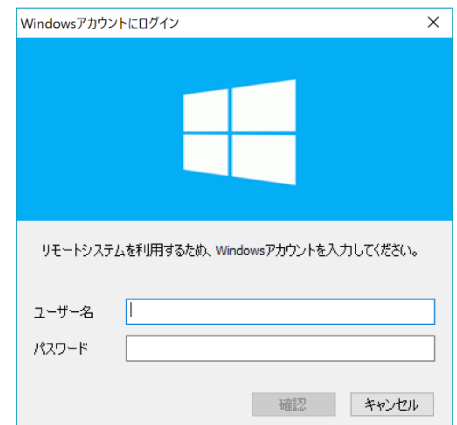
ローカルPC画面

- A. 遠隔地PCのエクスプローラ : 遠隔地PCのファイルを確認/選択できます。
- B. ローカルPCエクスプローラ : ローカルPCのファイルを確認/選択できます。
- C. 作業情報 : ファイルの送受信リストを確認できます。

※遠隔地PCのWindowsアカウント情報が必要です。

Windowsユーザー名がご不明な場合は、パソコン管理者にお問い合わせください。

※ActiveDirectoryドメインユーザーの場合認証できない場合があります。



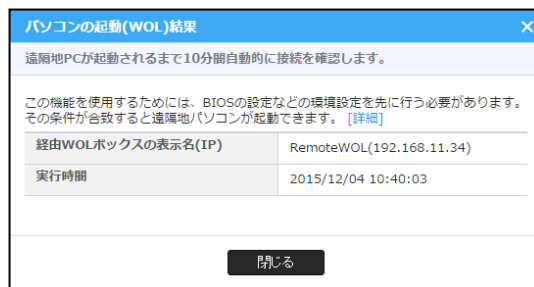
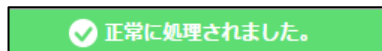
WOLで電源起動

WOL機能を利用し、指定したパソコンの対し、起動用の信号を送信します。

(現地の機器から電源起動する為の信号「Magic Packet」を送信します。)

本機能は起動指示する為の信号を送信するのみです。実際に電源起動するかどうかは、対象のパソコンが以下の状況である必要があります。

- ・ WindowsPC。かつWOL機能に対応している
- ・ WOLで起動するための事前設定がされている (デバイスマネージャー、BIOS)



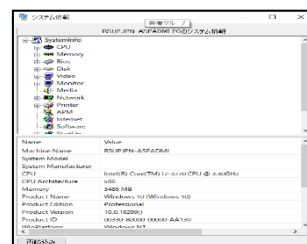
※10分間自動的に接続を確認します。(WOLを使用できない状況の場合は起動されません。)
 ※詳細は「7.その他～WOL機能」を参照してください。

制御ツール

システム情報

遠隔地PCのシステム情報を確認することができます。

※仮想環境などシステム環境によっては正しく表示されない場合があります。



画面キャプチャー

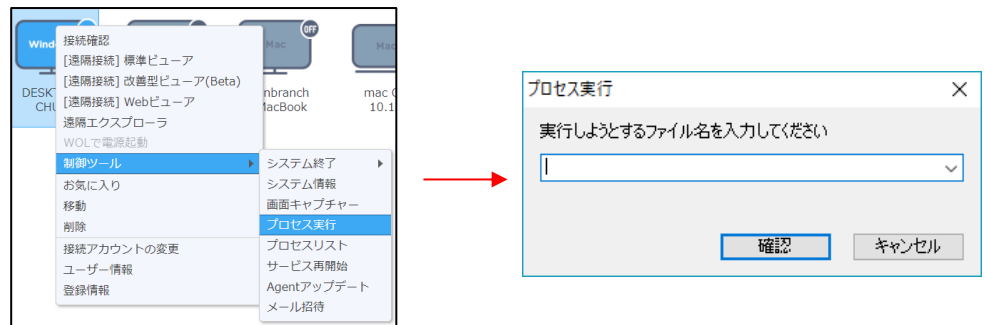
遠隔地PCで表示されている画面をキャプチャーします。



プロセス実行

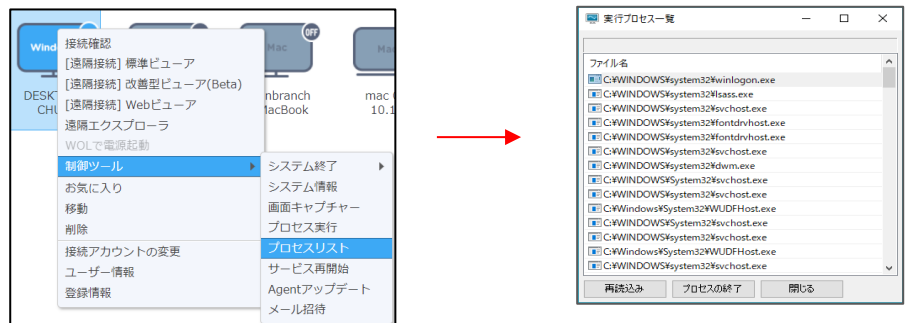
遠隔地PCのプロセスを実行します。

※プロセスとは、exe形式でのプログラム実行単位です



プロセスリスト

遠隔地PCで実行中のプロセスリストを確認します。



サービス再開始

遠隔地PCのAgentプログラムを再起動します。

Agent ID・パスワードを入力してください。

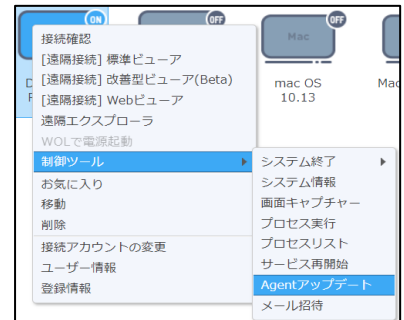
※PC本体は再起動されません。



Agentアップデート

遠隔地PCのAgentをアップデートすることができます。

※アップデート項目がない場合は実行されません。



メール招待

一時的に、複数のパソコンから同時接続を行うために、招待メール (ワンタイム接続リンク)を送信します。

① 遠隔接続中に、ワンタイムで接続を許可する遠隔地PCを選択し、右クリック>「制御ツール」>「メール招待」を選択します。



② 招待するユーザー情報および内容を入力し、「転送」をクリックします。

※メールリンクをクリックすると遠隔地PCへの制御権限が付与されます。招待するユーザーのメールアドレスに間違いがないか必ず確認してから送信してください。

A screenshot of the 'メール招待' (Email Invitation) dialog box. It has a title bar with 'メール招待' and a close button. The main text says '[在宅勤務用PC] に接近を許可するユーザーを招待します。' Below this are three input fields: 'メール *' (Email), '名前 *' (Name), and '内容' (Content). At the bottom are two buttons: '転送' (Send) and 'キャンセル' (Cancel).

③ 招待されたユーザーに右のような招待メールが届きます
招待メールが届いたユーザーは「遠隔接続」をクリックすると、一時的に遠隔接続を行う事ができます。
AnyClutch Remote動作環境のPCから実施してください。



※招待メールの有効期限は30分間です。

※招待メールが届かない場合は、メールの受信設定を確認してください。

※招待されたPCがmacOSの場合、利用不可です。

システム管理メニュー

ログオフ：遠隔地PCをサインアウトします。

システム終了：遠隔地PCをシャットダウンします。

システム再起動：遠隔地PCを再起動します。



お気に入り/移動/削除

❶ ツールバーアイコンの項目を参照してください。

接続アカウントの変更

Agent ID・パスワードの上書き再設定を行います。

※ 管理者のみ表示される項目です。

- ・「現在のパスワード」はAnyClutch Remote ページログイン時の管理者パスワードです。
- ・新しいID・パスワードを設定し、「適用」ボタンをクリックします。

※Agent ID:4文字以上 パスワード:6文字以上で設定してください。

ユーザー情報

Agentに割り当てられているユーザーと、操作権限の一覧が確認できます。

※自身の権限は表示されません。

ユーザー情報

Agentに割り当てられているユーザーを検索します。
権限の変更はユーザー管理から行うことができます。

お名前	遠隔エクスプローラ	遠隔制御					
manager1	☐ 許可	☒ 許可	☒ 画面キャプチャー	☒ プリント	☒ 録画	☒ ファイル送受信	☒ クリップボード
manager2	☐ 許可	☐ 許可	☒ 画面キャプチャー	☒ プリント	☒ 録画	☒ ファイル送受信	☒ クリップボード
user1	☐ 許可	☐ 許可	☒ 画面キャプチャー	☒ プリント	☒ 録画	☒ ファイル送受信	☒ クリップボード

閉じる

登録情報

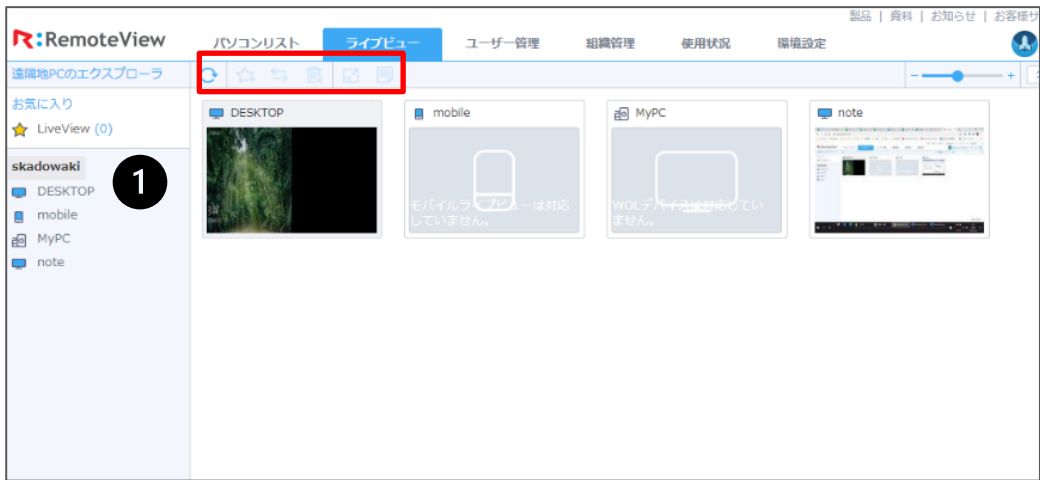
「❶ ツールバーの設定項目」をご確認ください。

ライブビュー

割り当てられている遠隔地PCの画面状況を「ライブビュー」ページから確認することができます。

※画面情報は静止画で5秒毎に更新します。

※遠隔地PCが複数モニターの場合は全モニターを圧縮して表示します。



① ツールバー



	更新	画面のデータを更新します。
	お気に入り	遠隔地PCをお気に入りとして登録します。
	ズーム	遠隔地PCの画面を拡大表示します。（5秒毎に更新）
	登録情報	登録情報を表示します。

【拡大方法】

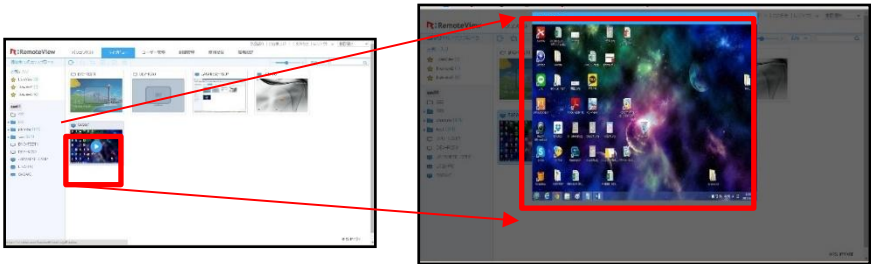
- 1.遠隔地PC画面をクリック
- 2.遠隔地PC名をクリックし、上部バーのズームアイコンを  クリック
- 3.遠隔地PC画面を右クリックし、メニュー内の「ズーム」を選択

ユーザー管理

AnyClutch Remote利用者のユーザーアカウントは、管理者/マネージャー/ユーザーと3種類の権限に分かれています。

管理者およびマネージャーは、「ユーザー管理」ページが表示され、このページからユーザーを追加したり、権限の割り当てを行う事ができます。

※ユーザーグループは組織管理画面から作成してください。



権限	説明
管理者	全てのメニューと機能が利用可能で、すべてのグループ、PC、ユーザーに対する権限割り当てやライセンス管理をすることができます。 ※サービス開始時に発行される管理者用IDです。 ※登録された全てのパソコンを遠隔操作する事が出来ます。 ※管理者IDは2つ以上作成する事はできません。
マネージャー	グループを管理するために管理者から一部権限を与えられたユーザー。登録数に制限はありません。 指定されたパソコンのみ、遠隔操作が行えます。
ユーザー	管理者またはマネージャーによって作成される管理権限を持たないユーザー。登録数に制限はありません。 指定されたパソコンのみ、遠隔操作が行えます。



マネージャー/ユーザーアイコン状態

アイコン	説明
 / 	一般ユーザー / マネージャー
 / 	上位グループに属している一般ユーザー / マネージャー
 / 	パスワード5回失敗によるロック状態、もしくは管理者からの「無効」に設定された状態

	上位グループに属している使用中止中のユーザー / マネージャー
	ユーザーグループ ※組織管理で作成可能

①	ツールバー。アイコンから各種設定を行う事ができます。
②	アイコンを右クリックして表示するメニュー。
③	ツリーメニュー。割り当て状況を確認や、割り当て権限を解除する事ができます。

①ツールバー



※設定を行う項目は「①ツールバーアイコンの設定項目」をご参照ください。

アイコン説明

	「更新」	画面を最新状態に更新します。
	「マネージャー追加」	マネージャーを追加します。
	「ユーザー追加」	ユーザーを追加します。
	「お気に入り」	お気に入りを登録/管理します。
	「移動」	他のお気に入りやPCグループに移動します。
	「使用者権限設定」	遠隔操作の使用権限を割り当てます。
	「削除」	マネージャー/ユーザーを削除します。
	「登録情報」	登録情報を確認します。
	「Excelファイルでエクスポート」	ユーザー管理情報をExcelファイルでダウンロードします。
	「Excelファイルで一括登録」	Excelファイルからユーザーを一括登録します。

②右クリックメニュー

※設定を行う項目は「②右クリックメニューの設定項目」をご参照ください。

アカウント状態	アカウント状態	このユーザーを有効/無効に変更します。
権限割り当て	権限割り当て	このユーザーに遠隔操作の使用権限を割り当てます。
権限情報	権限情報	このユーザーに割り当てられたPCを表示します。
お気に入り	お気に入り	お気に入りを登録/管理します。
削除	削除	このユーザーを削除します。
パスワード修正	パスワード修正	新しいウェブログイン用パスワードを再設定します。
登録情報	登録情報	登録情報を表示します。

①ツールバーアイコンの設定項目



マネージャー追加/ユーザー追加



マネージャー/ユーザーIDを作成します。

マネージャー権限の場合は、ユーザーのみ作成可能です。

マネージャー追加

マネージャー追加

ユーザー*

パスワード*

名前*

備考

部署

役職

メール

電話番号

携帯電話

PC、モバイル対応

許可(MACアドレス設定)

PC, Mobile

☐ 使用
☒ 使用しない

適用

キャンセル

ユーザー追加

ユーザー追加

ユーザー*

パスワード*

名前*

備考

部署

役職

メール

電話番号

携帯電話

PC、モバイル対応

許可(MACアドレス設定)

PC, Mobile

☐ 使用
☒ 使用しない

適用

キャンセル

お気に入り

お気に入りにて特定のユーザー（またはマネージャー）を最大5つまで作成・管理することができます。



① 登録するカテゴリを選択します。



② 「適用」をクリックします。

移動

お気に入り間でユーザーを移動させることができます。



① 移動先お気に入りを選択します。



② 「適用」をクリックします。

使用者権限設定

作成したユーザーに対して、遠隔操作を行えるように操作権限を割り当てます。

管理者は個別のAgent、またはグループを割り当てて下さい。

※グループに権限を割り当てる場合、ユーザー毎、パソコン毎に内容変更するなどの個別設定はできません。全て同じ条件で権限が付与されます。

※上位グループに割り当てた場合、下位のグループにも同じ権限が反映されます。



名前	遠隔エクスプローラ	遠隔制御	画面キャプ...	プリント	録画	ファイル送受信	クリップボード
user1	許可	許可	画面キャプ...	プリント	録画	ファイル送受信	クリップボード [変更可能]

「割り当て方法」

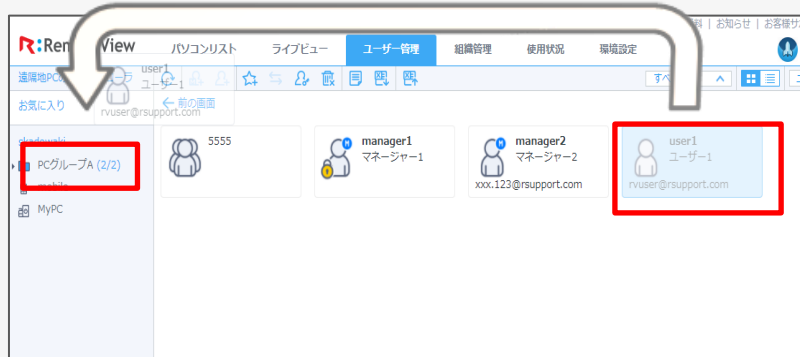
【1台のパソコンを割り当てる】

グループ選択1段目	会社IDを選択します
2段目	(対象PCがグループ内にある場合) 対象のグループを選択します。
Agent選択	割り当てるAgentパソコンを選択します。

【グループ内のパソコンを全て割り当てる】

グループ選択1段目	会社IDを選択します。
2～3段目	割り当てるグループを選択します。
Agent選択	選択しません。

権限の割り当ては、ツリーメニューに表示されているAgentや、PCグループにドラッグ&ドロップして割り当てる事もできます。



(範囲指定や、Ctrl+クリックなど) 複数選択して割り当てる際は、一括設定ボタンをご活用ください！



削除

ユーザーまたはマネージャーを削除します。（最上位グループ内）

※ウェブログイン時のパスワードの入力が必要です。



- ・お気に入り内でユーザーを削除するとお気に入りリストからのみ削除されます。
- ・グループ内でユーザーを削除すると該当するグループへの権限のみが削除されます。

登録情報

ユーザーの登録情報や修正、役割、個人情報、アカウント状態、セキュリティなどを変更することができます。

Excelファイルでエクスポート

登録されたユーザー情報を、Excelデータでエクスポートします。

エクスポートしたい情報を選択してください。

ユーザー別登録情報	各ユーザーの登録情報が確認できます。
-----------	--------------------

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	ユーザID	名前	役割	部署	役職	メール	電話番号	携帯電話	アカウント状態	PC、モバイル対応	備考
2	TANAKA	田中	ROLE_USER	営業部	課長	asdf12@rs		090123456	Y	PC, Mobile	
3	SUZUKI	鈴木	ROLE_MANAGER	総務部	主任	asdf13@rs		090111122	Y	PC, Mobile	
4	SATOH	佐藤	ROLE_USER	マーケティング部	部長	asdf14@rs		090777777	Y	PC, Mobile	

Agent別権限及び登録情報	各ユーザーに割り当てられたPCの操作権限を確認できます。Y> 適用 N> 非適用
----------------	--

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	ユーザID	Agent名	Agent/パス	遠隔制御	画面キャプチャ	プリント	録画	遠隔エクスプローラ	クリップボード	ファイル送受信
2	TANAKA	TANAKA_PC	営業部 > TANAKA_PC	Y	Y	Y	Y	N	Y	N
3	SUZUKI	SUZUKI_PC	総務部 > SUZUKI_PC	Y	Y	Y	Y	N	Y	N
4	SATOH	SATOH_PC	マーケティング部 > SATOH_PC	Y	Y	Y	Y	N	Y	N

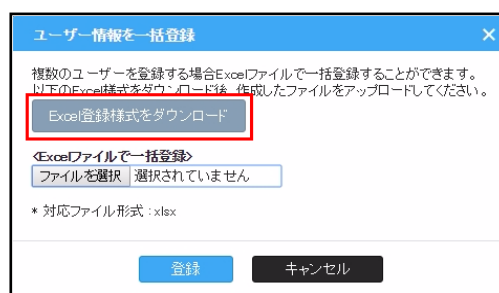
Excelファイルで一括登録



Excelにユーザー情報を登録し、アップロードすることで一括登録することができます。

※Excel一括登録は上書きではなく「追加」されます。既存のユーザーデータは削除されません。

「Excel登録様式をダウンロード」し、ベースとなるExcelシートを取得します。



ダウンロードしたExcelファイルにユーザー情報を登録します。

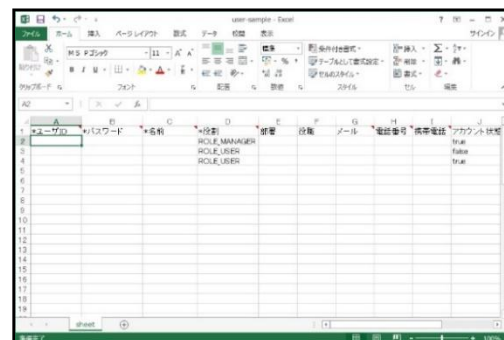
※登録時必須入力情報

- ・ユーザID：4～24英小/大文字、数字
- ・パスワード：セキュリティレベル設定に合わせて入力
- ・名前：1～50Byte

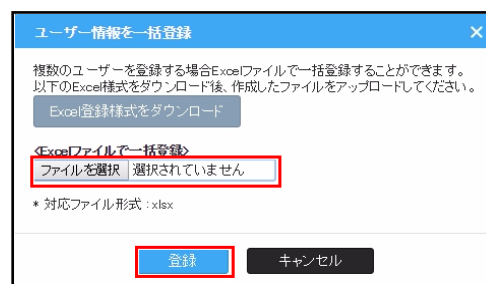
(使用不可文字 ¥ / : ? * < > " | & % + ; ')

(半角の場合のみ)

- ・役割：マネージャー ⇒ ROLE_MANAGER、 ユーザー ⇒ ROLE_USER



①作成したファイルをアップロードします。



②右クリックメニューの設定項目

アカウント状態

対象ユーザーを有効化/無効化する事ができます。一時的に使用不可にする際に変更してください。

権限割り当て

①ツールバーの「使用者権限設定」をご参照ください。

権限情報

選択したユーザーの割り当て状況を確認します。

※管理者のみ閲覧可

「経路」は対象Agentの所属グループです。

(最上位のグループ名は「会社ID」です。)

権限情報	
お名前: user1	
Agent名	経路
DESKTOP	skadowaki
note	skadowaki
閉じる	

お気に入り/削除/登録情報

①ツールバーの設定項目をご確認ください。

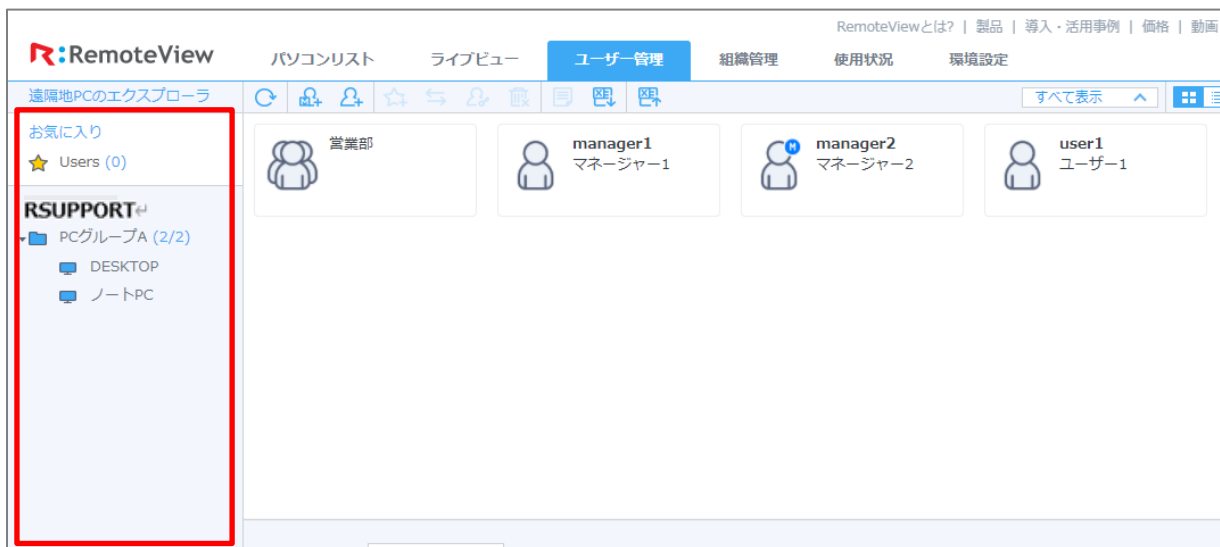
パスワード修正

ウェブログイン時に使用するパスワードの再設定を行います。

パスワード変更	
名前:manager1	
新パスワード *	
新パスワード確認 *	
適用 キャンセル	

③ツリーメニュー

ツリーメニューに表示されている「グループ」や「AgentPC」をクリックすると割り当てられているユーザーが表示され、権限の修正や割り当てを解除する事ができます。



【割り当て例】

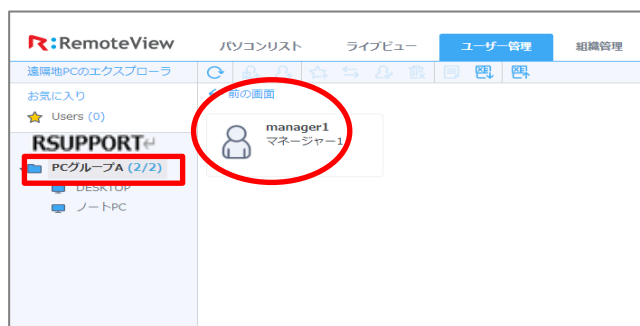
ユーザー	割り当て先
マネージャー1	グループ「PCグループA」を割り当て
マネージャー2	Agentパソコン「ノートPC」を割り当て
ユーザー1	Agentパソコン「DESKTOP」を割り当て

割り当て状況を確認する

グループ（PCグループA）をクリックする

グループに割り当てられた「マネージャー1」が表示されます。

※グループに割り当てられると、グループ内の全てのAgentに対して操作権を持ちます。

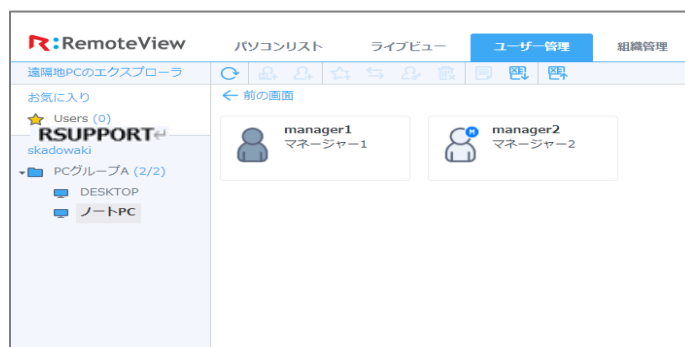
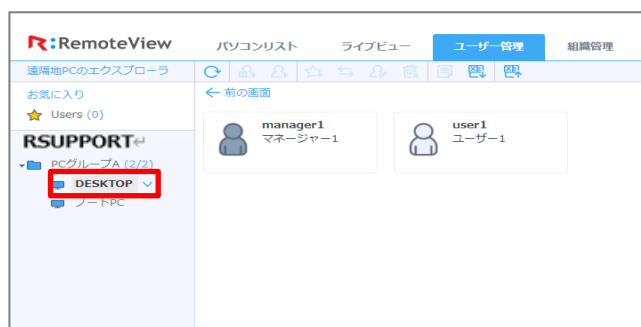


個別のAgentパソコンをクリックする

対象のAgentパソコンに割り当てられたユーザーが表示されます。

DESKTOP：「ユーザー1」と、上位グループに割り当てられた「マネージャー1」が表示。

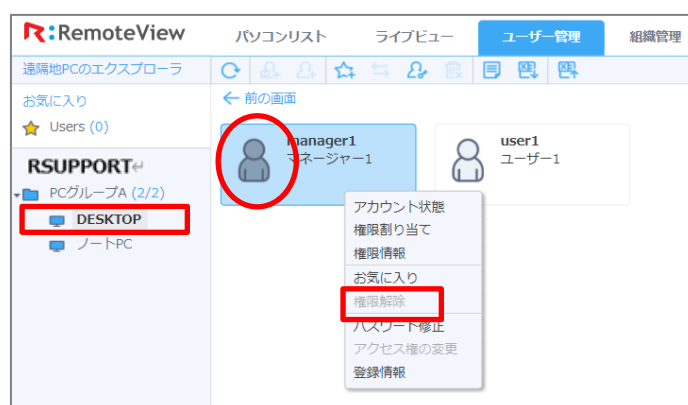
ノートPC：「マネージャー2」と、上位グループに割り当てられた「マネージャー1」が表示。



権限を解除する

- ・ ① ツリー内のAgentやグループをクリック
- ・ ② 割り当てられたユーザーアイコンを右クリック
- ・ メニュー内の「権限解除」を選択します。

※グレー状態のアイコン（グループに割り当てられたユーザー）では権限解除が行えません。直接割り当てたグループをクリックして解除してください。



ユーザー管理の画面に戻る

ツリーメニューから権限の確認や解除した後は

- ①「会社ID」をクリックするか、②「前の画面」をクリックして元の「ユーザー管理」の画面に戻ります。



組織管理

※組織管理メニューは初期状態では表示されない設定になっています。ご利用の際は購入店にお申し出ください。

「組織管理」ではユーザーグループを作成し、各ユーザーを部署や拠点毎に振り分けて管理することができます。



①	ツールバー。各アイコンが表示され設定を行う事ができます。
②	ユーザー/グループアイコンを右クリックして表示するメニュー

※②右クリックメニューは、①ツールバーアイコンの設定項目をご参考ください。

① ツールバー



アイコン説明

	「更新」	画面を最新状態に更新します。
	「マネージャー追加」	マネージャーを追加します。
	「ユーザー追加」	ユーザーを追加します。
	「ユーザーグループ追加」	ユーザーグループを追加します。
	「移動」	他のお気に入りやPCグループに移動します。
	「削除」	マネージャー/ユーザーを削除します。
	「登録情報」	登録情報を確認します。

① ツールバーアイコンの設定項目

マネージャー追加/ユーザー追加



マネージャー/ユーザーIDを作成します。

※マネージャーはユーザーのみ作成可能です。

マネージャー追加

ユーザー追加

ユーザーグループ追加

ユーザーグループを作成します。

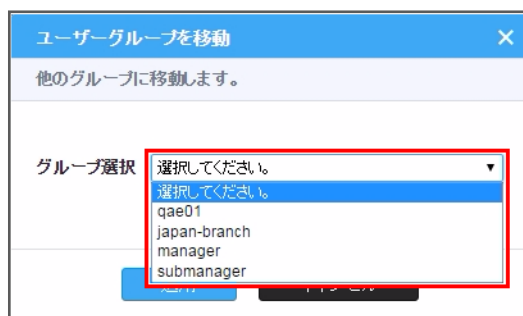
※グループ内ではさらに1階層グループを作成する事が出来ます。

※ユーザーグループ名は1～24文字以内、文字の種類の制限はありません。



移動

ユーザー（またはユーザーグループ）を他のグループに移動させることができます。



① 移動先グループを選択します。



② 「適用」をクリックします。

削除

ユーザー（またはユーザーグループ）を削除します。

※グループ削除時、グループ内にユーザーが存在すると削除することはできません。

登録情報

登録情報の確認、グループ名の変更、登録されているユーザー数を確認することができます。

※「担当」項目は「組織管理のグループ間情報検索制限」を有効にすると表示される項目です。

（マネージャーは表示不可）

マネージャーの閲覧範囲を自グループのみに変更する

マネージャーは、自分が所属するグループ以外のユーザー情報を閲覧する事ができます。

しかし、部署や拠点などのグループを作成して運用する際、その閲覧範囲が問題となる場合があります。

マネージャーであっても他のユーザー情報を閲覧できないようにするには、事前に「組織管理」を有効にし、管理者でログイン以下の設定項目を**全体使用**に変更してください。（初期設定は「使用しない」）

※「組織管理」を有効にするには、購入店へお申し出ください。

●環境設定＞共通・セキュリティ設定＞セキュリティ設定＞組織管理のグループ間情報検索制限

組織管理のグループ間情報検索制限	☒ 全体使用	☐ 使用しない
------------------	---------------------------------------	-----------------------------

※本機能を有効にすると、マネージャーは他のユーザー情報を閲覧できなくなります。

ただし、「**ユーザーグループの担当**」に指定したマネージャーは、そのグループ内のみ閲覧できるようになります。

※担当マネージャーは複数作成する事はできません。

【設定方法】

ユーザーグループを右クリックし、

登録情報＞担当マネージャーを指定します。

※権限範囲に関しては、「[6.1.1 権限別比較表](#)」をご参照ください。



使用状況

使用状況では、ユーザーの接続履歴を確認する事ができます。

ユーザー別確認範囲

管理者	すべてのユーザーの接続履歴が確認できます。
マネージャー	「ユーザー管理」に表示されるマネージャー/ユーザーの接続履歴が確認できます。
ユーザー	自身の接続履歴のみ確認できます。

使用統計は「チャート」「記録」の2種類のタイプからご確認頂けます。

チャート	記録	2018/02/22	~	2018/03/22	検索
------	----	------------	---	------------	----

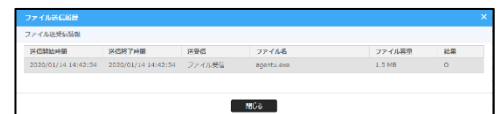
The screenshot displays the 'Simple Launcher' application interface. At the top, there are tabs for 'ログファイル', 'ライブビュー', 'エディタ', '監視', '監視画面', and '監視ログ'. The 'ライブビュー' tab is selected. Below the tabs, there are filters for 'CPU使用率' and 'メモリ使用率'. The main area shows a line graph with 'CPU使用率' (orange line) and 'メモリ使用率' (blue line) over time. The x-axis represents time from 2018/03/09 to 2018/03/12. The y-axis represents usage from 0 to 10000. A sharp spike in CPU usage is visible around 2018/03/10 00:00:00. Below the graph, a table provides detailed data for each time point.

時刻	CPU使用率	メモリ使用率
2018/03/09 00:00:00	0	5
2018/03/09 00:01:00	0	5
2018/03/09 00:02:00	0	5
2018/03/09 00:03:00	0	5
2018/03/09 00:04:00	0	5
2018/03/09 00:05:00	0	5
2018/03/09 00:06:00	0	5
2018/03/09 00:07:00	0	5
2018/03/09 00:08:00	0	5
2018/03/09 00:09:00	0	5
2018/03/09 00:10:00	0	5
2018/03/09 00:11:00	0	5
2018/03/09 00:12:00	0	5
2018/03/09 00:13:00	0	5
2018/03/09 00:14:00	0	5
2018/03/09 00:15:00	0	5
2018/03/09 00:16:00	0	5
2018/03/09 00:17:00	0	5
2018/03/09 00:18:00	0	5
2018/03/09 00:19:00	0	5
2018/03/09 00:20:00	0	5
2018/03/09 00:21:00	0	5
2018/03/09 00:22:00	0	5
2018/03/09 00:23:00	0	5
2018/03/09 00:24:00	0	5
2018/03/09 00:25:00	0	5
2018/03/09 00:26:00	0	5
2018/03/09 00:27:00	0	5
2018/03/09 00:28:00	0	5
2018/03/09 00:29:00	0	5
2018/03/09 00:30:00	0	5
2018/03/09 00:31:00	0	5
2018/03/09 00:32:00	0	5
2018/03/09 00:33:00	0	5
2018/03/09 00:34:00	0	5
2018/03/09 00:35:00	0	5
2018/03/09 00:36:00	0	5
2018/03/09 00:37:00	0	5
2018/03/09 00:38:00	0	5
2018/03/09 00:39:00	0	5
2018/03/09 00:40:00	0	5
2018/03/09 00:41:00	0	5
2018/03/09 00:42:00	0	5
2018/03/09 00:43:00	0	5
2018/03/09 00:44:00	0	5
2018/03/09 00:45:00	0	5
2018/03/09 00:46:00	0	5
2018/03/09 00:47:00	0	5
2018/03/09 00:48:00	0	5
2018/03/09 00:49:00	0	5
2018/03/09 00:50:00	0	5
2018/03/09 00:51:00	0	5
2018/03/09 00:52:00	0	5
2018/03/09 00:53:00	0	5
2018/03/09 00:54:00	0	5
2018/03/09 00:55:00	0	5
2018/03/09 00:56:00	0	5
2018/03/09 00:57:00	0	5
2018/03/09 00:58:00	0	5
2018/03/09 00:59:00	0	5
2018/03/09 01:00:00	0	5
2018/03/09 01:01:00	0	5
2018/03/09 01:02:00	0	5
2018/03/09 01:03:00	0	5
2018/03/09 01:04:00	0	5
2018/03/09 01:05:00	0	5
2018/03/09 01:06:00	0	5
2018/03/09 01:07:00	0	5
2018/03/09 01:08:00	0	5
2018/03/09 01:09:00	0	5
2018/03/09 01:10:00	0	5
2018/03/09 01:11:00	0	5
2018/03/09 01:12:00	0	5
2018/03/09 01:13:00	0	5
2018/03/09 01:14:00	0	5
2018/03/09 01:15:00	0	5
2018/03/09 01:16:00	0	5
2018/03/09 01:17:00	0	5
2018/03/09 01:18:00	0	5
2018/03/09 01:19:00	0	5
2018/03/09 01:20:00	0	5
2018/03/		

[illegible]

※ファイル転送情報は右端の  アイコンから確認してください。（Windows to Windowsでのファイル送受信のみ確認できます。）

※Excelエクスポートで記録されるファイル転送情報は、ファイル名が記載されません。



RemoteView

環境設定

[活用事例](#) | [価格](#) | [動画](#) | [サポート](#) | [ログアウト](#) | [言語選択](#)

[パソコンリスト](#)
[ライブビュー](#)
[ユーザー管理](#)
[使用状況](#)
[環境設定](#)

[Simple Launcherをインストール](#)

環境設定	 + : PC、モバイル共通 : PC専用							
共通情報	遠隔制御の機能設定 +							
基本情報管理	モバイルアクセス使用	☒ 全体使用 ☐ 使用しない						
共通・セキュリティ設定	ライブビュー使用	☒ 全体使用 ☐ 使用しない						
個別情報	メール招待	☒ 全体使用 ☐ 使用しない						
アカウント設定	クリップボード自動同期化	☐ 全体使用 ☐ Agent設定 ☒ ユーザー設定 ☐ 使用しない クリップボード自動同期化						
個人オプション設定	モバイルQuickMenu設定(カスタマイズ) RemoteViewアプリ→QuickMenu→「Quick Menuを編集」→「追加のアプリケーション」に設定したプログラムが登録されます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">プログラム名</th> <th style="width: 40%;">プログラムのパス</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> 追加 キャンセル </td> </tr> </tbody> </table> プログラムは最大10個まで追加できます。実行には正確なプログラム/パスの登録が必要です。 例) C:\Program Files\example.exe		プログラム名	プログラムのパス				追加 キャンセル
プログラム名			プログラムのパス					
		追加 キャンセル						
パスワード変更								
ログイン管理								
最終ログイン								
ログイン失敗								
Agent情報								
Agentリスト								
ライセンス情報								
ライセンス詳細								
製品情報								
RemoteView情報								
ダウンロード								

権限別表示メニューは以下の通りです。

	管理者	マネージャー 一般ユーザー
基本情報管理	○	×
共通・セキュリティ設定	○	×
アカウント設定	○	○
個人オプション設定	○	○
ログイン管理	○	×
Agent情報	○	×
ライセンス詳細	○	×
AnyClutch Remote情報	○	○
ダウンロード	○	○

共通情報

基本情報管理

サービスロゴイメージの変更、管理者情報、会社情報の確認・変更することができます。

(管理者IDは変更できません。)

入力または変更されたデータは管理者のアカウント情報と連動します。

「管理者情報」修正ボタン  をクリックすると、管理者アカウントを変更することができます。



共通・セキュリティ設定

本サービスが提供するセキュリティ機能や、各種機能を設定する事ができます。各種機能は以下の範囲で適用されます。ご運用にあわせて変更してください。

※管理者のみ表示可能です。

全体使用	すべてのユーザーに適用します。
Agent設定	遠隔地PC（パソコンリストのAgentPC）毎に設定します。 適用後は以下の項目から設定変更してください。 パソコンリスト > 遠隔地PCを右クリック > 「登録情報」 > Agentオプション
ユーザー設定	ユーザー毎に適用します。 適用後は、ユーザーIDでrview.comにログインし、 「環境設定 > 個人オプション設定」から設定可能です。
使用しない	使用しません。

<遠隔制御の機能設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
モバイルアクセス使用	モバイル端末からの接続可否を設定します。 ※モバイルから接続するには、アプリのDLが必要です。	全体使用
ライブビュー使用	ライブビュー機能の使用可否を設定します。	全体使用
メール招待	メール招待機能の使用可否を設定します。	全体使用
クリップボード 自動同期化	ローカルPCと遠隔地PCのクリップボードを自動で共有します。	ユーザー設定
モバイル QuickMenu設定 (カスタマイズ)	モバイル端末で利用するQuickMenuの基本アプリ以外のアプリケーションを追加することができます。 プログラムは最大10個まで追加できます。実行には正確なプログラムパスの登録が必要です。 例) C:¥Program Files¥example.exe	N/A
自動録画	遠隔制御開始時の自動録画可否を設定します。	使用しない
Webビューアで接続	Webビューアの使用可否を設定します。	全体使用
ユーザー権限の デフォルト値	ユーザーへ権限割り当てを行う際のデフォルト値を事前に設定します。	使用しない

<ファイル転送設定>

制御中ファイル 転送設定	遠隔制御中のファイル転送範囲を設定します。 ※権限割り当て時に反映されます。	ファイル送受信
-----------------	---	---------

遠隔エクスプローラー を使用	遠隔エクスプローラーの使用可否を設定します。 ※遠隔接続を行わず、ファイルの送受信を行います。 ※制御中ファイル転送設定とは連携していません。	使用しない
-------------------	---	-------

<遠隔制御の品質設定>

遠隔制御 ビューア設定	標準モード：アイコンダブルクリックで使用するビューア シンプルモード：アイコンクリックで使用するビューア (Webビューア無効時) モバイル：接続時のビューアモード	全体使用/改善型 ビューア
制御モード	改善型ビューア、RXビューアで接続時の制御モードを設定します。 高速制御モード：操作関連の処理を優先 グラフィック制御モード：映像関連処理を優先	ユーザー設定
画面カラー	接続時の画面色を設定します。（値が低いほど処理速度が速くなります。）	ユーザー設定

<遠隔地セキュリティ>

遠隔制御開始時、 遠隔画面自動ロック	遠隔接続時に、遠隔地PCの画面を自動で黒色表示にします。	ユーザー設定
遠隔画面ロックタイプ	遠隔画面のロックタイプを設定します。 ※Agentアイコン側の設定が優先されます。 タスクトレイ内Agentアイコン右クリック> 環境設定>セキュリティ設定> 遠隔画面ロック設定	使用しない
遠隔制御終了時に システムロック・ ログオフ設定	遠隔制御終了後に遠隔地PCをシステムロックまたはサインアウトします。	ユーザー設定
遠隔制御中の ビューア非使用時処理	一定時間使用しない状態が続いた場合、ビューア側をパスワードロックまたは接続終了します。	ユーザー設定

<許可IP、MACアドレス設定>

※IPとMACアドレスの制限は管理者アカウントには適用されません。

※WebビューアはSimpleLauncherプラグインをインストール後に利用できます。

許可IP設定	事前に登録されたローカルIPからのみ接続を許可します。 ※ローカルIP（プライベートIPアドレス）が対象制限です。ローカルIPが存在しない場合はグローバルIPが制限対象となります。	使用しない
許可MAC アドレス設定	事前に登録されたMACアドレスからのみ接続を許可します。 ※モバイルアプリの場合は、アプリ内の「設定」に表示されるMACアドレスを登録してください。 ※Excelファイルでの一括登録を対応しています。ページ内のサンプルを利用し登録を行ってください。	使用しない

<セキュリティ設定>

ウェブログインの タイムアウト設定	ウェブログイン（ https://remote.anyclutch.net ）状態を維持する時間を設定します。※遠隔接続時間ではありません。	30分
遠隔制御の 終了時間設定	1遠隔接続あたりの最大接続時間を設定します。（10～99分）	使用しない
接続可能時間の設定	一般ユーザーの利用スケジュール（曜日・時間帯）を設定します。（管理者・マネージャーは適用外） ※スケジュール外は「遠隔制御」「遠隔エクスペローラ」の利用ができなくなります。 ※特定のユーザーのみを指定する際は「ユーザー設定」を選択してください。（管理者のみ設定可能）	使用しない
Agentグループの 接続可能時間設定	一般ユーザーの利用スケジュールをAgentグループ毎に設定します。 ※「接続可能時間の設定」と併用することはできません。 ※パソコンリスト>グループアイコンを右クリックから設定出来ます。	使用しない
設定適用時、 パスワード再確認	設定適用時に、毎回ログインパスワードを入力します。	全体使用

管理者以外の メール変更不可	全体使用・・・管理者のみメールアドレス変更可。 使用しない・・・ユーザーがメールアドレス変更可	使用しない
一般ユーザーの Agent削除	一般ユーザーがAgentを削除できるようにします。	使用しない
Agentアカウント情報 未入力でAgent削除 (管理者)	Agentを削除する際、Agent ID/パスワードを 入力せず削除できるようにします。※管理者のみ	使用しない
一般ユーザーの Agent接続終了	既に他の拠点から行われている接続を、一般ユーザーでも 強制的に切断出来るようにします。	使用しない
遠隔操作中の マウスキーボードロッ ク	遠隔操作中、遠隔地PCのマウスやキーボード操作を無効に します。（遠隔地PCを直接操作する事が出来ません。）	使用しない
海外ログイン(IP) ブロック設定	海外で使用されるIPアドレスからのログインをブロックし ます。	使用しない
セキュリティ通知 メール受信	管理者と実施したユーザーにメールでお知らせします。 ・海外で使用されるIPアドレスからログインされた時 ・パスワードが変更された時 ・遠隔接続が開始された時 ・Agentが削除された時 ※事前にメール認証が必要です。 ※管理者IDでアクセス時のみメール受信できます。	使用しない
パスワードの セキュリティレベル 設定	パスワードのセキュリティレベルを設定します。 ・直近のパスワード5つ分は使用できません。	セキュリティ レベル（弱）
パスワード 有効期間の設定	マネージャー、ユーザーが利用するWebログインパスワー ドの有効期間を設定します。 <有効期限満了時の解除方法：2通り> ・Webログイン時に通知されるポップアップから変更 ・管理者が任意で変更	チェックなし

パスワード入力 5回失敗時にロック	パスワード入力5回失敗時に、一定時間ログインできないようにロックします。（管理者メールに通知されます。） ※管理者以外のアカウントを通知しない場合は「管理者がロックされた場合のみメール送信」にチェックを入れてください。 ※0分を指定した場合は自動解除されません。手動で解除を行ってください。 ・マネージャー/ユーザー：管理者画面> ユーザー管理> ユーザーアイコン右クリック> 登録情報> 解除 ・管理者アカウント：管理者宛に送信されたメールより解除してください。	使用しない
組織管理のグループ間 情報検索制限	他ユーザーの情報を閲覧不可にします。	使用しない
お知らせポップアップ	ログイン時に製品に関するお知らせを表示します。	使用しない
WEBログイン時の 2段階認証	ウェブログイン（ https://remote.anyclutch.net ）時にOTP認証> Googleアプリ/メール認証を使用します。	使用しない
OTP設定モード	各ユーザーのOTPキー管理方法を設定します。 管理者設定：管理者が直接ユーザーに通知 ユーザー設定：ユーザー自身がキーを確認	管理者設定
Agent認証設定	遠隔接続時のAgent認証方式を設定します。	全体使用 Agent ID・パスワードを使用
遠隔地接続同意	遠隔接続時、遠隔地PCに接続同意画面を表示します。 ※遠隔地PC側で同意する事で接続できます。 ※ユーザー全体に適用されます。	使用しない

<遠隔地PC実行制限設定> （Windows PCのみ対応）

遠隔地PCのプロセス 実行制限設定	遠隔接続中、登録したプロセスが実行中か確認し、停止させます。（5秒毎に実施）	使用しない
----------------------	--	-------

遠隔地PCのサービス 停止/再開設定	停止：遠隔接続中、登録したサービスが実行中か確認し、停止させます。（5秒毎に実施） 再開：遠隔接続終了後、登録したサービスを開始します。	使用しない
遠隔地PCのURL制限フ ィルター設定	遠隔制御時、登録したURLをブロックします。	使用しない

個別情報

アカウント設定

ユーザーのアカウント情報を確認・変更できます。

※ユーザーIDは変更できません。

※メールアドレスの変更はメール認証が必要です。

個人オプション設定

各ユーザーが利用シーンに合わせて変更する事ができます。有効にするには事前に管理者にて「ユーザー設定」に変更する必要があります。

<一般設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
お気に入り	お気に入りの使用可否を設定します。	使用する
複数選択機能	複数選択機能の使用可否を設定します。 (Ctrlキー、Shiftキー+マウス)	使用する
マウス右クリックメニュー	メニュー画面内において右クリックメニューを表示します。※「使用しない」の場合、右クリックは左クリックと同じ動作となります。	使用する
設定保存機能	ページ毎の変更内容を保存します。	使用する

<遠隔制御の品質設定>

遠隔制御ビューア設定	標準モード：アイコンダブルクリックで使用するビューア シンプルモード：アイコンクリックで使用するビューア（Webビューア無効時）	改善型ビューア
------------	---	---------

	モバイル：接続時のビューアモード	
制御モード	RXビューア使用時のモード(高速制御モード/グラフィック制御モード)を設定します。	高速制御モード
画面カラー	ビューアの画面カラーを設定します。	256色

<遠隔制御の機能設定>

クリップボード自動同期化	コピーした情報を自動同期します。	使用する
--------------	------------------	------

<遠隔地セキュリティ>

遠隔制御開始時、 遠隔画面自動ロック	遠隔操作実行時に遠隔地PCの画面を自動敵に黒色表示します。	使用しない
遠隔終了時にシステムロック・ログオフ設定	遠隔制御終了後に遠隔地PCをシステムロックまたはサインアウトします。	使用しない
遠隔制御中のビューア 非使用時処理	一定時間使用しない場合、ビューア画面ロックまたは接続終了します。	使用しない

<ランチャー方式の設定>

ランチャー方式設定	使用するランチャー（プラグイン）を選択します。	Simple Launcher
-----------	-------------------------	-----------------

パスワード変更

現在ログインしているユーザーのウェブログインパスワードを変更します。

※安全なアカウントの管理のため定期的にパスワードを変更してください。

不正ログインを防止するため、下記を参考に安全なパスワードに変更してください。

- 他サイトで使用していないパスワード
- これまでに使用したことのないパスワード

現在のパスワード *	
新パスワード *	
新パスワード確認 *	

ログイン管理

管理者がユーザーアカウントのログイン状況を確認することができます。

最終ログイン

各ユーザーがログインした情報を表示します。

2018/05/01 ~ 2018/07/12 選択しない 検索					
時間	ユーザID	名前	最終アクセスIP	最終アクセス方法	最終アクセスデバイス
2018/07/12 19:05:20	admin	admin	119.243.***.50	Web	Windows
2018/06/22 13:40:53	testuser12	ユーザー 2	14.63.***.152	Web	Windows
2018/06/11 16:21:30	test1111	testuser1	119.243.***.50	Web	Windows

※IP情報の表示にはメールアドレスの登録と認証が必要です。

ログイン失敗

ユーザーがパスワード間違いによるログイン失敗情報を記録します。

※ 直近の3ヶ月間分が表示されます 2018/05/01 ~ 2018/07/12 選択しない 検索							
時間	ユーザID	名前	アクセスIP	アクセス方法	アクセスデバイス	パスワード入力失敗回数	アカウントロック
2018/07/12 19:05:14	admin	admin	119.243.***.50	Web	Windows	1	N
2018/07/12 11:32:35	admin	admin	220.85.***.125	Web	Windows	1	N
2018/07/12 09:22:15	admin	admin	220.85.***.125	Web	Windows	2	N
2018/07/12 09:21:50	admin	admin	220.85.***.125	Web	Windows	1	N
2018/07/12 09:06:45	admin	admin	119.243.***.50	Web	Windows	1	N
2018/07/11 09:11:16	admin	admin	119.243.***.50	Web	Windows	1	N
2018/07/06 14:16:22	admin	admin	119.243.***.50	Web	Windows	2	N
2018/07/06 14:16:13	admin	admin	119.243.***.50	Web	Windows	1	N

※IP情報の表示にはメールアドレスの登録と認証が必要です。

Agent情報

Agentリスト

Agentインストール日/Agent名/ステータス/IPアドレス/OS/使用回数(回)/最終遠隔制御日を確認する事が出来ます。

※Excelファイルでダウンロード可能です。

ライセンス情報

ライセンス詳細

現在お使いのライセンス状態を確認することができます。

ライセンス数は登録できるパソコン台数と同じ数です。

インストール済みPC台数(9) / 使用できるライセンス(PC)数(10)							
バージョン	PC台数	購入日	サービス開始日	サービス終了日	区分	ステータス	
Enterprise	1	201 5/08/01	201 5/08/18	2099/1 2/31	有料(毎月自動更新)	待機	
Enterprise	10	201 5/08/14	201 5/08/18	2020/08/31	トライアル	有効	
Enterprise	10	201 4/08/06	201 4/08/06	201 5/08/25	有料(新規)	有効	削除

製品情報

AnyClutch Remote情報

製品名・バージョン・コピーライトとお問い合わせに関するリンク(製品に関するお問い合わせ、ホームページ) 情報を確認することが出来ます。

RemoteView バージョン : 6.0.9 COPYRIGHT © 2001 ~ 2018 RSUPPORT CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.	
お問い合わせ	
製品のお問い合わせ	関連リンク
• デスクトップお問い合わせ	• Rsupportホームページ
• パートナーお問い合わせ : sales.jp@rsupport.com	• RemoteView ホームページ

ダウンロード

マニュアル及びアプリケーション等ダウンロードすることが出来ます。

RemoteView 製品に関する紹介およびユーザー画面と機能などについて詳細をご確認ください。	
 Enterpriseマニュアル	ダウンロード
 Standardマニュアル	ダウンロード
 iPhone(iPad) マニュアル	ダウンロード
 Android OS マニュアル	ダウンロード
 macOSユーザーガイド	ダウンロード
 PCアプリケーションコンソールガイド	ダウンロード
 OTPユーザーガイド	ダウンロード
 製品別 機能一覧表	ダウンロード
 PC環境別対応機能一覧表	ダウンロード
 サーバドメイン : TP-版	ダウンロード

6. その他

6.1 ユーザー権限一覧

管理者/マネージャー/一般ユーザー権限では、使用できるメニューや機能が異なります。
比較表はこちらをご確認ください。

※組織管理を利用する場合は、担当マネージャー、非担当マネージャーを設定する事ができます。
(権限の範囲が変化します。)
※組織管理の有効化は事前にお申し出が必要です。ご希望の際は購入店舗にお問い合わせください。

6.1.1 権限別比較表

【 サービスページ 】

ウェブページ \ 権限		管理者	マネージャー	ユーザー
パソコンリスト	グループ追加	○	×	×
	PC追加	○	○	○
	お気に入り	○	○	○
	移動	○	○	×
	削除	○	○	×
	登録情報	○	○	○
	Excelファイルで エクスポート	○	○	○
	インストールファイル生成	○	×	×
	WOL PC追加	○	○	○
ライブビュー	お気に入り	○	○	○
	移動	○	○	○
	削除	○	○	○
	ズーム	○	○	○
	登録情報	○	○	○
ユーザー管理	マネージャー追加	○	×	×
	ユーザー追加	○	○	×

		お気に入り	○	○	×
		移動	○	○	×
		ユーザー権限割当	○	○	×
		削除	○	○	×
		登録情報	○	○	×
		Excelファイルで エクスポート	○	○	×
組織管理		マネージャー追加	○	×	×
		ユーザー追加	○	○	×
		ユーザーグループ追加	○	○	×
		移動	○	○	×
		削除	○	○	×
		登録情報	○	○	×
使用状況		チャート	○	○	○
		記録	○	○	○
環境 設定	共通情報	基本情報管理	○	×	×
		共通・セキュリティ設定	○	×	×
	個別情報	アカウント設定	○	○	○
		個人オプション設定	○	○	○
		パスワード変更	○	○	○
	ログイン 管理	最終ログイン	○	×	×
		ログイン失敗	○	×	×
	ライセンス情 報	ライセンス詳細	○	×	×
	製品情報	AnyClutch Remote情報	○	○	○
		ダウンロード	○	○	○

【 Agentメニュー 】

Agentメニュー			権限	管理者	マネージャー		一般ユーザー
					グループ 担当	グループ 非担当	
接続確認				○	○	○	○
遠隔制御				○	○	○	○
遠隔エクスプローラ				○	○	○	○
WOLで電源起動				○	○	○	○
制御 ツール	システム 終了	ログオフ		○	○	○	○
		システム終了		○	○	○	○
		システム再起動		○	○	○	○
	システム情報			○	○	○	○
	画面キャプチャー			○	○	○	○
	プロセス実行			○	○	○	○
	プロセスリスト			○	○	○	○
	サービス再開始			○	○	○	○
	Agentアップデート			○	○	○	○
	メール招待			○	○	○	○
お気に入り				○	○	○	○
移動				○	○	×	×
削除				○	○	×	×
接続アカウントの変更				○	○	×	×

6.2 遠隔画面ロック機能

本機能は遠隔接続中、遠隔地のPC画面を真っ暗に表示する機能です。

AnyClutch Remoteでは、遠隔地PCのモニターが電源OFF状態だと正常に画面情報を取得できなくなる可能性があるため、電源ON状態で使用する必要があります。（Windows 10 (x64) Ver.1903 以上ノートPCでは、OFF状態でもご利用頂けます。）

そこで、本機能を利用して周囲に画面を見られないようにしましょう。

※利用設定はAgentをインストール時、またはAgentアイコン  から遠隔画面ロック設定を行うことができます。（遠隔未接続の状態で変更可能です。）

テストを行い、最適な画面ロック方式を選択してください。

画面が一時的にオフになり、10秒後元に戻ります。

画面が戻らない場合は、手動でオンにするか、PCを再起動してください。

☐ Monitor Off

テスト実行

☒ Monitor Driver

テスト実行

☐ Black Layer ?

テスト実行

[詳細を見る](#)

キャンセル

適用

【 画面ロック方式の動作について 】

ビューア種類 方式・OS		改善型ビューア/ Webビューア	RXビューア
BlackLayer	Windows 10 (～19H2) Server 2016 (～19H2)	○	○
	Server 2012	マルチモニター △	
	Server 2016 (20H1～) Server 2019 Server 2022		マウスカーソル 表示
	Windows 10 (20H1～) Windows 11	マウスカーソル 表示	
Monitor OFF	Windows 10 (～19H2) Server 2016 (～19H2)	○	○
	Server 2012	ノートPC/一体型PC △	
	Server 2016 (20H1～) Server 2019 Server 2022		マウスカーソル 表示
	Windows 10 (20H1～) Windows 11	○	
Monitor Driver	Windows 10 (～19H2) Server 2016 (～19H2)	○	○
	Server 2012	マウスカーソル 表示 マルチモニター 非対応	
	Server 2016 (20H1～) Server 2019 Server 2022		マウスカーソル 表示
	Windows 10 (20H1～) Windows 11	○	
macOS		マウスカーソル 表示	

【 注意事項 】

本機能は、全てのパソコン/モニターに対して動作を保証するものではありません。

3つの方式がご利用頂けない場合は、直接画面を覆う等対策を行ってください。

また、Monitor Driver方式＞Monitor OFF方式の順でテストすると正常に動作しない場合があります。先にMonitor Driver方式からテストしてください。

※ディスプレイポートの利用は動作対象外です。HDMIケーブルをご利用ください。

※モニターの明るさ調整はご利用いただけません。

※画面ロックがご利用頂けない場合は[こちら](#)をご参照ください。

※設定変更のためにはWindowsのAdministrator権限が必要です。

6.3 WOL機能

6.3.1 AnyClutch RemoteのWOL機能とは

専用の機器またはAgentPCから、対象のパソコンに信号（マジックパケット）を送信し、電源を投入する機能です。電源管理を行う事によりセキュリティやコストの低減など、管理面において非常に重要な機能になります。お使いのパソコンがWOL対応PCであれば利用を検討しましょう。

※マジックパケット・・・電源が入るきっかけとなる信号

6.3.2 AnyClutch RemoteのWOLを利用するには

ご利用条件は以下の通りです。

① 起動対象のパソコンがWOL機能に対応している。

- ・ネットワークカードとBIOS両方が対応し、有効化されている事。
- ・Windows8以降のOSでは「高速スタートアップ」が無効化されている事。
- ・PCの対応状況や、BIOSの設定方法はパソコンサポート窓口にご確認ください。

②「信号を送信する機器」と「起動対象のパソコン」が有線LANで同じネットワーク内に接続している。

例) 起動対象のパソコンが、192.168.1.5を取得している場合、
信号を発信する機器は、192.168.1まで同じ値を取得する必要があります。

③起動対象のパソコンはWindowsOSのみ対応。

④信号を送信する機器として、以下A、Bどちらかを利用する。

A. AgentがインストールされたPC

遠隔用パソコンとしてインストールするAgentプログラムには、マジックパケットを送信する機能が備わっていますので、Agentがインストールされていればそのままご利用頂けます。

マジックパケットを送信するために常にAgentPCの電源がON状態でなければならず、業務時間外や休日でも遠隔で電源起動出来るように備えるには、常に1台電源を入れっぱなしの状態にしておく必要があります。

B. Remote WOL（専用機器）

RemoteWOLは、WOL専用機器です。

マジックパケットを送信する事に特化しており、本機の電源さえ入っていれば全てのパソコンで運用可能です。1ライセンス契約のお客様や、①の運用が難しいお客様向けです。

Remote WOLご紹介ページ

<https://anyclutch.jp/anyclutch/index.html#remotewol>

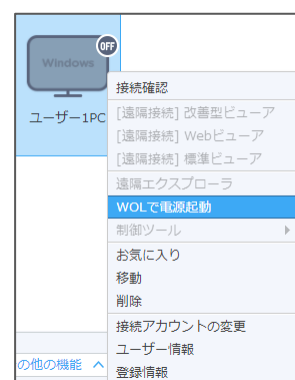


6.3.3 WOL電源起動方法

WOLの利用方法は「信号を送信する機器」によって異なります。

AgentPCの場合

Agentがインストールされていれば事前設定は必要ありません。パソコンリスト上にある、起動対象のPCアイコンを右クリックし、「**WOLで電源起動**」を選択してください。



Remote WOL（専用機器）の場合

※事前設定が必要です。設定方法は、以下のリンクから設定ガイドをご確認ください。

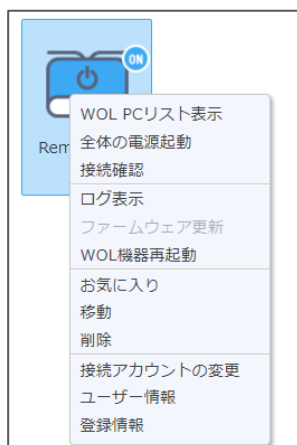
<https://wol.rview.com/ja/>

事前設定が完了すると、パソコンリスト上にRemote WOLアイコンが表示されます。

RemoteWOLアイコン



右クリックメニュー



WOLアイコンの右クリックメニュー

WOL PCリスト表示	同じネットワーク内のPCリストを表示します。（マジックパケットを送信できるPCリスト）
全体の電源起動	WOL PCリスト内の全てのPCに対し、マジックパケットを送信します。
ログ表示	機器のログ情報が確認できます。
ファームウェア更新	本体のバージョンアップを行います。（最新バージョンがある時のみ有効）
WOL機器再起動	WOL機器本体を再起動します。

※その他の項目は通常のアイコンメニューをご参照ください。

【電源起動方法】

起動対象のPCアイコンを右クリックし、「WOLで電源起動」をクリックします。

右クリック>「WOL PCリスト表示」を表示して一覧から選択する事もできます。（起動対象のPCが一目で把握できるのでこちらがおすすめです。）

※シンプルモードでは、「全体の電源起動」のみご利用頂けます。

個別に起動する際は「標準モード」から実施してください。

※「全体の電源起動」を実施する際は、事前設定で登録したAgent ID・パスワードを入力します。



<Remote WOLの便利機能>

RemoteWOL専用機器を設置すると、電源起動専用のPCを登録する事ができます。（パソコンリスト内のツールバーに「WOLPC追加」  アイコンをクリックして登録してください。）

遠隔操作は行わないが、WOL機能だけ利用したい。という場合にご利用ください。

※複数のネットワークアダプタがあり、有線LAN以外のアダプタが「無効」にできない場合も、有線LAN用のアイコンとして登録する事が出来ます。（動作保証が出来かねますので予めご了承ください。）



<ご注意事項>

以下の状況ではWOL起動できない場合があります。

- パソコンがAC電源に接続されていない。
 - ノートパソコンで、電源アダプタを接続していない。
 - ノートパソコンで、画面(ディスプレイ)を閉じている。
 - 前回パソコン電源OFF時に、強制終了など正常なプロセスでシャットダウン処理が行われていない。
 - AgentPCに複数のネットワークカードが存在し、有線LAN以外のネットワークアダプタ情報を取得している。※情報は自動更新されますが有線LAN以外のネットワークアダプタは無効に設定してください。（ワイヤレスネットワークや、仮想ネットワークアダプタを含む）
 - BIOSパスワードや、BitLockerを利用している。
※電源起動自体は可能ですが、パスワード入力画面が表示できません。
- AnyClutch RemoteはWindowsログオン画面から遠隔接続する事ができます。
- 起動対象のパソコンが完全電源OFF状態で、有線LANポートが通電していない。（LANランプが消灯している）
 - VPN環境の場合
VPNで同じネットワーク内に存在していても、異なる拠点のパソコンに対してマジックパケットが到達できない可能性があります。
その場合、拠点ごとに「マジックパケットを送信する機器」の設置が必要です。
 - ルーターやセキュリティ用の装置が、信号をブロックしている。
マジックパケットはブロードキャストで送信されます。
ブロックしないよう設定を変更してください。

6.4 システムトレイとAgentアイコン

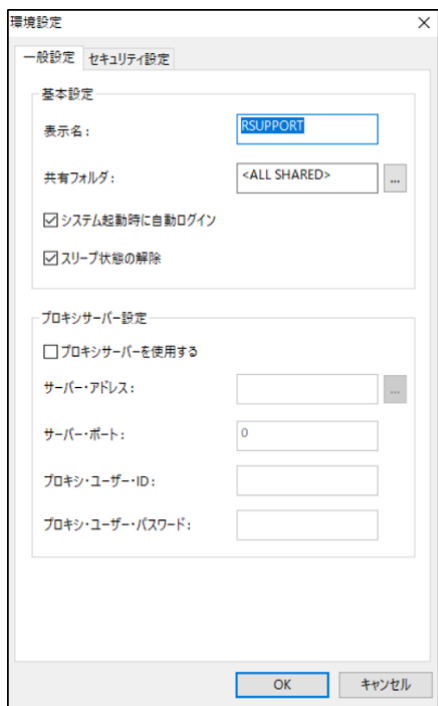
Windows画面の右下の常駐ソフトの表示領域をシステムトレイといいます。

AnyClutch Remoteをご利用の際は、遠隔地PC側でAgentが通信状態（ログオン状態）である必要があるため、システムトレイに常駐するように設計されています。

Agentアイコン  を右クリックすると以下のメニューが表示されます。

メニュー名	説明
About	AnyClutch RemoteのCopyright情報が表示されます。
Homepage	AnyClutch Remoteのホームページに遷移します。
環境設定	通信環境設定、セキュリティ設定等を行うことができます。
ログ表示	セッションサーバの接続情報、また、Agentに対して外部からのコマンドの情報を確認することができます。
ログイン	ログイン：サーバと接続を行い、遠隔接続ができる状態にします。
ログアウト	ログアウト：サーバとの接続を終了します。（遠隔接続ができなくなります。）
終了	プログラムが終了し、トレイアイコンにあるAgentが見えなくなります。

※環境設定の設定項目は以下の通りです。



【 一般設定 】



【 セキュリティ設定 】

メニュー名	詳細	デフォルト設定
一般設定	表示名	パソコンリストに表示されるAgent名を変更する機能です。 ※入力条件：50文字まで。英数字、日本語で入力可能。 ※次の特殊文字(半角)は使用できません。 ¥ / : ? * < > " & % + ; '
	共有フォルダ	遠隔エクスプローラーで共有するフォルダを限定します。 ※デフォルト値：すべてのフォルダ共有可能。
	システム起動時に自動ログイン	パソコン起動時にAgentが自動ログインします。チェックを外す場合、パソコン起動後に毎回手動でログインしてください。
	スリープ状態の解除	スリープ状態では遠隔接続ができないため、パソコン側の設定にかかわらずスリープ状態にならないようにします。
	プロキシサーバ設定	Agent通信をプロキシサーバ経由で行う時に設定します。 Proxy環境が導入/変更された場合、こちらを設定してください。
セキュリティ設定	Agentアクセスアカウント変更	Agent ID / パスワードを変更することができます。
	遠隔画面ロック設定	遠隔画面ロック方式を変更できます。

6.5 OS毎に利用可能なビューア機能比較

OS毎に利用可能なビューアの種類や機能が異なります。詳細は下記の表をご参照ください。

※ビューア画面の機能はライセンス区分無く全機能をご利用いただけます。

※クリップボード自動同期機能は、異種OS間では正常に動作されない場合があります。

※表記説明：[O]→利用可能、[X]→利用不可、[-]→該当なし

6.5.1 PC端末で制御：遠隔先がWindowsの場合

機能区分		ビューア・OS		RX ビューア	改善型 ビューア	Webビューア			標準 ビューア
				Win to Win	Win to Win	Win to Win	mac to Win	Chrome to Win	mac to Win
制御	描画/レーザーポインター			X	X	O	O	X	O
	制御 品質設定	グラフィック モード		O	O	X	X	X	O
		フレーム レート		O	O	O	O	O	X
	スクロール（自動、固 定）			O	O	X	X	X	O
	遠隔カーソル表示			O	X	X	X	X	X
	遠隔カーソル使用			O	X	X	X	X	X
	Ctrl+Alt+Del 送信			O	O	O	O	X	O
	Win + L 送信			O	X	X	X	X	X
	スクリーンキーボード			O	X	O	O	X	X
メディア デバイス 設定	仮想スピーカー・マイク ・カメラドライバ			O	O	X	X	X	X
	遠隔プリンター			O	O	X	X	X	X
	ローカルプリンター ドライバ			O	X	X	X	X	X
その他の 制御機能	ビューア情報保存			O	X	X	X	X	X
	ビューア言語変更			O	X	X	X	X	X
	ビューアロック			O	O	X	X	X	O
画面表示	モニター全部表示			O	O	X	X	X	O
	マルチビューア実行			O	X	X	X	X	X

機能区分		ビューア・OS		RX ビューア	改善型 ビューア	Webビューア			標準 ビューア
				Win to Win	Win to mac	Win to Win	mac to Win	Chrome to win	mac to Win
画面表示	ユーザー設定			○	○	○	○	×	○
	自動調整			○	○	○	○	○	○
	リアルサイズ			○	○	○	○	○	○
	全画面表示			○	○	○	○	○	○
ファイル 送信	ファイル送信			○	○	×	×	×	○
	ファイル取り込み			○	○	×	×	×	○
	Drag&Dropで ファイル送信			○	○	×	×	×	×
		Drag&Dropで ファイル取り込み		○	○	×	×	×	×
その他の ビューア 機能	遠隔画面ロック			○	○	○	○	×	○
	画面保存			○	○	○	○	○	○
	URL転送			×	○	○	×	×	○
	クリップボード(手動同期)			○	○	×	×	×	×
	クリップボード(自動同期)			○	○	○	○	○	○
	サウンド共有			○	○	○	×	×	×
	録画			○	○	×	×	×	○
	システム情報			○	×	×	×	×	○

6.5.2 PC端末で制御：遠隔先がmacOSの場合

機能区分			ビューア・OS		改善型 ビューア	Webビューア			標準 ビューア
					Win to mac	Win to mac	mac to mac	Chrome to mac	mac to mac
制御	描画/レーザーポインター				×	○	○	○	○
	制御 品質設定	グラフィックモード			×	×	×	×	○
		フレームレート			○	○	○	○	×
	スクロール（自動、固定）				○	×	×	×	○

機能区分		ビューア・OS	改善型 ビューア	Webビューア				標準 ビューア
			Win to mac	Win to mac	mac to mac	Chrome to mac		mac to mac
制御	遠隔カーソル表示		X	X	X	X		X
	遠隔カーソル使用		X	X	X	X		X
	Ctrl+Alt+Del 送信		X	X	X	X		X
	Win + L 送信		X	X	X	X		X
	スクリーンキーボード起動		X	X	X	X		X
メディア デバイス設定	仮想スピーカー・マイク ・カメラドライバ		X	X	X	X		X
	遠隔プリンター		X	X	X	X		X
	ローカルプリンタードライバ		X	X	X	X		X
その他の 制御機能	ビューア情報保存		X	X	X	X		X
	ビューア言語変更		X	X	X	X		X
	ビューアロック		O	X	X	X		O
画面表示	モニター全部表示		O	X	X	X		O
	マルチビューア実行		X	X	X	X		X
	ユーザー設定		X	X	O	O		O
	自動調整		O	O	O	O		O
	リアルサイズ ※ ¹		O	O	O	O		O
画面表示	全画面表示		O	O	O	O		O
ファイル送信	ファイル送信		O	X	X	X		O
	ファイル取り込み		O	X	X	X		O
	Drag&Dropでファイル送信		X	X	X	X		X
	Drag&Dropでファイル取り込み		X	X	X	X		X
その他の ビューア機能	遠隔画面ロック		O	O	O	O		O
	画面保存		O	O	O	O		O
	URL転送		O	X	X	X		O
	クリップボード（手動同期）		X	X	X	X		X
	クリップボード（自動同期）		O	O	O	O		O
	サウンド共有		X	X	X	X		X
	録画		O	X	X	X		O

機能区分		ビューア・OS	改善型 ビューア	Webビューア			標準 ビューア
			Win to mac	Win to mac	mac to mac	Chrome to mac	mac to mac
その他の ビューア機能	システム情報		X	X	X	X	O

※¹ 遠隔先がmacOSの場合、実際の解像度で表示されない可能性があります。

6.5.3 PC端末で制御：遠隔先がAndroid/Linuxの場合

機能区分			ビューア・OS	改善型 ビューア	Webビューア			標準 ビューア
				Win to Android	Win to Linux	mac to Linux	Chrome to Linux	Win to Android
制御	描画/レーザーポインター			O	X	X	X	O
	制御品質設定	グラフィック モード		X	X	X	X	X
		フレームレート		X	O	O	O	X
	スクロール（自動、固定）			X	X	X	X	X
	遠隔カーソル表示			X	X	X	X	X
	遠隔カーソル使用			X	X	X	X	X
	Ctrl+Alt+Del 送信			X	X	X	X	X
	Win + L 送信			X	X	X	X	X
	スクリーンキーボード起動			X	X	X	X	X
メディア デバイス 設定	仮想スピーカー・マイク ・カメラドライバ			X	X	X	X	X
	遠隔プリンター			X	X	X	X	X
	ローカルプリンタードライバ			X	X	X	X	X
その他の 制御機能	ビューア情報保存			X	X	X	X	X
	ビューア言語変更			X	X	X	X	X
	ビューアロック			X	X	X	X	X
画面表示	モニター全部表示			X	X	X	X	X
	マルチビューア実行			X	X	X	X	X
	ユーザー設定			O	X	X	X	O

機能区分		ビューア・OS	改善型 ビューア	Webビューア			標準 ビューア
			Win to Android	Win to Linux	mac to Linux	Chrome to Linux	Win to Android
画面表示	自動調整		O	O	O	O	O
	リアルサイズ		X	O	O	O	X
	全画面表示		O	O	O	O	O
ファイル 送信	ファイル送信		X	X	X	X	X
	ファイル取り込み		X	X	X	X	X
	Drag&Dropでファイル送信		X	X	X	X	X
	Drag&Dropでファイル取り込み		X	X	X	X	X
その他 ビューア 機能	遠隔画面ロック		X	X	X	X	X
	画面保存		O	O	O	O	O
	URL転送		O	X	X	X	O
	クリップボード（手動同期）		X	X	X	X	X
	クリップボード（自動同期）		X	O	O	O	X
	サウンド共有		X	X	X	X	X
	録画		X	X	X	X	X
	システム情報		X	X	X	X	X

6.5.4 モバイル機器で制御：遠隔先がWindowsの場合

機能区分			OS	Android to Win	iOS to Win
Quick Menu				O	O
マウス制御	タップ	マウス右クリック(長押し)		O	O
		マウス右クリック(2本指)		O	O
		画面スクロール(ホイール)		O	O
		画面スクロール(2本指)		O	O
		モニター切替(3本指)		O	O
	仮想マウス	マウス左クリック(タップ)		O	O
		マウス右クリック(2本指)		O	O
		マウスドラック		O	O
		モニター切替(3本指)		O	O
	タップ制御	Pinch, Zoom		O	O

機能区分		OS	Android to Win	iOS to Win
キーボード制御	直接入力モード		0	0
	関節入力		0	0
	組み合わせキー	+Ctrl	0	0
		+Shift	0	0
		+Alt	0	0
		+Win	0	0
Screen	画面固定		0	0
	画面自動回転		0	0
	遠隔画面ロック		0	0
	遠隔画面キャプチャー		0	0
	端末画面に合わせる		0	0
	初期画面に合わせる		0	0
Window	ウィンドウを閉じる		0	0
	ウィンドウ最小化		0	0
	ウィンドウ最大化		0	0
	ウィンドウ切替(Alt+Tab)		0	0
	デスクトップショートカット		0	0
Tools	接続情報		0	0
	プロセス情報	再読み込み	0	0
		プロセス終了	0	0
	システム情報	再読み込み	0	0
		システム情報	0	0
	アプリ ケーション実行	メモ帳	0	0
		エクスプローラー	0	0
		ペイント	0	0
		Command	-	-
		電卓	-	0
		Text editor	-	-
		Finder	-	-
	アプリ ケーション実行	Safari	-	-
		アプリケーション直接入力	0	0

機能区分		OS	Android to Win	iOS to Win
Tools	ログオフ		O	O
	再起動		O	O
	システムの終了		O	O
Shortcut	Ctrl+Alt+Del		O	O
	Ctrl+C（コピー）		O	O
	Ctrl+V（貼り付け）		O	O
	Ctrl+X（切り取り）		O	O
	Ctrl+A（すべて選択）		O	O
	Ctrl+Enter（複数セルに同時入力）		X	O
	Alt+F4（プログラムの終了）		O	O
	Win+D / F11（デスクトップ）		O	O
	Win+L（コンピュータをロック）		O	O
	Win+E（エクスプローラー）		O	O
Win+R（実行）		O	O	
Setting	制御品質の設定（フレームレート）		O	O
	サウンド共有		O	O
	スクロールホイールボタン		O	O
	制御方法を見る		O	O
Disconnect			O	O

6.5.5 モバイル機器で制御：遠隔先がmacOSの場合

機能区分			OS	Android to mac	iOS to mac
Quick Menu				X	X
マウス制御	タップ	マウス右クリック(長押し)		O	O
		マウス右クリック(2本指)		O	O
		画面スクロール(ホイール)		O	O
		モニター切替(3本指)		O	O
	仮想マウス	マウス左クリック(タップ)		O	O
		マウス右クリック(2本指)		O	O
		マウสดラック		O	O
		モニター切替(3本指)		O	O

機能区分			OS	Android to mac	iOS to mac
マウス制御	タップ制御	Pinch, Zoom		○	○
キーボード 制御	直接入力モード		○	○	
	関節入力		○	○	
	組み合わせキー	+Ctrl	○	○	
		+Shift	○	○	
		Option	○	○	
		Command	○	○	
Screen	画面固定		○	○	
	画面自動回転		○	○	
	遠隔画面ロック		○	○	
	遠隔画面キャプチャー		○	○	
	端末画面に合わせる		○	○	
	初期画面に合わせる		○	○	
Window	ウィンドウを閉じる		○	○	
	ウィンドウ最小化		○	○	
	ウィンドウ最大化		○	○	
	ウィンドウ切替(Alt+Tab)		○	○	
	デスクトップショートカット		○	○	
Tools	接続情報		○	○	
	アプリ ケーション 実行	Calculator（電卓）	○	○	
		Text Edit	○	○	
		Finder	○	○	
		Safari	○	○	
		アプリケーション直接入力	○	○	
	ログオフ		○	○	
	再起動		○	○	
	システムの終了		○	○	
Shortcut	Option+Cmd+Esc		○	○	
	Cmd+C（コピー）		○	○	
	Cmd+V（貼り付け）		○	○	
	Cmd+X（切り取り）		○	○	

機能区分		OS	Android to mac	iOS to mac
Shortcut	Cmd+A（すべての項目を選択）		○	○
	Cmd+Q（プログラムの終了）		○	○
	F11（デスクトップ）		○	○
	Ctrl+Space（macの言語入力切替）		○	○
	Cmd+Space（macでの検索機能）		○	○
Setting	制御品質の設定（フレームレート）		○	○
	スクロールホイールボタン		○	○
	制御方法を見る		○	○
Disconnect			○	○

6.5.6 モバイル機器で制御：遠隔先がAndroidの場合

機能区分			OS	Android to Android	iOS to Android
マウス制御	タップ	画面スクロール(2本指)		○	○
	仮想マウス	マウス左クリック(タップ)		○	○
Disconnect				○	○
その他 専用設定	レーザーポインター			○	○
	描画			○	○
	消しゴム			○	○
	Recent menu			○	○
	Home menu			○	○
	Back menu			○	○

6.6 リモートビデオ・オーディオ機能の設定方法

リモートビデオ・オーディオ機能とは、手元PCのカメラ/マイクデバイスを遠隔地PCと共有し、遠隔地PCのスピーカーをローカルPCに共有する機能です。これにより、遠隔地PCのWeb会議システムを利用してローカルPCから会議に参加できます。

※リモートビデオ・オーディオ機能は「RXビューア」「改善型ビューア」のみ利用可能です。

※ローカルPCと遠隔地PCが共にWindowsの場合のみ利用できます。

6.6.1 事前設定

リモートビデオ・オーディオ機能の事前設定はビューアによって異なります。

RXビューアの場合

① 「RXビューア」で遠隔接続を行います。

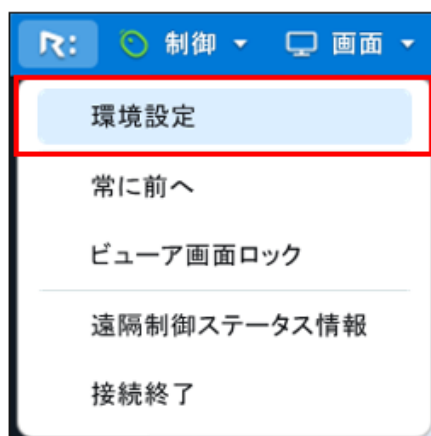


標準モード

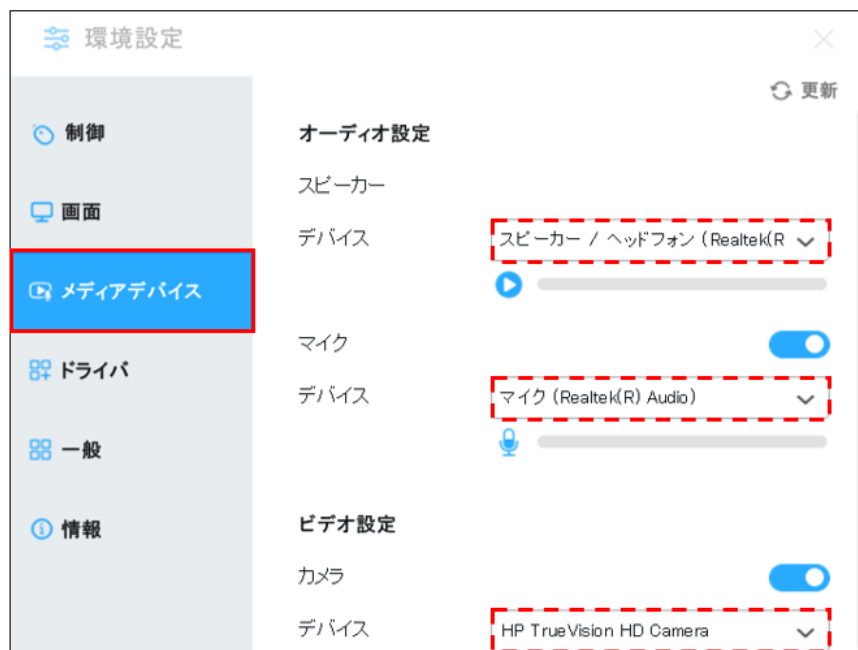


シンプルモード

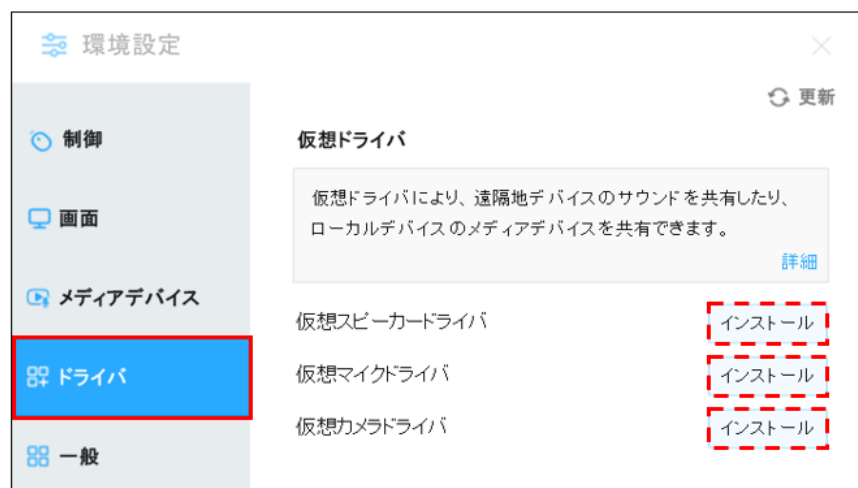
② 遠隔画面の上部メニュー「R: > 環境設定」をクリックしてください。



- ③ 「メディアデバイス」 から利用するカメラ/マイク/スピーカーを設定し、「適用」ボタンを押下します。



- ④ 上記③のポップアップから「ドライバ」タブを開き、以下の仮想ドライバを3つインストールします。



- ⑤ 各仮想ドライバの「インストール」が「アンインストール」に切り替わりましたら、インストール完了です。



- ⑥ Web会議を行う際は、遠隔画面の「ツール > Web会議の準備」を選択してください。

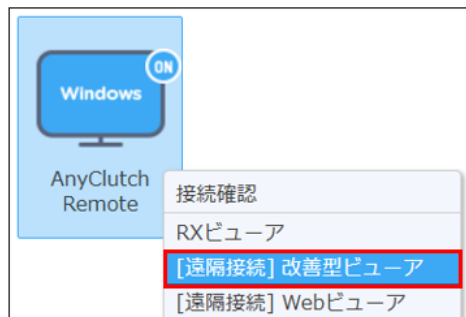


- ⑦ 「Web会議の準備が完了しました。」というメッセージが表示されたら、リモートビデオ・オーディオ機能の事前設定は終了です。



改善型ビューアの場合

- ① 「改善型ビューア」で遠隔接続を行います。

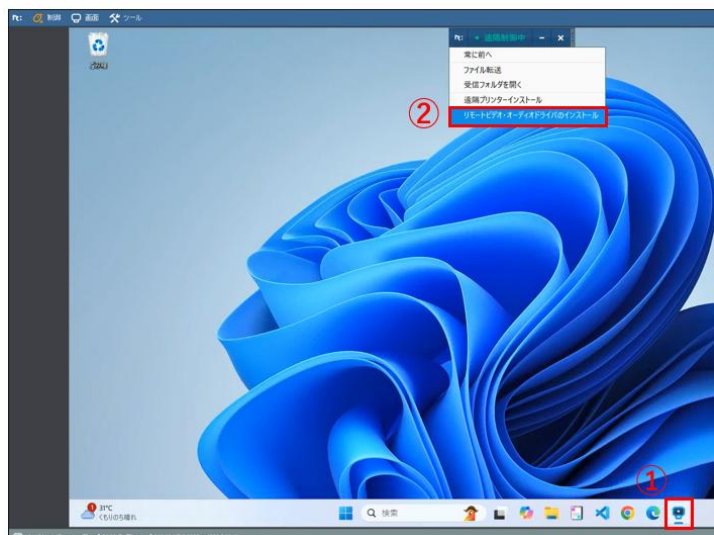


標準モード



シンプルモード

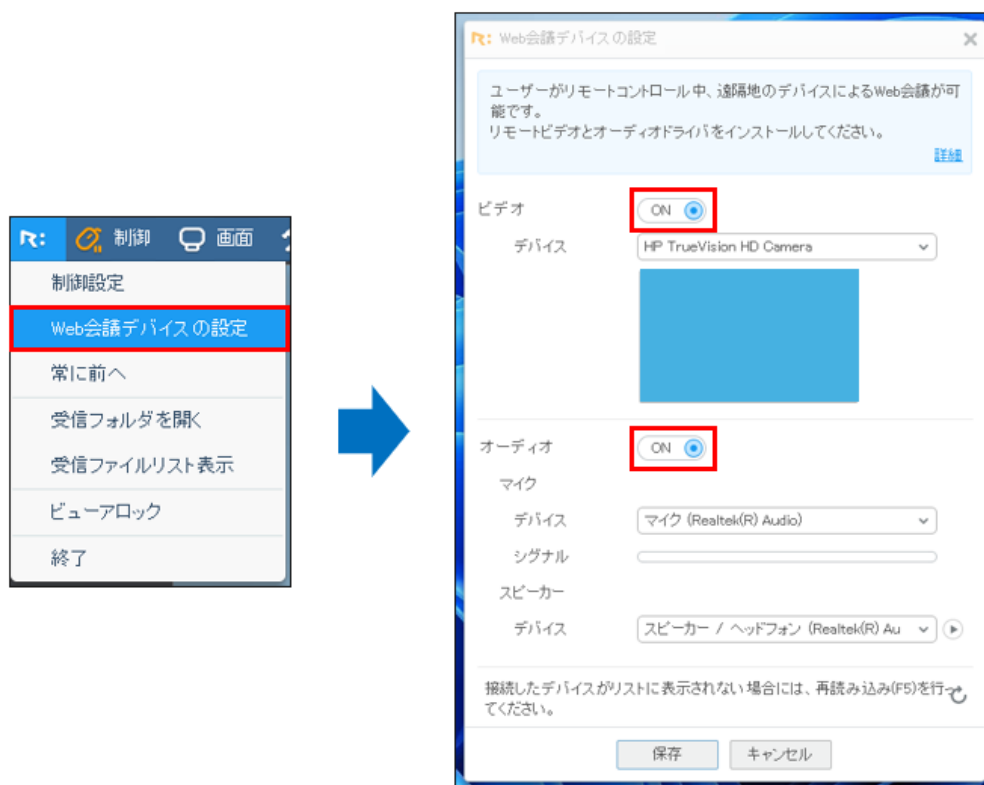
- ② AgentPCのタスクバーからRemoteViewアイコンをクリックします。遠隔画面の上部メニューから「R: > リモートビデオ・オーディオドライバのインストール」を選択してドライバをインストールしてください。



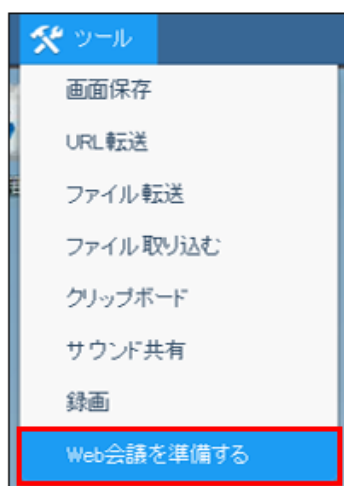
- ③ 「リモートビデオ・オーディオドライバのインストールが完了しました。」というメッセージが表示されたらインストール完了です。



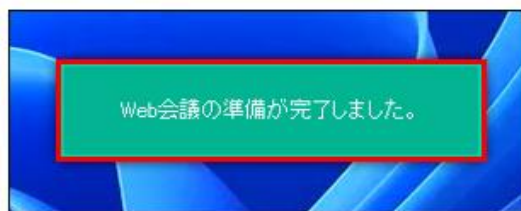
- ④ 遠隔画面のメニューで「Web会議デバイスの設定」を行います。遠隔画面の左上のメニューから「R: > Web会議デバイスの設定」を選択してください。Web会議デバイスの設定画面で、ビデオとオーディオの設定をONにし、手元PCのデバイスを設定して保存してください。



- ⑤ Web会議を行う際は、遠隔画面の「ツール > Web会議を準備する」を選択してください。



⑥ 「Web会議の準備が完了しました。」とメッセージが表示されたら準備完了です。



⑦ 遠隔地PCのサウンド設定を変更します。AgentのWindows設定から「システム > サウンド > 出力・入力」設定を以下のように変更してください。

- ・出力 : RSupport Virtual Speaker
- ・入力 : RSupport Virtual Microphone



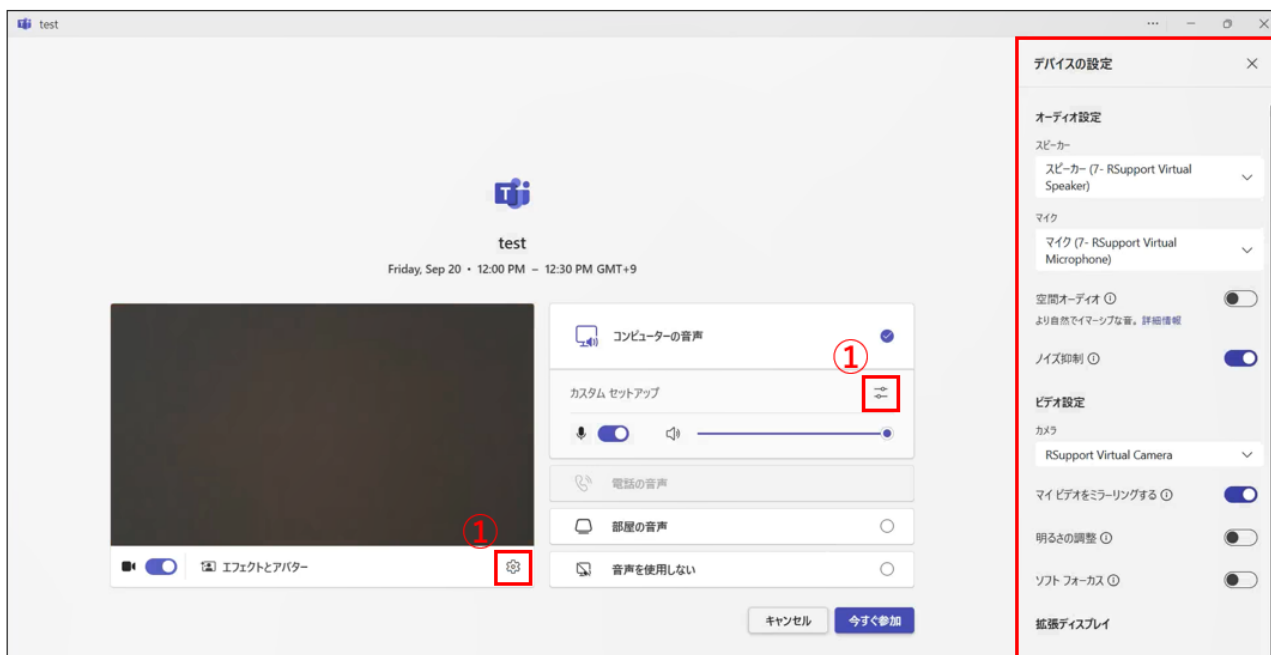
6.6.2 Web会議ツールでの利用方法

遠隔地PCでWeb会議ツールを起動し、カメラ(ビデオ)、マイク、スピーカーが以下のように指定されていることを確認します。

- ・カメラ (ビデオ) : Rsupport Virtual Camera
- ・マイク : RSupport Virtual Microphone
- ・スピーカー : RSupport Virtual Speaker

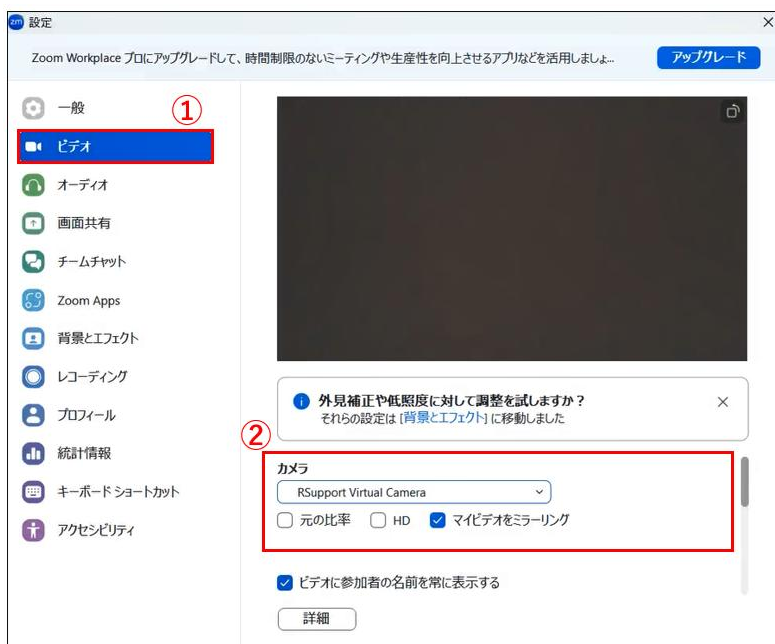
(例) Microsoft Teamsの場合

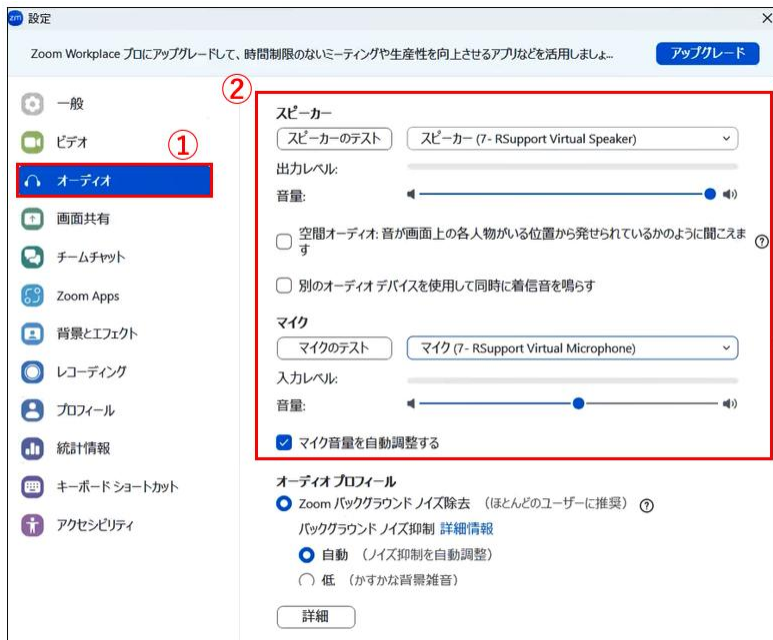
Teams会議への参加準備画面で、設定ボタン(下記画像 ①)をクリックし、デバイスの設定画面を開きます。デバイスの設定画面(下記画像 ②)でデバイスを指定してください。



(例) Zoomの場合

Zoomの設定画面を開いてデバイスの設定を変更します。ビデオおよびオーディオの設定画面(下記画像 ①)を開いて、各デバイスを設定(下記画像 ②)してください。





6.7 使用状況 > 「記録」の項目について

AnyClutch RemoteサービスページにWebログイン後、「使用状況」タブの「記録」形式に表示される項目について説明します。

「使用状況」タブの「記録」画面

バソコンリスト ライブビュー ユーザー管理 組織管理 使用状況 環境設定												
チャート		記録	2024/09/19		2024/09/19	選択しない	検索	Simple Launcherをインストール				
CreateDate	UserId	Name	RequestDevice	Command	ClientAccessPrivateIp	ClientAccessPublicIp	AgentGroupName	AgentName	AgentOsName	AgentPrivateIp	AgentPublicIp	StartDate
2024/09/18 09:34:45	admin		Windows	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:34:56
2024/09/18 09:29:37	admin		Windows (Web)	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:29:41
2024/09/18 09:28:31	admin		Windows	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:28:35
2024/09/18 09:26:49	admin		Windows	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:27:11
2024/09/18 09:24:42	admin		Windows (Web)	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:24:46
2024/09/18 09:23:22	admin		Windows	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:23:26
2024/09/18 09:22:14	admin		Windows (Web)	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/18 09:22:26
2024/09/11 11:09:11	admin		Windows	REMOTECONTROL			テストグループ1	VIM02	Microsoft Window			2024/09/11 11:09:48

「記録」項目の詳細

項目	説明	
CreatedDate	日付	
UserId	接続を行ったユーザーID	
Name	接続を行ったユーザー名	
Command	REMOTECONTROL	遠隔制御
	REMOTEEEXPLORER	遠隔エクスプローラを使用
	RWAKEONLAN	WOLで電源起動

	SYSTEMLOGOFF	制御ツール > ログオフ
	SYSTEMSHUTDOWN	制御ツール > システム終了
	SYSTEMREBOOT	制御ツール > 再起動
	SYSTEMINFO	制御ツール > システム情報
	GETSCREENSHOT	制御ツール > 画面キャプチャー
	PROCESSEXECUTE	制御ツール > プロセス実行
	PROCESSLIST	制御ツール > プロセスリスト
	AGENTRESTART	制御ツール > サービス再開始
	INVITESEND	制御ツール > メール招待
	REMOTEINVITE	メール招待での遠隔接続
	AGENT UNINSTALL	Agent削除
(Result)	CONTROL	現在、遠隔接続中
	TRY	遠隔制御失敗（ビューア接続失敗）
	END	遠隔接続終了
RequestDevice	接続を行ったOS ※「(Web)」はWebビューア使用時	
ClientAccessPrivateIp	接続を行った側のプライベートIPアドレス ※Webビューアで接続時は取得できません。	
ClientAccessPublicIp	接続を行った側のグローバルIPアドレス	
AgentName	接続されたエージェント名	
AgentGroupName	接続されたエージェントの所属グループ名	
AgentPrivateIp	接続されたエージェントのプライベートIPアドレス	
AgentPublicIp	接続されたエージェントのグローバルIPアドレス	
MAC	接続を行った側のMACアドレス ※エクスポートしたエクセルファイルで確認可能	
StartDate	(commandの) 開始時間	
EndDate	(commandの) 終了時間	
TimeSpan	接続時間	
AgentOsName	接続されたエージェントOS	
FileTransfer	ファイル送受信機能利用 ※「View」選択時、ファイル名/容量を確認可能	

※「Result」はExcelで出力した際に表示される項目です。

※下記の情報は一部非表示処理されています。

- ・ ClientAccessPrivateIp
- ・ ClientAccessPublicIp
- ・ AgentPrivateIp
- ・ AgentPublicIp
- ・ MAC

※「制御ツール」はパソコンリストのAgentアイコン→右クリック

7. セキュリティオプション

AnyClutch Remoteでは様々なセキュリティ要件を満たすために様々なセキュリティオプションを設けています。以下の各セキュリティオプションをご確認ください。

7.1 WEBログイン時に2段階認証を使用する

7.1.1 GoogleOTP

AnyClutch Remoteログイン時、会社ID/ユーザーID/パスワードに加えてワンタイムパスワード（Google認証）を使用した認証を追加する事ができます。

詳細は以下のOTPユーザーガイドをご参照ください。

<https://anyclutch.jp/anyclutch/download3/07-setup-otp.pdf>

7.1.2 メール認証

登録メールによる2段階認証を行えます。

7.1.3 遠隔地接続同意

遠隔接続時に、遠隔地PC側に同意を求めるポップアップメッセージを表示させることができます。

※本機能は**全ユーザーに適用**されます。

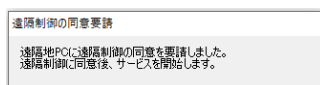
※60秒以内に同意ボタンをクリックしてください。

※Windowsログイン画面ではご使用いただけません。

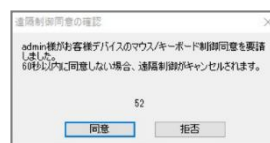
※Webビューア使用時はご使用いただけません。

環境設定> 共通・セキュリティ設定> 遠隔地接続同意

遠隔地接続同意 ☐ 全体使用 ☒ 使用しない



ビューア画面



遠隔地画面

7.2 遠隔接続時のAgent認証方式を変更する

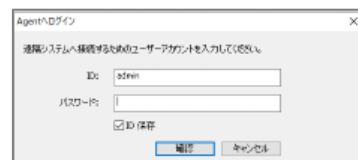
遠隔地PCに接続する際の認証方法は以下の4種類があります。ご運用に応じて選択してください。

環境設定＞共通・セキュリティ設定＞Agent認証設定

Agent IDとパスワード

Agentインストール時に設定する「Agent IDとパスワード」を認証情報として利用する方式です。

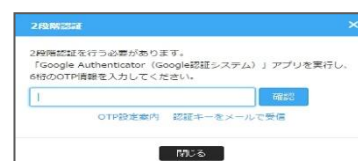
※初期設定ではこの方式が設定されています。



ワンタイムパスワード認証(GoogleOTP)

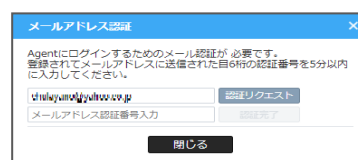
Google認証システムアプリを利用した、OTP認証を利用する方式です。

※利用するためにはユーザーIDにメールアドレスの設定が必要です。



ワンタイムパスワード認証(Email)

ワンタイムパスワードをユーザーIDに登録したメールアドレスで受信して認証する方式です。(ユーザー管理にてメールアドレス登録してください)



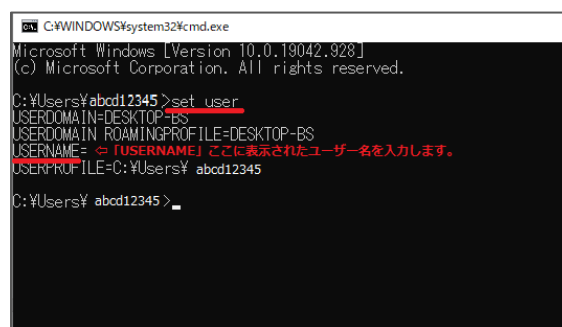
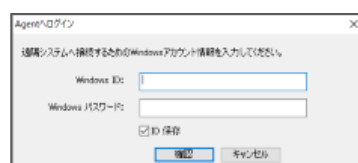
Windows アカウント認証

遠隔地側PCのWindowsアカウントを利用する認証方式です。

※パスワード設定がないWindowsアカウントはご利用できません。

※ActiveDirectory環境では動作保証外です。

※Windows IDがご不明な場合は、コマンドプロンプトにてコマンド「set user」を実行し、USERNAMEに表示されたユーザー名を入力してください。



7.3 遠隔地PC実行制限 (Windows)

遠隔地PCのプロセスとサービスの実行を制限することができます。

- ①「環境設定」→「共通・セキュリティ設定」を選択します。
- ②「遠隔地PCプロセス実行制限設定」及び「遠隔地PCサービス停止/再開設定」から目的に合った制限方法を「全体使用」として設定します。

遠隔地PC実行制限設定	
遠隔地PCプロセス実行制限設定	☐ 全体使用 ☒ 使用しない
遠隔地PCのサービス停止/再開設定	☐ 全体使用 ☒ 使用しない

7.3.1 遠隔地PCプロセス実行制限設定

遠隔接続時に対象のexeファイルが動作している場合、接続時に終了し、その後5秒毎にモニタリングします。(実行されると自動的に終了します。)

※プロセスとは、exe形式でのプログラム実行単位です。

タスク マネージャー						
ファイル(E) オプション(O) 表示(V)						
プロセス パフォーマンス アプリの履歴 スタートアップ ユーザー 詳細 サービス						
名前	PID	状態	ユーザー名	CPU	メモリ (プライ...	説明
adb.exe	28912	実行中	SYSTEM	00	952 K	adb.exe
ALZip.exe	25484	実行中	admin	00	2,268 K	ALZip
AppleMobileDeviceS...	2180	実行中	SYSTEM	00	1,072 K	MobileDeviceService
ApplicationFrameHo...	42164	実行中	admin	00	13,204 K	Application Frame Host
armsvc.exe	2188	実行中	SYSTEM	00	676 K	Adobe Acrobat Update ...
audiodg.exe	42744	実行中	LOCAL SE...	00	5,452 K	Windows オーディオ デバイ...
backgroundTaskHos...	17324	中断	admin	00	1,888 K	Background Task Host
backgroundTaskHos...	49708	中断	user	00	1,904 K	Background Task Host
chrome.exe	49580	実行中	admin	00	81,988 K	Google Chrome
chrome.exe	28260	実行中	admin	00	1,336 K	Google Chrome

- ① 全体使用を選択し、登録するプロセスを入力して下さい。
- ② 画面の下の「適用」ボタンをクリックします。

プロセス実行制限の設定

遠隔地PCプロセス実行制限設定	
☒ 全体使用 ☐ 使用しない	
遠隔制御中、登録されているプロセスをモニタリングし停止します。	
agentu.exe chrome.exe	削除
	追加
- 遠隔制御中遠隔地PCから停止するプロセスを正確に入力してください。 - OSシステムで使用されるプロセス、RemoteViewで使用されるプロセスは登録できません。 - ファイル名を.exeの形式で入力してください。 - Windows PCのみ対応します。	

- ・ 制限対象プロセスは最大20個まで登録可能です。
- ・ macOSはプロセス形式が異なるため制限できません。
- ・ ファイル形式、ファイル名は間違いないように入力してください。
- ・ 終了されたプロセスは、遠隔制御終了後に自動復帰はしません。個別にローカルPCで起動させるか、「制御ツール」→「プロセス実行」を行って下さい。

7.3.2 遠隔地PCのサービス停止/再開設定

Windowsのシステム上に登録されているサービスを、Agentへのアクセス時に停止し、その後登録されたサービスを5秒毎にモニタリングします。(実行されると自動的に終了します。)

- ① 全体使用を選択し、登録するサービスを入力して下さい。

- ・遠隔制御開始の際停止するサービスの登録
- ・遠隔制御終了後、実行するサービスの登録

- ②「適用」ボタンをクリックします。

「サービス」はWindowsのタスクマネージャーから確認できます。

遠隔地PCのサービス停止/再開設定

☒ 全体使用
 ☐ 使用しない

遠隔制御中ユーザーが登録したサービスをモニタリングし停止します。

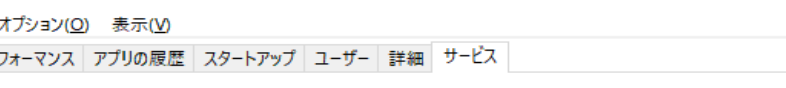
遠隔制御開始の際停止するサービスの登録

- 遠隔制御中のみ遠隔地PCから停止させるサービスを正確に入力してください。
- OSシステムで使用されるサービス及びRemoteView関連サービスは登録できません。
- Windows PCのみ対応します。

遠隔制御が終了されると、ユーザーが登録したサービスを実行します。

遠隔制御終了時実行するサービスの登録

- 遠隔制御終了時、遠隔地PCから実行するサービスを正確に入力してください。
- OSシステムで使用されるサービス及びRemoteView関連サービスは登録できません。
- Windows PCのみ対応します。



名前	PID	説明	状態	グループ
PEFService		Intel Security PEF Service	停止	
ClientAnalyticsService	22808	ClientAnalyticsService	実行中	
RVAgent Helper	17112	RVAgent Helper	実行中	
Remote View Agent 5.0	11256	Remote View Agent 5.0	実行中	
IMG5F50_Svc	23908	Image SAFER 5.0 Service	実行中	
MaWebDRMSVC	4356	Markany WebDRM NoAX	実行中	
KOS_Service	26716	Kings Online Security	実行中	
WizveraPMSvc	25824	WIZVERA Process Manager Service	実行中	
0281731487261429mcinstcl...		McAfee Application Installer Cleanup...	停止	

- ・制限対象サービスは最大20個まで登録可能です。
- ・macOSのサービスは形式が異なるため制限できません。

7.3.3 URL制限フィルターの設定

遠隔接続中、事前に登録したURLのWebサイトを開けなくする設定です。

※遠隔制御終了後も設定ページが閲覧利用できない場合は一度遠隔地PCを再起動してください。

URL制限フィルターの設定

☒ 全体使用 ☐ 使用しない

遠隔制御中、ユーザが登録したURLへの接続をブロックします。

naver.com
pornhub.com

削除

?

追加

- 例：www.rv.com, *.rv.com

- 制限対象のURLは最大100件まで登録することができます。

- 対応OSはWindowsのみ、Windows7未満には対応していません。

制限フィルターでブロックされた場合以下のページが表示されます。



7.4 セキュリティ関連機能一覧

本サービスが提供するセキュリティ機能は以下の通りです。

機能区分	機能名	備考
Agent認証方式	Agent ID・パスワード認証	管理者設定/ユーザー設定
	ワンタイムパスワード認証 (Google認証)	
	ワンタイムパスワード認証 (Email)	
	Windowsアカウント認証	
アカウントセキュリティレベル設定	弱6～24字の英字(大/小文字)、数字、特殊文字で入力可能	
	中8～24字の英字(大/小)、数字、特殊文字で入力可能	3桁以上の連続数字は使用不可
	強8～24字の英字(大/小)、数字、特殊文字で入力可能	3桁以上の連続数字は使用不可/ 英字大文字、小文字、数字、特殊文字の組合せ

パスワード管理	パスワード有効期限	
	パスワード失敗回数制限	
被操作側で同意	遠隔地接続同意機能	WebView非対応
接続可能時間設定	遠隔制御の終了時間設定	
	ユーザー時間設定	
	Agentグループ利用時間設定	
接続中の停止機能	PCプロセス実行制限	
	PCサービス停止・再開	
	遠隔操作中のマウス・キーボードロック	WebView非対応
Guest招待	メール招待	WebView非対応
遠隔画面ロック (接続中画面保護)	Monitor Off	
	Monitor Driver	
	BlackLayer	
接続元端末制限	許可MACアドレス	Mobileは代替コード、 WebView非対応
	許可IPアドレス	Private IP対応、WebView 非対応
	端末タイプ制限	PC/Mobile指定可能
接続終了後保護 機能	遠隔制御終了時にシステムロック	
	遠隔制御終了時にサインアウト	
セキュリティ通知	パスワード失敗ロック通知	
	海外IPアクセス通知	
	パスワード変更通知	
	遠隔制御開始通知	
	Agent削除通知	
一定時間未使用時	ビューア画面ロック	
	自動接続終了	
ログイン管理	最終ログイン情報表示	
	ログイン失敗履歴情報表示	
録画	自動録画機能	改善型ビューアWebView 非対応
プロキシサーバ	設定項目あり	

8. ヘルプデスク

このマニュアルは遠隔支援全般に対するご理解と、AnyClutch Remote に対する内容を初級者の方でも十分に理解して、AnyClutch Remote を便利に使用できるようにすることを目的としています。しかし、このマニュアルを通してご不明な点や十分な情報を得ることができなかった場合には、次の内容を参考にしてください。

トラブルシューティング

下のサイトで AnyClutch Remote に対する技術的な質問の解答と、最新ヘルプ情報を探ことができます。収録されていない質問に対しては Help Desk までご連絡下さい。

<http://www.anyclutch.jp/anyclutch/manual3.html>

Help Desk

このマニュアル中にご不明な点や上記サイトに収録されていない質問については、ご購入先までご連絡下さい。

2 次緊急連絡先 - 株式会社エアー

E-Mail : support@anyclutch.jp

企画・運用 株式会社エアー

© 2024 AIR Company Limited.

Copyright © 2024 AIR Company Limited. All rights reserved.

開発 RSUPPORT 株式会社

© 2001-2024 RSUPPORT CO., LTD

Copyright © 2001 - 2024 RSUPPORT CO., LTD. All rights reserved.